

トヨタ純正

9インチベータシックナビ NMZN-Y73D (08604-00C10)

取扱書




このたびはナビゲーションをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

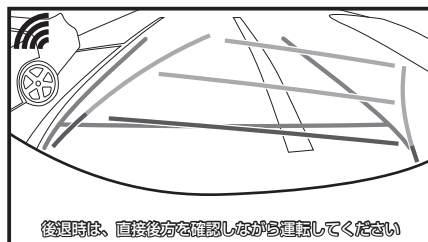
- この取扱書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全のために」を必ずお読みください。（P4～P7）
- この取扱書は紛失しないよう車の中に保管してください。

トヨタ自動車株式会社

主な特長

駐車サポート機能

車両のバックモニター・バックガイドモニター・パノラマモニターおよびコーナースセンサーと連携し、後退時に障害物を検知すると、障害物の方向と距離を、の表示とブザー音で案内します。(一部車種のみ)



逆走注意アラーム・逆走警告

SA/PAに駐車してエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

また、万一高速道路や料金所などを逆走していると検知したときは、逆走のおそれがある旨を表示と音声で警告します。



ボイスコマンド

よく使う機能が、画面を見たりボタンを操作することなく、ボイスコマンドを発声するだけで操作できます。(一部操作のみ)



無償地図更新

新しい道路が開通した場合などに、お客様自身で本機に収録の地図を5年間無償で更新する事が出来ます。

- 部分地図更新：最大5年間可能
- 全地図更新：期間中2回可能

※パソコンまたはスマートフォンでインターネットを利用できる環境が必要です。また、ユーザー登録が必要となります。(P.159)

本書の読みかた

- タッチキーとナビゲーションユニットのボタンを、下記のように描き分けています。

例：案内スタート  決定：タッチキー

   ：ナビゲーションユニットのボタン

- 本書では、トヨタ純正オプション品と、純正用品以外のオプション品を、下記のように区分しています。

- ・別売：トヨタ純正オプション品
- ・市販：純正用品以外のオプション品

もくじ

安全のために	4
--------------	---

はじめに P.8

使用上のお願い.....	8
各部のなまえとはたらき	10
ステアリングスイッチの設定をする	12
タッチパネルの操作について	14
ご使用になる前に	16
基本操作・準備(確認・調整)	17
取り付け・配線の確認	21
初期設定をする	23
メニュー画面の操作	24
トップメニューを編集する	27
セキュリティ機能を設定する	28

ナビゲーション P.32

地図の紹介	34
地図の見かた	38
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする (ナビチューン)	45
地図の操作	47
行き先までのルートを作るには	54
行き先を探す	56
検索した施設を目的地・経由地に設定する	60
全ルート図から設定・確認する	61
ルートを編集する	62
ルート探索について	64
ルート案内中に	66
地点を登録する(登録地)	69
VICS情報を見る	74

オーディオ P.80

オーディオの基本操作	82
テレビを見る	84
ラジオを聞く	91
交通情報を聞く	92
ディスクを再生する	93
DVDを再生する	94
CDを再生する	97
BLUETOOTH® Audioを再生する	100
レコーダーの映像を見る	102
SDメモリーカードに音楽CDを録音する	105
本機で録音した音楽データを再生する	107
本機で録音した音楽データを管理する (MEMORY MUSIC)	109
SDメモリーカード・USBメモリーを 再生する	112
iPodを再生する	117
音質・音場を調整する (オーディオチューン)	120
映像を調整する	128
現在地画面にオーディオ映像を表示する	129

BLUETOOTH®/Wi-Fi P.130

スマートフォンを本機に登録する	132
スマートフォンを本機と接続する	135
ハンズフリーで通話する	137
NaviCon®を利用する	141
スマートフォンをリモコンとして使う	143
音声認識で目的地を検索する	144

その他 P.146

ボイスコマンドで本機を操作する	148
エコ機能を使う	151
本機の情報を確認する	155
メンテナンス情報を設定する	156
運転アシスト機能を利用する	157
地図更新について	159
本機のデータを更新する	160
ETCシステムと組み合わせる	162
ドライブレコーダーと組み合わせる	165
バックモニター・バックガイドモニター・ パノラマモニター使用時のお願い	174
障害物検知表示	176
バックモニター・バックガイドモニターの 映像を見る	177
パノラマモニターの映像を見る	179
後席ディスプレイと組み合わせる	180
ビデオカメラなどと組み合わせる	181
利用に応じた設定に変える	182
よくあるお問い合わせ	188
故障かな!?	189
文字入力のかた	206
ディスクについて	208
お手入れ	210
SDメモリーカード・USBメモリー について	211
データ作成時の留意点	212
ナビゲーションシステムとは	217
BLUETOOTH®について	220
Wi-Fiについて	221
テレビ・ラジオの受信について	222
DVD言語コード一覧表	223
VICSについて	224
さくいん	233
商標などについて	237
ソフトウェア、および オープンソースソフトウェアについて	238
仕 様	239
アフターサービスについて	241

本機は、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。
案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがうとともに道路状況に即した運転を心がけてください。
規制標識の変更などにより目的地案内で表示されるルートは、車両進入禁止などのルートを案内する場合があります。

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。



警告

記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。



注意

記載事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあること。

お知らせ

快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

お願い

安全にご使用いただく上で守っていただきたいことを記載しています。

安全のために



警告

●本機の取り付け、取り外し、配線の変更はしないでください。

不適切な取り付けや配線の場合、故障や車両火災などの事故につながるおそれがあり危険です。

本機の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

●必ず規定容量のヒューズをご使用ください。

規定容量を超えるヒューズを使用すると発煙・発火、故障の原因になります。

ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

警告

- 走行中の操作は危険ですので、停車して安全を確認の上、操作してください。

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

操作は安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください。走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

なお、本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。

- 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

- 実際の交通規制を守ってください。

本機の表示するデジタル地図は、道路の変更などは表示されません。

また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事などでも道路状況が変わります。

実際の交通規制を必ず守って運転してください。

- 換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。

エンジンをかけたまま、換気の悪い場所（周囲が囲まれた車庫や屋内など）で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

注意

- モニター収納動作中、手などをはさまないように注意してください。

手などをはさんでケガをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。

また、エンジンを切るとモニターは自動で全閉状態になります。

- 車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因になります。

- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因になるおそれがあります。

また、煙や異音がでたり、異臭がする場合には、すぐにオーディオ機能の電源をOFFにしてお買い上げの販売店にご相談ください。

- 本機を分解したり、調整することは、絶対にさけてください。

本機内部は、精密な構造になっているので、万一不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。故障の原因になります。

- バッテリーあがりにはご注意ください。

エンジンを停止させたまま、本機を長時間動作することは避けてください。

バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

注意

●車内温度は上げすぎたり、下げすぎたりしないでください。

夏期は車内の温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

冬期は車内の温度が低くなることがありますので、車内の温度を上げてからお使いください。

そのまま使用すると故障の原因になります。

●AT車/CVT車の場合

- ・ディスクを取り出す際、Pレンジでモニターとシフトレバーが接近または干渉する場合は、指などを挟むおそれがありますので、Nレンジに切り換えてから操作してください。(コラムATの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
- ・チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

●MT車の場合

- ・ディスクを取り出す際、1・3・5(R)ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り換えてから操作してください。
- ・チルト位置を設定する際、1・3・5(R)ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。

●ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。 故障の原因になります。

●ディスプレイを開いたまま運転しないでください。

車の衝突、および急ブレーキやカーブなどで衝撃を受けて身体が本機と接触した場合、けがをするおそれがあります。

お知らせ

お願い

●現在地の表示について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や、長時間バッテリーを外しておいた場合などには、自車の現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置を修正します。

●結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部のレンズが結露してディスクの再生が正常に作動しないことがあります。

このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ正常に作動するようになります。

何時間たっても正常に戻らない場合は販売店にご相談ください。

●画面のムラについて

寒冷時にエンジンスイッチをONにしたあと、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。

しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。

●タッチパネルについて

本機の画面に市販の液晶保護フィルムを貼り付けると、タッチスイッチが反応しなくなる場合がありますので使用しないでください。

●本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動などにより記録されたデータが消失する場合があります。

ご購入後、お客様が本機に記録される情報内容やデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとったりバックアップをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

- ①本機の故障、誤作動、または不具合などにより、あるいは本機が電氣的なノイズの影響などを受けたことにより、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。
- ②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。
- ③本機の故障・修理に際し、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。

*なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

使用上のお願い

車のエンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所（周囲が囲まれた車庫など）で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

他の機器*1と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みください。
- ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの動作を妨げたり、同乗者に危険をおよぼさないよう、適切に取り扱ってください。（配線の処理や機器の固定など）
- 温度が高くなる場所（直射日光や暖房機器の温風があたり続けるところなど）に放置しないでください。

*1 iPod などの音楽プレーヤー、USB メモリー、スマートフォン、ビデオカメラなど

携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

液晶ディスプレイについて

- 先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。また、たたいたり、強く押さないでください。傷や破損、誤動作の原因となります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露（水滴）で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 市販の液晶保護シートを使用しないでください。視認性や操作性が損なわれる場合があります。

- 液晶ディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

免責事項について

- 本機は各種規格に基いた製品仕様になっておりますが、接続する機器やソフト／アプリなどによっては、期待どおりに動作しない場合があります。
- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報（登録地の位置や電話番号など）は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。
当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

大切な情報（登録地など）は、万が一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

各部のなまえとはたらき



車のエンジンを止める（ACC を OFF にする）と、ボタン照明が消灯し、見えなくなります。



お知らせ

- ハンズフリー通話、音声認識用のマイク（販売店装着オプション）は、車室内に外付けで設置されています。



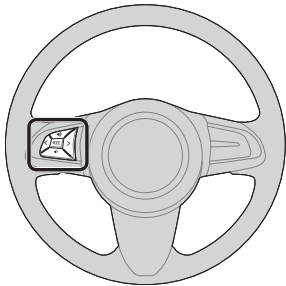
<モニター開>



①	♪ (オーディオ)	<ul style="list-style-type: none"> ●オーディオ画面に切換 ●オーディオメニューを表示 ●オーディオOFF/ON(2秒以上押す)
②	▲ (チルト/イジェクト)	<ul style="list-style-type: none"> ●チルト/イジェクト画面の表示・消去 ●モニターを閉じる
③	セキュリティインジケータ	●セキュリティ機能の設定をすると、お車を離れた際に点滅し、盗難を抑止します。
④	+ - ^{ボリューム} (VOL)	●音量を調整
⑤	■ (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> ●トップメニューを表示 ●画質調整画面を表示(2秒以上押す)
⑥	▲ (現在地)	<ul style="list-style-type: none"> ●自車位置(現在地)を表示 ●音声認識を起動(0.5秒以上押す)
⑦	タッチパネル	●タッチ操作時に使用

ステアリングスイッチの設定をする

純正ステアリングスイッチを装備している場合、お買い上げ時に、下記のオーディオ操作がステアリングスイッチに設定されております。



モード MODE	<ul style="list-style-type: none">●オーディオを切り換える（オーディオの切り換えについて→P.82）●一時的に消音する（0.5秒以上押す。音声認識設定（P.186）が「OFF」の場合）●音声認識を起動する（0.5秒以上押す。音声認識設定（P.186）が「ON」の場合）	
 ボリューム アップ (VOL UP)  ボリューム ダウン (VOL DOWN)	●音量を調整	
> (TRACK UP) トラックアップ < (TRACK DOWN) トラックダウン	DVD CD USB SD MEMORY MUSIC BLUETOOTH Audio iPod レコーダーリンク	●曲・チャプター・ファイル・映像コンテンツの頭出し
	DVD CD BLUETOOTH Audio iPod	●早送り・早戻し（押し続ける）
	USB SD MEMORY MUSIC	●フォルダ・アルバムの頭出し（1秒以上押す）
	FM AM	●選局する ●シーク選局（1秒以上押す）
	TV	●選局する ●連続選局（押し続ける）
 フック (HOOK)	<ul style="list-style-type: none">●電話に出る（着信中）●電話を切る（通話中）	
* (音声認識)	●音声認識を起動する	

お知らせ

●車種やグレードによっては、操作可能な機能やボタン表示などが異なる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

1 システム情報・設定メニュー(P.25)から、ステアリングスイッチ設定を選ぶ

2 設定したい機能を選ぶ



割り当て可能な機能	対応する本体ボタン / タッチキー
VOL UP	[+] 大
VOL DOWN	[-] 小
TRACK UP	[▶▶] *1 次へ
TRACK DOWN	[◀◀] *1 前へ
MUTE	— *2 オーディオの音声を一時的に消音
MODE	— *2 オーディオのソースを切換 (切り換わりかた→P.82)
HOOK *3	電話に出る 電話に出る (着信中) ●通話中に押すと、電話が切れます。 (電話を切る)
OFF HOOK *3	電話に出る 電話に出る (着信中)
ON HOOK	電話を切る 電話を切る (通話中) / 電話に出ない (着信中)
広域	[🔍] 縮尺を広域に切り換える
詳細	[🔍] 縮尺を詳細に切り換える
現在地	[📍] 現在地画面に切り換える
音声認識	[🗣️] (0.5 秒以上押す) 音声認識を起動する
AUDIO	[🎵] ●オーディオ画面に切換 ●オーディオメニューを表示
MENU	[☰] トップメニューを表示
NAVI/AUDIO 切換	— *2 現在地画面 / オーディオ画面 を切り換える
カメラ	— *2 ●パノラマモニターの画面に切換 ●パノラマモニターの表示を切換

- **初期化** : 設定を初期化
- **設定解除** : すべてを「未設定」にする

3 車のステアリングスイッチで、機能を割り当てたいスイッチを 1 秒以上押す

- 手順3~4を繰り返し、ステアリングスイッチに機能を割り当ててください。

お願い

- すべてのステアリングスイッチに機能を登録してください。機能が登録されていないステアリングスイッチがあると、正しく動作しない場合があります。

お知らせ

- 車種やグレードによっては、操作可能な機能が異なる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ひとつのスイッチに複数の機能を割り当てることはできません。
- ステアリングスイッチ設定画面を表示中は、ステアリングスイッチで本機の実操作はできません。

- *1 ステータスバーの表示を切り換えて (P.39)、[◀◀] [▶▶] を選んでください。
- *2 対応する本体ボタン / タッチキーはありませんが、ステアリングスイッチに機能を割り当てることができます。
- *3 車種によって HOOK、OFF HOOK のどちらかを設定できます。

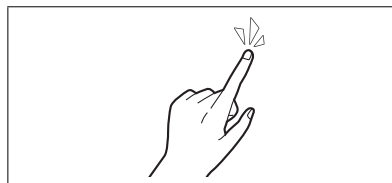
はじめに

ステアリングスイッチの設定をする

タッチパネルの操作について

本機のタッチパネルは、必ず指で触れて操作してください。
先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）で操作したり、たたく、強く押すなどして液晶ディスプレイに負担がかかると、傷や破損、および誤動作の原因となります。

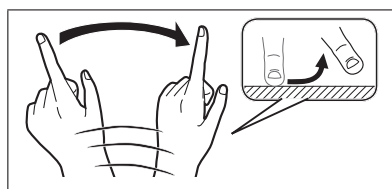
本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。



■ タッチ

指で画面に軽く触れる。

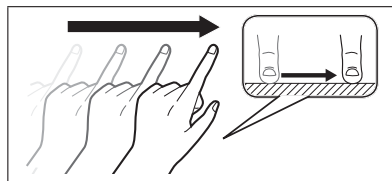
- 本書で「**〇〇を選ぶ**」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「**〇秒以上タッチする**」「**タッチし続ける**」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■ フリック

指で画面をはらう。

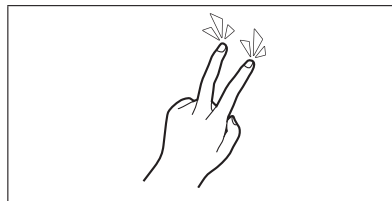
- **メニュー画面**をフリックした方向に切り換える。
- **リストの項目**をフリックした方向に移動させる。
- **地図画面**をフリックした方向にスクロールする。



■ ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

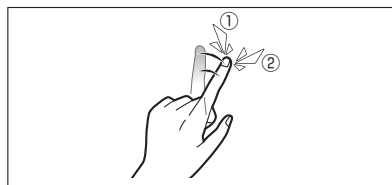
- **メニュー画面**をドラッグした方向に切り換える。
- **リストの項目**をドラッグした方向に移動させる。
- **地図画面**をドラッグした方向にスクロールする。



■ 2点タッチ (同時に2カ所をタッチ)

同時に2カ所をタッチする。

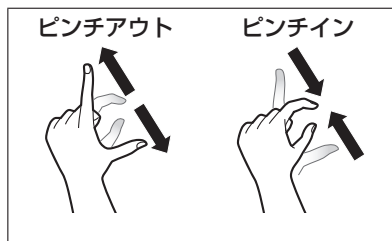
- 地図の縮尺を「**広域**」に切り換える。



■ ダブルタップ (連続して2回タッチ)

同じ場所を連続して2回タッチする。

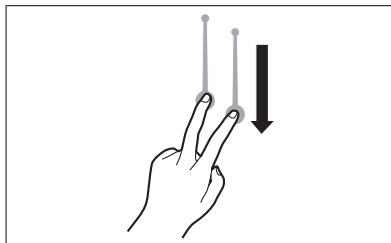
- 地図の縮尺を「**詳細**」に切り換える。



■ ピンチ

2本の指で、間隔を広げる/狭めるようになぞる。

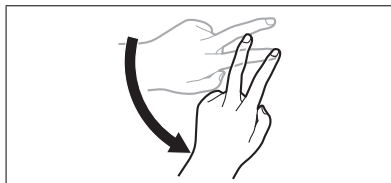
- **ピンチアウト (広げる)**
地図の縮尺を「**詳細**」に切り換える。
・指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。
- **ピンチイン (狭める)**
地図の縮尺を「**広域**」に切り換える。



■2点ドラッグ(上下のみ)

2点タッチしたまま、上下にドラッグする。

- 地図の傾きを調整する。(P.49)



■回転ドラッグ

2本の指で円弧を描くようにドラッグする。

- 地図モード画面で、地図を回転させる。

ご使用になる前に

- はじめに取付設定を行ってください。
- 通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う設定です。

取付設定をする

本機を車両に取り付けたあと、初めて本機を起動したときは、利用開始確認画面が表示されます。

取付設定を選び、画面に従って、車種の選択や、装備品の取付設定を行ってください。

- 本機の設定（スピーカー設定・音の匠・車種別カメラ調整・車両連携機能など）が、選択した車種に合わせた内容に設定・調整されます。
- 設定のしかたについて、詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
- 取付設定では、設定処理のために本機が何度か再起動します。本機の起動後、表示された画面に従って、設定を続けてください。

お知らせ

- 設定を誤った場合は、お買い上げの販売店に再設定をご依頼ください。
- 取付設定が行われていない、または完了していない場合は、本機が正常に動作しない場合があります。お買い上げの販売店に設定をご依頼ください。


基本操作・準備(確認・調整)

電源を入れる



1 車のエンジンをかける (ACCをONにする)

- 本機の電源が入ります。
- セキュリティコード入力画面が表示されたら→P.29

2 警告画面の注意事項を確認する

- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、を押すとナビゲーション画面(現在地)に切り換わります。
- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- BLUETOOTH対応機器を本機に接続しているときは、本機の電源を入れるとBLUETOOTH対応機器との接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- メンテナンス情報の設定をすると、本機の電源を入れたときに、設定したメンテナンス情報をお知らせします。(P.156)

お知らせ

- 起動時に、エコドライブをすすめる音声案内が出力される場合があります。(P.154「エコ運転アドバイス」)
- 車種によっては、リモコンエンジンスターターで車外から車のエンジンをかけた場合、オーディオの音声が一時的に消音されます。 を押すと解除されます。押したボタンに応じて音量が変わります。

電源を切るには

車のエンジンを止める (ACCをOFFにする)

- 本機の電源が切れます。
- 別売のETC2.0車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内をお知らせします。(P.185)

自車位置を確認する

初めて本機を起動したときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図(現在地画面)が表示されます。見晴らしの良い場所で下記の操作を行ってください。

1 GPSを受信していることを確認する

GPSを受信すると、現在時刻が表示されます。
●未受信の場合は、--:--と表示されます。



GPSを受信すると方位マークの背景が赤から白に変わります。

2 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する(60分以上)

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

お知らせ

- しばらくたっても自車位置が表示されないときは、GPS情報(P.18)から受信状態を確認してください。

はじめに

ご使用になる前に／基本操作・準備(確認・調整)

基本操作・準備(確認・調整)

GPS 情報を確認する

1 ナビ情報・設定メニューから GPS 情報を選ぶ

2 GPS 情報を確認する



- G P S / : 各測位システムの QZSS * 1 受信状態を表示
 - 緑 : 測位に使用中
 - 青 : 受信中
 - 緯 度 : 現在位置の緯度を表示
 - 経 度 : 現在位置の経度を表示
 - 年 月 日 : 現在の日付を表示
 - 現在時刻 : 現在時刻を表示
- * 1 本機は、準天頂衛星システム「みちびき」に対応しています。(P.217)

自車位置を変更する

通常は、この操作は必要ありません。

1 ナビ情報・設定メニューから、 ナビ設定 ▶ 表示設定 を選ぶ

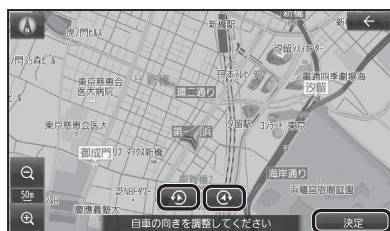
2 自車位置修正 を選ぶ

3 位置を調整し、決定 を選ぶ

- 縮尺を詳細側にしておくと、より正確に自車位置を修正できます。



4 自車マークを進行方向に 合わせ、決定 を選ぶ



お知らせ

- 実際の自車位置とは異なる場所に自車位置を移動させても、GPS 衛星からの信号を受信すると、実際の自車位置の地図に切り替わります。

音量を調整する

本体ボタンで音量を調整する

調整したい音声出力された状態で、
[－] [＋]を押して調整する

- 出力中の音声の音量が調整されます。
- 調整中はステータスバーに音量が表示されます。

お知らせ

- オーディオまたはハンズフリーの音声とナビ案内が同時に出力されているときは、ナビ案内音が調整されます。
- オーディオの音量は、ソースごと（個別）に記憶されます。
- ナビ案内音の音量が「0」のときは、本体ボタンで音量を調整できません。
- ナビ案内音声に関する設定は→P.185

システム情報・設定メニューから音量を調整する

1 システム情報・設定メニュー (P. 25) から、音量設定を選ぶ

2 [－]/[＋]で各項目の音量を調整する



●調整範囲

[太字: お買い上げ時の設定]

- ・ナビ案内音: 0 ～ **5** ～ 11
- ・音声認識音: 1 ～ **6** ～ 11
- ・ハンズフリー着信音: 0 ～ **20** ～ 40
- ・ハンズフリー受話音: 0 ～ **20** ～ 40
- ・ハンズフリー送話音: 1 ～ **4** ～ 7

- スライダーをドラッグしても、音量を調整できます。

お知らせ

- 音声認識音とハンズフリー送話音の音量は、「0」には設定できません。
- ハンズフリー着信音、ハンズフリー受話音を「3」以下に設定していても、ハンズフリー通話／着信を行うと「4」に変更されます。

- お買い上げ時の設定に戻すには
初期値 ▶ **はい** を選ぶ

基本操作・準備(確認・調整)


オーディオの音声を 一時的に消音する(ミュート)

ステアリングスイッチで操作する

ステアリングスイッチの[MODE]を
0.5秒以上押す

- もう一度押すと解除されます。
- 音声認識設定(P.186)が「OFF」に設定されている必要があります。

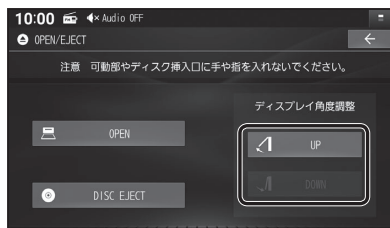
お知らせ

- 消音時は、ステータスバーにが表示されます。
- ナビゲーションの案内音量、音声認識のトークバック、ハンズフリーの音声(通話音・発着信音)はミュートされません。
- オーディオをOFFにするには→P.83

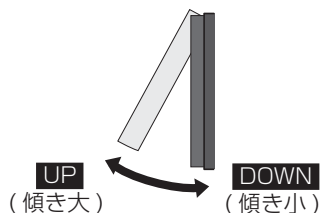
ディスプレイの角度を調整する(TILT)

1 を押す

2 角度を調整する



- UP: 傾きが大きくなる
- DOWN: 傾きが小さくなる



3 を押す

お願い

- 周辺に物を置くなど、動きを妨げないでください。
- 手で動かすなど、無理な力を加えないでください。
- 可動部周辺に異物が挟まらないようにしてください。




お知らせ

- 車のエンジンを切ると、全閉状態になります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。(P.128)

画面を一時的に消す

システム情報・設定メニュー(P.25)
から画面OFFを選ぶ

画面を再度表示するには

    のいずれかを押す
か、画面をタッチする

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

1 システム情報・設定メニュー (P.25) から **車両信号情報** を選ぶ

2 車両信号情報を確認する (下記)



センサー学習値初期化

車速パルスと学習レベルを初期化します。初期化後は、車のエンジンを止め (ACC OFF)、約 10 秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。

項目	確認内容
イグニッション信号*1	イグニッションの ON/OFF に合わせて表示が変わりますか？
パーキングブレーキ信号	パーキングブレーキ*2 をかけると、「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
リバース信号	シフトレバーをリバース (R) に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
イルミネーション信号*1	車のスモールランプを点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか？
車速パルス	走行後、数字が変化していますか？
+B 電圧	バッテリーの電圧が表示されます。12 V (11 V ~ 16 V) になっていますか？
センサー学習レベル	走行後、表示が変化していますか？ ● 距離：0 ~ 4 ● 回転：未補正 / 補正中 / 補正完 ● 3D：補正中 / 補正完

* 1 車種やグレードによっては、表示が車両のスイッチに連動しない場合があります。

* 2 本書では、「パーキングブレーキ」「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」などのことを、「パーキングブレーキ」と呼称して、表記しています。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
 - ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す
 - ・右左折が多い
 - ・右左折が極端に少ない
 - ・GPS 信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 正常な状態にならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

はじめに

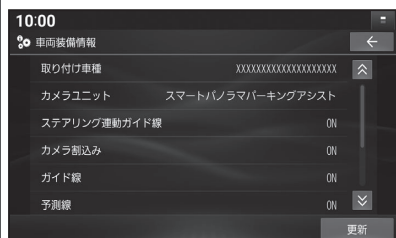
基本操作・準備 (確認・調整) / 取り付け・配線の確認

取り付け・配線の確認

車両装備情報を確認する

1 システム情報・設定メニュー (P.25) から **車両装備情報** を選ぶ

2 車両装備情報を確認する (下記)



項 目	確認内容
取り付け車種	車種名が表示されます。
カメラユニット	搭載されているカメラのタイプが表示されます。
ステアリング連動ガイド線	ステアリング連動ガイド線の設定状態を表示します。(ON/OFF)
カメラ割込み	カメラ割り込みの設定状態が表示されます。(ON/OFF)
ガイド線	ガイド線の設定状態が表示されます。(ON/OFF)
予測線	予測線の設定状態が表示されます。(ON/OFF)
コーナーセンサー	コーナーセンサーの接続状態を表示します。(フロント/リア)
ハンズフリースイッチ	ハンズフリースイッチのボタンを表示します。 (1 ボタン / 2 ボタン / なし)
ドライブレコーダー	接続されていれば「接続」と表示されます。
ETC ユニット	接続されている ETC 車載器の種類が表示されます。
DTV アンテナ	DTV のアンテナ数を表示します。(3 アンテナ / 4 アンテナ)
スピーカー	選択したスピーカーが表示されます。
CAN 通信状態* 1	CAN の通信状態が表示されます。(OK/NG)
GPS アンテナ	GPS アンテナの接続状態が表示されます。(接続 / 未接続)

* 1 車両によっては表示されない場合があります。

お知らせ

- **更新** を選ぶと表示中の情報が更新されます。

初期設定をする

車種を設定する

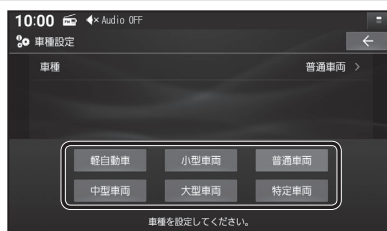
車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。本機を取り付けた車種に応じて、下記の設定を行ってください。

1 システム情報・設定メニュー (P.25) から、**車種設定** を選ぶ

2 **車種** を選ぶ

3 車種を選ぶ

- **軽自動車**
- **普通車両** [お買い上げ時の設定]
- **大型車両**
- **小型車両**
- **中型車両**
- **特定車両**



自宅を登録する

1 自宅が登録されていない状態で、トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から**自宅**を選ぶ

2 自宅の場所を検索する

- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.56～59)

現在地付近：現在地付近の地図を表示*¹

出発地付近：出発地付近の地図を表示*²

目的地付近：目的地付近の地図を表示*²

地図：最後に表示していた地図を表示

* 1 ルート未設定時のみ

* 2 ルート案内中のみ

3 **設定 ▶ 保存** を選ぶ

- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 引き続き、自宅へのルートが探索されます。
- 自宅を登録すると、地図上に自宅のアイコン📍が表示されます。

お知らせ

- 自宅の編集・消去は、登録地リストから行ってください。(P.72、73)

メニュー画面の操作

トップメニューを表示する

を押す

- トップメニューを表示します。

■ トップメニュー





☰ All Apps (全機能一覧).....P.26

- Audio ON/OFF.....P.83
- ハンズフリー.....P.137
- 情報・設定.....P.25
- ルート.....P.61

■ ショートカット

全機能一覧 (P.26) から、よく使う項目をショートカットとして登録できます。(P.27)

- 画面が複数ある場合は、/ を選ぶか、ショートカット周辺を左右にフリックまたはドラッグすると、左右の画面に切り換わります。(タッチパネルの操作について → P.14)
- お買い上げ時は、下記の機能がショートカットに登録されています。



- HDMI.....P.181
- USB.....P.113
- AM.....P.91
- MEMORY MUSIC.....P.107
- レコーダーリンク.....P.102
- iPod.....P.117
- 交通情報.....P.92
- SD.....P.112



- 名称.....P.56
- 履歴.....P.56
- 電話番号.....P.56
- 自宅.....P.57
- TV.....P.84
- DISC *1 (DVD/CD).....P.93~99
- BLUETOOTH Audio.....P.100
- FM.....P.91



- 住所.....P.58
- ジャンル.....P.58
- マップコード.....P.58
- ドライブレコーダー.....P.165
- 登録地.....P.57
- 周辺施設.....P.59
- 音声認識.....P.144

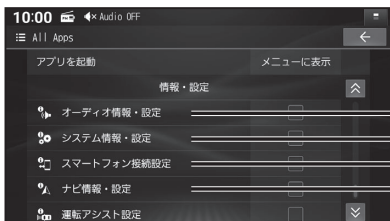
* 1 挿入されたディスクによって、表示が変わります。

各種情報を見る・設定をする

トップメニュー (P.24) から、
情報・設定 を選ぶ

- 情報・設定メニューを表示します。

■ 情報・設定メニュー



■ ナビ情報・設定メニュー



- チューン P.45・46
- ナビ設定 P.182～185
- 渋滞情報 P.78
- ETC 情報 P.164
- GPS 情報 P.18

■ スマートフォン接続設定メニュー



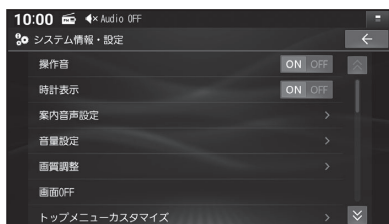
- BLUETOOTH 設定 P.132
- Wi-Fi 設定 P.135

■ オーディオ情報・設定メニュー



- オーディオチューン P.120
- オーディオ出力 P.83

■ システム情報・設定メニュー



- 操作音 P.185
- 時計表示 P.185
- 案内音声設定 P.185
- 音量設定 P.19
- 画質調整 P.128
- 画面OFF P.20
- トップメニューカスタマイズ P.27
- セキュリティ設定 P.29
- 車種設定 P.23
- メンテナンス通知設定 P.156
- カメラ設定 P.176
- ドライブレコーダー設定 P.167
- ステアリングスイッチ設定 P.12
- ダイレクトボタン設定 P.186
- 休憩案内 P.186
- バージョン情報 P.155
- 車両装備情報 P.22
- 車両信号情報 P.21
- ソフトウェア・地図 更新 P.160
- Gracenote® データベース更新 P.111
- ボイスコマンド設定 P.149
- TV アンテナ設定 P.186
- 音声認識設定 P.186
- 初期化 P.187
- 端末情報 P.155

はじめに

メニュー画面の操作

メニュー画面の操作

全機能一覧から機能を選ぶ

- 1 トップメニュー (P.24) から、
■ All Appsを選ぶ
● All Apps (全機能一覧) を表示します。

- 2 All Apps (全機能一覧) から、項目
(機能)を選ぶ
● 選んだ項目の画面に切り換わります。
※以降、All Appsを「全機能一覧」と表記して説明します。

■ All Apps (全機能一覧)



全機能一覧から選択できる項目

■ スマートフォン連携

- ハンズフリー.....P.137

■ 目的地

- 音声認識.....P.144
- 周辺施設.....P.59
- 自宅.....P.57
- ジャンル.....P.58
- 住所.....P.58
- 電話番号.....P.56
- 登録地.....P.57
- マップコード.....P.58
- 名称.....P.56
- 履歴.....P.56

■ Audio (オーディオ)

- AM.....P.91
- BLUETOOTH Audio.....P.100
- DISC * 1 (DVD/CD).....P.93~99
- FM.....P.91
- HDMI.....P.181
- iPod.....P.117
- MEMORY MUSIC.....P.107
- SD.....P.112
- TV.....P.84
- USB.....P.113
- 交通情報.....P.92
- レコーダーリンク.....P.102

■ システム連携

- ドライブレコーダー.....P.165

■ 情報・設定

- オーディオ情報・設定.....P.25
- システム情報・設定.....P.25
- スマートフォン接続設定.....P.25
- ナビ情報・設定.....P.25
- 運転アシスト設定.....P.157
- エコ情報.....P.151

* 1 挿入されたディスクによって、表示が変わります。

トップメニューを編集する

全機能一覧(P.26)の項目から、好みの項目をショートカットとしてトップメニューに表示できます。(1画面あたり最大8項目、7画面まで)

トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ

全機能一覧(P.26)から、トップメニューに表示させたい項目の「メニューに表示」チェックボックスをONにする

- チェックした項目が、トップメニューにショートカットとして表示されます。
- タッチするごとに、ON/OFFが切り換わります。



ショートカットの配置を変更する(トップメニューカスタマイズ)

1 システム情報・設定メニュー(P.25)から、トップメニューカスタマイズを選ぶ

- トップメニューカスタマイズ画面が表示されます。
- トップメニュー(P.24)でショートカットを約1秒以上タッチしても、表示できます。

2 配置を変更したい項目をドラッグして、移動する

- ドラッグした位置に項目を移動します。
- ドラッグした位置に他の項目がある場合は、自動的にドラッグした項目を避けて再配置されます。
- すでに8項目すべて配置されている画面には、他の画面から項目を移動できません。不要な項目を他の画面に移動させるか削除してから移動してください。
- この操作を繰り返し、ショートカットの配置をしてください。

配置変更のしかた

■ 画面内を移動する

選択した項目が、ドラッグした位置に移動されます。



■ 他の画面に移動する

画面の左端/右端までドラッグすると、左となり/右となりの画面に移動します。



■ ショートカットを削除する

画面の左端/右端までドラッグすると、選択した項目がショートカットから削除されます。



3 決定を選ぶ

- トップメニューカスタマイズを完了します。

お買い上げ時の設定に戻すには

トップメニューカスタマイズ画面から、初期化▶はいを選ぶ

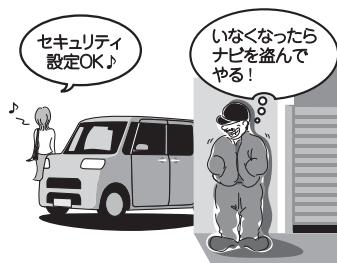
セキュリティ機能を設定する

セキュリティ機能を設定すると、バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合に、ナビゲーションやオーディオなどの機能をロック(使用不可)することができます。エンジンスイッチがOFFのときはセキュリティインジケータを点滅させることができます。

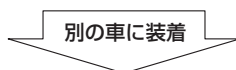
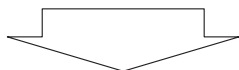
また、シリアルNo. (本書の入ったポリ袋に添付されています) を控えておくと、盗難などにあったとき、本機と所有者の確認をすることができます。

セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

お車を離れる前に



万一盗難にあっても



💡 セキュリティインジケータの点滅により盗難を抑止!!

- セキュリティインジケータの設定→P.30



💡 セキュリティ設定によりナビゲーションの起動を停止することで個人情報保護

- セキュリティコードの設定→P.29

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

- 1 システム情報・設定メニュー (P.25) から **セキュリティ設定** を選ぶ

- 2 セキュリティ設定 **ON** を選ぶ



- 3 (初めて設定する場合のみ)
下記操作を行う

- 1 **OK** を選ぶ
- 2 初期パスワード「9876」を入力し、**決定** を選ぶ
- 3 **はい** を選ぶ

- 4 **OK** を選ぶ

- 5 セキュリティコードを入力し、**決定** を選ぶ



- **✕** : 1文字削除
- 文字種: 数字・A～Fの太文字
- 文字数: 4文字～12文字

※第三者から推測されやすい文字列 (例: 生年月日、0000のような同じ文字の繰り返し、わかりやすい並びの文字など) を避けて設定してください。

- 6 **はい** を選ぶ

- セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら

バッテリーコードが外されたあとと本機を起動した場合などに、セキュリティコード入力画面 (下記) が表示されます。

セキュリティコードを入力してください。

セキュリティコードを入力し、

決定 を選ぶ



- ロックが解除され、本機が再起動します。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

- 1 セキュリティ画面 (左記) から **セキュリティ設定 OFF** を選ぶ

- 2 セキュリティコードを入力し、**決定** を選ぶ

- セキュリティ設定が解除されます。

セキュリティ機能を設定する

セキュリティインジケータを設定する

セキュリティ設定「ON」に設定されているとき、セキュリティインジケータを点灯する／しないを設定できます。

セキュリティ設定画面 (P.29) から、インジケータ **ON** / **OFF** を選ぶ
[お買い上げ時の設定：ON]

お知らせ

- セキュリティ設定「OFF」の状態では、インジケータの設定を変更できません。
- ④ が、セキュリティインジケータとして点滅します。

盗難多発地点案内の設定をする

セキュリティ設定画面 (P.29) から、各項目の **ON** / **OFF** を選ぶ
[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
盗難多発地点 表示案内	「ON」：盗難多発地点を地図に表示する 「OFF」：盗難多発地点を地図に表示しない
市街地図での盗難多発地点表示案内	「ON」：盗難多発地点を市街地図に表示する 「OFF」：盗難多発地点を市街地図に表示しない ※盗難多発地点 表示案内が「ON」のときのみ設定できます。

地図の紹介	34	地図の操作	47
市街地図.....	34	地図を動かす(スクロール).....	47
広域地図.....	34	縮尺を切り換える.....	48
標高地図.....	34	向きを切り換える (ノースアップ/ヘディングアップ).....	49
ETCレーン案内.....	35	地図の傾きを調整する.....	49
ハイウェイマップ.....	35	地図を回転させる.....	49
案内拡大図.....	36	画面の右側に地図を表示させる.....	50
地図の見かた	38	SA・PAの情報を表示する.....	50
現在地画面.....	38	表示するランドマークを選ぶ.....	50
地図モード画面.....	40	ランドマークを表示する.....	50
ランチャー.....	40	拡大図・案内図表示を切り換える.....	51
地点メニュー.....	41	地図上に表示されるVICS情報 (レベル3).....	52
案内ルート.....	41	行き先までのルートを作るには	54
走行軌跡.....	42	ルート案内を中止する.....	55
安心運転サポート情報.....	43	ルートを消去する.....	55
逆走注意アラーム.....	44	行き先を探す	56
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする (ナビチューン)	45	施設の名称で探す.....	56
ルート探索.....	45	電話番号で探す.....	56
ガイダンス.....	45	目的地・経由地の履歴から探す.....	56
マップ.....	46	自宅へ帰る.....	57
VICS.....	46	登録地から探す.....	57
		地図の中心地点周辺の施設を探す.....	57
		住所で探す.....	58
		ジャンルから探す.....	58
		マップコードで探す.....	58
		周辺の施設から探す.....	59
		検索した施設を目的地・経由地に 設定する	60

ナビゲーション

全ルート図から設定・確認する.....	61	地点を登録する(登録地).....	69
手動で全ルート図を表示させる.....	61	登録地について.....	69
デモ走行でルートを確認する.....	61	登録地リストを表示する.....	69
ルートを編集する.....	62	地点を登録する.....	69
経由地を追加・消去する.....	62	登録地リストから目的地・経由地を 設定する.....	69
目的地を追加・消去する.....	62	登録地を消去する.....	70
経由地・目的地の順番を並べ換える.....	63	登録地の情報を見る.....	71
区間ごとの探索条件を変更する.....	63	登録地を編集する.....	72
ルート探索について.....	64	VICS情報を見る.....	74
探索条件について.....	64	文字表示型(レベル1)の VICS情報を受信すると.....	74
ルート学習について.....	64	図形表示型(レベル2)の VICS情報を受信すると.....	74
細街路探索について.....	64	地図表示型(レベル3)の VICS情報を受信すると.....	75
曜日時間規制探索について.....	65	画像・音声情報のVICS情報を 受信すると(ETC2.0).....	75
VICS考慮について.....	65	信号情報活用運転支援システム(TSPS) による情報を受信すると.....	76
スマートIC、ETC専用料金所を通るルート について.....	65	VICS情報を受信する FM放送局を設定する.....	77
ルート案内中に.....	66	VICS情報を確認する.....	78
一般道路走行中の音声案内.....	66	事象・規制マークの内容を確認する.....	78
高速道路・有料道路走行中の音声案内.....	66	緊急情報(特別警報)を受信すると.....	79
前方が渋滞していたら(VICS案内).....	66		
経由地・目的地の音声案内.....	67		
次の交差点などの音声案内を聞く.....	67		
ルート案内中の曜日時間規制探索.....	67		
ルート案内中のVICS自動再探索 (スイテルート案内).....	67		
新しいルートと前のルート进行比较する (新旧ルート比較).....	67		
ルートから外れたときの自動再探索.....	68		
休憩メッセージ案内.....	68		
もう一度ルートを探る.....	68		
走行中の道路を誤って認識したとき (道路切替).....	68		

地図の紹介

市街地図



5 m ～ 25 m 縮尺では、建物の形まで詳細に表した地図が表示されます。



- 地図を傾けると(P.49)、建物が立体的に表示されます。
- 有名施設の立体表示(ポリゴンランドマーク)は、5 m ～ 200 m 縮尺でも表示されます。

広域地図



50 m ～ 2.5 km 縮尺では、道路を線で表した、シンプルな地図が表示されます。

- 道幅が5.5 m以上の道路を走行中は、細街路(道幅5.5 m未満)は表示されません。
- 走行中に地図を動かすと、細街路は表示されません。

標高地図



2.75 km ～ 100 km 縮尺では、衛星写真のようなリアルな地図が表示されます。

ETCレーン案内



ルート案内中に、料金所手前でレーン拡大図が表示されます。

- 約 1 km 手前から
- 表示する/しないの設定→P.183

※表示は実際のレーン運用と異なる場合があります。必ず、実際の状況に従って運転してください。

ハイウェイマップ



SA・PAの施設情報が表示されます。

都市高速道路（首都高速道路、阪神高速道路など）、都市間高速道路（東名高速道路、東北自動車道など）一部の有料道路を走行すると自動的に表示されます。

SA・PA・IC・JCT・料金所の名称、自車からの距離、SA・PAの施設がわかりやすく表示されます。

- ▲ ▼ : スクロール
- 現在区間 : 現在の区間に戻る
- SA/PA : 次のSA・PAを表示
- SA・PAを選ぶと、詳細な情報が表示されます (P.50)
- ルート案内をしていない場合、分岐点より先のICやSA、PAなどの施設が表示されないことがあります。

地図の紹介

案内拡大図

- ルート案内中に自動的に表示されます。
- 案内拡大図を表示する/しないの設定 (P.183)
- 直進でも表示される場合があります。
- 地図データの整備上、拡大図や看板などは表示されない場合があります。

一般道路では



■ 交差点拡大図

交差点までの距離、交差点名称、曲がる方向が表示されます。

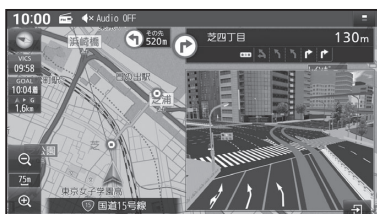
- 約300 m手前から



■ 側道拡大図

側道のある分岐点で表示されます。

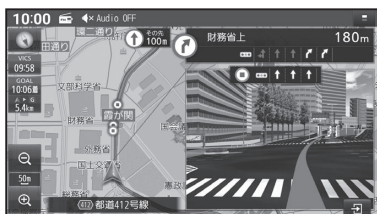
- 約300 m手前から



■ リアル3D拡大図

複雑な交差点では、リアルなビル表示とともに、交差点までの距離、曲がる方向が表示されます。

- 約300 m手前から



■ 高速入口案内

都市高速の入口付近で表示されます。

- 約300 m手前から

高速分岐拡大図



■ 分岐案内

高速道路の分岐点までの距離、分岐方向が表示されます。

- 高速道路や主要有料道路を走行中に表示されます。
- 約 1 km 手前から



■ ジャンクション案内

ジャンクションまでの距離、方面案内、分岐方向が表示されます。

- 約 1 km 手前から



■ SA・PA入口案内

SA・PA が経由地または目的地に設定されている場合は、高速道路や主要有料道路を走行中に、SA・PA までの距離と進入方向が表示されます。

- 拡大図の「ETC出口」の表示は、スマートICのあるSA/PAを表します。
- 約 1 km 手前から

地図の見かた

現在地画面

方位マーク (地図の向きを表示)

タッチすることにより地図の向きが切り換わる

📍 ノースアップ (北が上)

📍 ヘディングアップ (進行方向が上)

GPS受信状態

現在地の測位の状態を方位マークの色で表示

📍 (白) : 測位完了

📍 (赤) : 測位未完了 (測位計算中)

VICS タイムスタンプ

VICSの情報が提供された時刻を表示 (P.52)

タッチすると、近くの渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。
(前方約10 km以内)

到着時刻/残距離表示

ルート案内中に、目的地又は経由地までの距離と、到着する予想時刻が表示されます。
タッチすることにより、目的地と経由地が切り換わります。

📍 (ランチャー)

ランチャーを表示します。(P.40)

縮尺表示

現在の縮尺を表示します。

📍 (広域) 📍 (詳細) で、地図の縮尺を切り換えられます。(P.48)

ランドマーク

目印となる施設などが地図上にマークで表示されます。(P.50)

自転車マーク

自転車位置と進行方向を表示します。

● 色と大きさを変更できます。(P.46)

通過交差点情報表示

直進する交差点について、通るべき車線情報を案内します。

最大で2つ目の通過交差点まで案内します。

- 1つ目の通過交差点 (緑のマーク)

- 2つ目の通過交差点 (橙のマーク)

分岐交差点情報表示

ルート上の右左折する交差点について、名称、交差点までの距離、通るべき車線を案内します。

ステータスバー

現在時刻・オーディオ状態・録音状態・外部機器の状態を表示します。また、本機を操作できます。(P.39)



方面看板表示

一般道を走行中に、交差点の方面看板と進むべき方向の矢印が表示されます。

● 表示する/しないの設定 → P.183

案内図切替タッチキー

拡大図・案内図の表示/切替/消去に使用します。(P.51)

道路名称

現在地の道路名称が表示されます。

ステータスバー

現在時刻 GPSで受信した現在時刻が表示されます。
(未受信の場合は--:--と表示されます。)

ステータスバーの表示内容が
切り換わります。



オーディオ状態表示

選択中のオーディオソース、再生中のオーディオ情報が表示されます。

● ETC状態表示

- : 有効なETC カードが挿入済
- : ETCカード有効期限切れ
- : 利用不能 (ETC カード未挿入など)

● ドライブレコーダー状態表示

- : 自動録画中
- : 手動録画中
- : 録画停止中

録音状態・外部機器状態表示

ETC2.0車載器、ドライブレコーダー、USB 機器、スマートフォンなど、本機と接続された機器の状態が表示されます。

● データ更新状態

- : 更新データあり (準備完了)
- : SDカードの更新データを検知
- : (矢印が点滅) : 更新データ受信中、および更新準備中
- : 受信失敗 (データ不備・通信切断)

● その他

- : 車両メンテナンスのお知らせあり
- : スマートフォンの電池残量 (6段階)
- : スマートフォンの電波状態 (6段階)
- : Wi-Fiの接続状態 (5段階)
- : BLUETOOTH接続あり
- : スマートフォン用地図更新アプリとの接続が可能/更新中
- : USB機器接続あり
- : CD録音中



・オーディオ操作に使用

・オーディオ画面に切り換え
・オーディオOFF/ON(約2秒以上押す)

・トップメニューを表示
・画質調整画面を表示
(約2秒以上押す)

・音量を調整

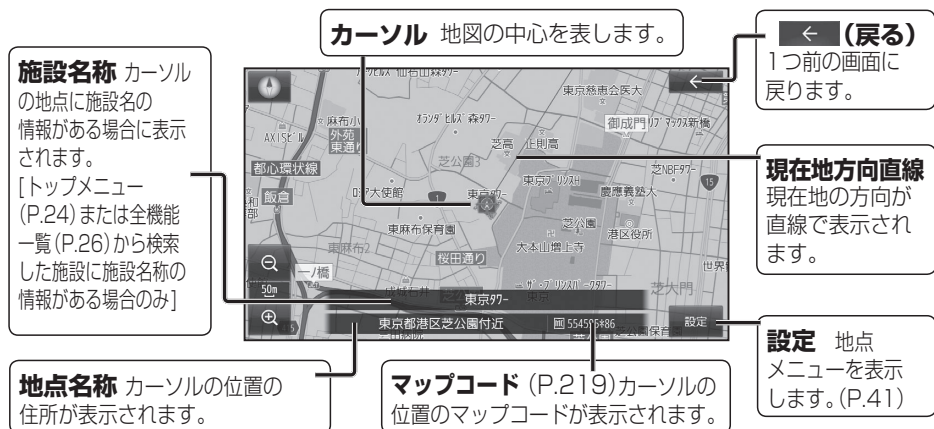
・自車位置 (現在地) を表示
・音声認識を起動 (約0.5秒以上押す)

お知らせ

ステータスバーに表示しきれないアイコンがある場合、が表示されます。
下方向へフリックまたはドラッグすると、現在の状態が一覧表示されます。が表示された項目は、
タッチすると、各機能の設定画面などが表示されます。

地図の見かた

地図モード画面



お知らせ

地図モード画面で、地図の向き・縮尺・傾きを切り換えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。

ランチャー

現在地画面 (P.38) で **⌘** を選ぶと、ランチャーが表示されます。
地図表示・地点検索・地点登録・ルート探索・ルート案内に関する設定ができます。



- 表示されていない項目は、**<** **>** をタッチするか、左右にフリック/ドラッグすると表示されます。

- TUNE (チューン) P.45
- ルート消去 P.55
- 案内スタート/案内ストップ P.55
- ルート編集 P.62
- 再探索 P.68
- 道路切替 P.68
- 周辺施設 P.59
- 右画面表示 P.50
- 地点登録 P.69
- ランドマーク表示/ランドマーク非表示 P.50
- ランドマーク設定 P.50

お知らせ

- 拡大図表示中は、**⌘** タッチキーは表示されません。拡大図を非表示にしてから (P.51) 操作してください。

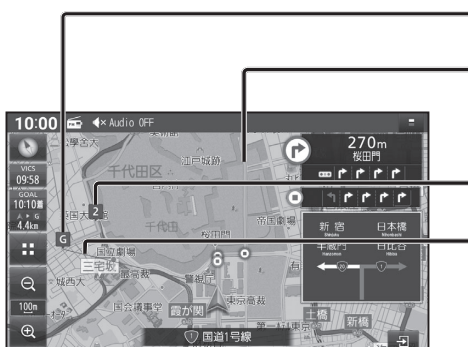
地点メニュー

地図モード画面 (P.40) で **設定** を選ぶと、地点メニューが表示されます。
目的地・経由地・登録地などを設定したり、ランドマーク表示中の施設の詳細情報を見ることができます。



- ここに行く P.60
- 立寄る P.60
- 地点登録 P.69
- 地点編集 P.72
- 周辺検索 P.59
- 閉じる：地点メニューを終了します。

案内ルート



目的地マーク

目的地 (P.60) に設定した地点に表示されます。

案内ルート

目的地までの案内ルートが表示されます。

- 高速道路や有料道路は青色、一般道路は水色、細街路はピンク色で表示されます。

経由地マーク

経由地 (P.60) に設定した地点に表示されます。

目的地方向直線

現在地から見た目的地の方向が、直線で表示されます。

- 到着時刻/残距離を表示している目的地 (経由地) までの方向が表示されます。
- 表示する/しないの設定→P.182

地図の見かた

走行軌跡

自車が走行した軌跡を記録し、地図上に青い▲で表示します。(約50 mおきに、約1000 kmまで)



- 走行軌跡が表示される間隔は、地図の縮尺によって異なります。
- 約1000 kmを超えると、古い軌跡から消去されます。
- 表示する/しないの設定→P.182
- 走行軌跡が記録されるのは、走行軌跡表示が「ON」に設定されているときのみです。
- 走行軌跡表示を「OFF」に設定すると、走行軌跡を非表示にして、記録を停止しますが、走行軌跡の記録そのものは消去されません。再度「ON」に設定すると、続きから走行軌跡の記録を開始します。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。
- 走行軌跡の記録を消去するには→P.182

安心運転サポート情報

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

- 各案内は、ON (する) / OFF (しない) の設定ができます。(P.45)
- 必ず実際の道路状況や交通規制標識・標示などに従って運転してください。



道路上に表示

案内内容について

音声案内の「太字の下線」部は、走行するルートによって案内が異なります。

状況	表示	音声
高速道路で注意の必要な合流地点に近づくとき（合流案内）		この先、 左 からの合流車両に注意してください。
踏切付近では（踏切案内）*1*2		この先、踏切です。
一般道の専用レーンに近づくとき（専用レーン案内）*1	表示なし	この先、 左折 専用車線に注意してください。
急なカーブに近づくとき（カーブ案内）*3		この先、カーブです。
一般道の事故多発地点に近づくとき（事故多発地点案内）*1		この先、事故多発地点です。注意してください。

*1 情報のある区間・地点のみ

*2 踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。

*3 カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。

お知らせ

- 複数の安心運転サポート情報がある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
- 隣接する並行な道路があるときや高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。
- 車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合があります。
- 地図データの整備状況や走行中の状況などにより案内されなかったり、案内が実際と異なる場合があります。

地図の見かた

逆走注意アラーム

SA/PAに駐車したときは

駐車して車のエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

- 逆走注意アラームの設定→ P.183

お知らせ

- SA/PAによっては、案内されない場合があります。→ P.218



高速道路や料金所などを逆走しているときは

高速道路の出口部などで逆走を検知すると、逆走のおそれがある旨を警告案内します。

- 逆走注意アラームON/OFFの設定
→ P.183
- 詳しくは、P.218をご覧ください。



「ここでは案内しない」をチェックすると、次回からその地点での逆走注意アラームは案内されなくなります。

■警告案内表示を消去するには

解除を選ぶ

お知らせ

- 都市高速・都市間高速道路などで案内されます。
- SA/PAによっては、案内されない場合があります。
- すべての場所、すべての場合での逆走検知を保証するものではありません。
- 「出荷状態に戻す」(P.187)の操作を行うと、「ここでは案内しない」の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

ルート・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)

1 ランチャー (P.40) から、**TUNE**またはナビ情報・設定メニュー (P.25) から**チューン**を選ぶ

2 各項目を設定する (下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

ルート探索

ルートを選び、
ルート探索条件を設定する



● **有料道路優先***¹ [低～中～高]
少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合い

● **道幅優先***² [狭～中～広]
できるだけ距離優先*³にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合い

● **渋滞回避** [低～中～高]
VICSの渋滞情報を考慮する度合い

● **ルート学習** [OFF/ON/アクティブ]
本機が探索したルート以外を通ったときなどに、ルートを学習して次の探索に反映させる度合い*⁴
・ **アクティブ**: より学習しやすくなります。

● **VICS考慮** [ON(考慮する)/OFF(しない)]
VICS情報を考慮する/しない

● **季節規制考慮** [ON/OFF]
季節規制区間を考慮する (ON)/しない (OFF)

● **スマートインター考慮** [ON/OFF]
スマートIC、ETC専用料金所を考慮する (ON)/しない (OFF)

*¹ 探索条件が「有料優先」(P.64)や「一般優先」(P.64)のときは考慮されません。

*² 探索条件が「距離優先」(P.64)のときは考慮されません。

*³ 狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。

*⁴ 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。

ガイダンス

ガイダンスを選び、
案内について設定する



● **分岐案内頻度** [低/中/高]
IC・JCT・交差点・料金所・目的地付近などでの案内の頻度

安心運転サポート情報 (P.43) の設定

● **合流案内**
[ON (案内する)/OFF (しない)]

● **踏切案内**
[ON (案内する)/OFF (しない)]

● **専用レーン案内**
[ON (案内する)/OFF (しない)]

● **カーブ案内**
[ON (案内する)/OFF (しない)]

● **事故多発地点案内**
[ON (案内する)/OFF (しない)]

ルート・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)

マップ

マップを選び、
地図表示について設定する



- **昼の地図色/夜の地図色**
 - **ノーマル** : 標準的な地図
 - **道路強調** : 道路を見やすく強調した地図
 - **クラシック** : 従来のように道路を色分けした地図*1
 - **ハイコントラスト** : 夕暮れや夜間などの暗い車内でも見やすいようにコントラストを高くした地図
- **文字サイズ** [小/中/大]
地図の文字サイズ
- **自転車マーク**
 - 色: 青/赤/黄/緑
 - 大きさ: 大/小
- **昼夜切替**
 - **時刻連動** : 日の出/日の入時刻に連動
 - **ライト連動** : ライトの点灯/消灯に連動
 - **昼画面** : 常に昼画面を表示
 - **夜画面** : 常に夜画面を表示

*1 道路の色分け(昼画面の場合)
〈 〉内がクラシックの色分けです。
緑系〈青系〉: 高速道路、有料道路
茶系〈赤系〉: 国道
茶系〈緑系〉: 主要地方道、県道
灰系〈灰系〉: 一般道、細街路(道幅5.5 m未満)
青(破線): フェリー航路

VICS

VICSを選び、
VICS情報の表示について設定する



- **VICS有料道情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS一般道情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS駐車場情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS規制マーク表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS範囲表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS渋滞・混雑情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS渋滞なし情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]
- **VICS統計情報表示**
[ON(表示する)/OFF(しない)]

地図の操作

地図を動かす(スクロール)

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。(タッチパネルの操作→P.14)

タッチでスクロールする

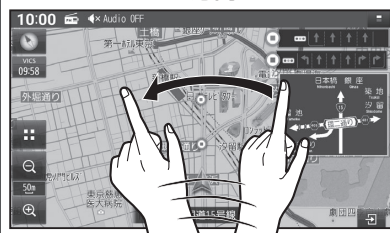
地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。

フリックでスクロールする

スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。

ドラッグでスクロールする

スクロールしたい方向にドラッグする



- 指の動きに合わせてスクロールします。

お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺を切り換えても、現在地画面に戻ると、もとの設定に戻ります。
- 走行中は、フリック/ドラッグによるスクロールはできません。また走行中、市街地図が表示されている場合は、タッチによるスクロールもできません。
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

地図の操作

縮尺を切り換える

タッチ、2点タッチ/ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り換えられます。
(タッチパネルの操作→P.14)

タッチキーで縮尺を切り換える

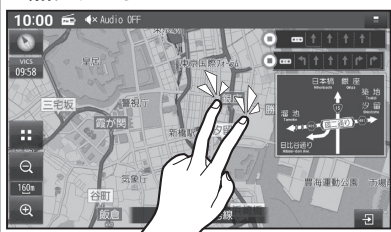
🔍 (広域) / 🔍 (詳細) を選ぶ



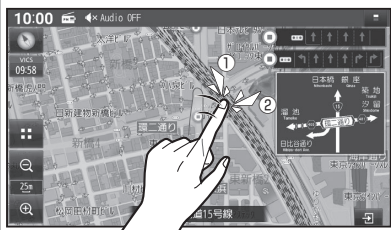
- タッチし続けると、ズームアウト/ズームインのイメージで縮尺が切り換わります。

2点タッチ/ダブルタップで縮尺を切り換える

■ 広域に切り換えるには
2点タッチする

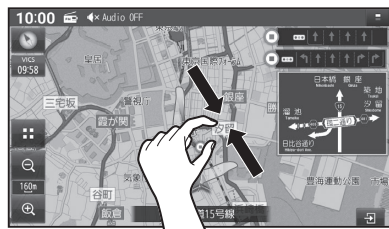


■ 詳細に切り換えるには
ダブルタップする



ピンチで縮尺を切り換える

■ 広域に切り換えるには
ピンチインする



■ 詳細に切り換えるには
ピンチアウトする



お知らせ

- 走行中にピンチ操作で縮尺を切り換えることはできません。

向きを切り換える (ノースアップ/ヘディングアップ)

方位マーク(P.38)にタッチすると、地図の向きを切り換えられます。

方位マーク (P.38) にタッチする

- タッチすることにより、地図の向きが切り換わります。

ノースアップ (北が上)



ヘディングアップ (進行方向が上)



地図の傾きを調整する

上下方向に2点ドラッグする

- 上方向に2点ドラッグ
(傾きが大きくなる)



- 下に2点ドラッグ
(傾きが小さくなる)



地図を回転させる

回転させたい方向に回転ドラッグする



- 指の動きに合わせて回転します。

地図の操作

画面の右側に地図を表示させる

ランチャー (P.40) から
右画面表示 ▶ **地図** を選ぶ



- 画面の右側に地図が表示されます。



右地図を非表示にするには

右地図が表示された状態で
ランチャー (P.40) を表示させ、
右画面表示 ▶ **OFF** を選ぶ

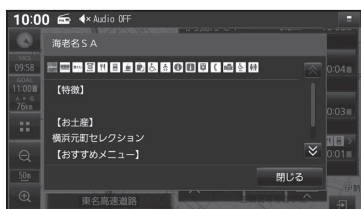
- 右地図が非表示になります。

SA・PAの情報を表示する

ハイウェイモード (P.35) から
SA・PAを選ぶ



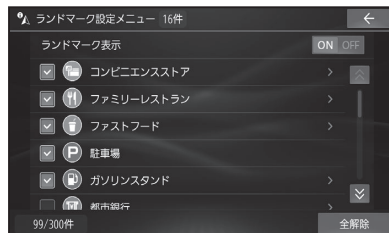
- SA・PAの情報が表示されます。
- **閉じる** を選ぶと消去されます。



表示するランドマークを選ぶ

最大300件選択できます。

- 1 ランチャー (P.40) から、
ランドマーク設定 を選ぶ
- 2 表示させたいランドマークの
チェックボックスをONにする



- タッチすることにより、ON/OFFが切り換わります。
- 右側に **>** が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- **全解除**：選択をすべて解除

ランドマークを表示する

ランドマーク設定画面 (上記) から
ランドマーク表示 **ON** を選ぶ

- ランドマークが表示されます。
[お買い上げ時の設定: ON]

ランドマークを非表示にするには

ランドマーク設定画面 (上記) から
ランドマーク表示 **OFF** を選ぶ

- ランドマークが非表示になります。

お知らせ

- ランチャー (P.40) から **ランドマーク表示** / **ランドマーク非表示** を選んでも、表示・非表示を切り換えられます。

拡大図・案内図表示を切り換える

1 現在地画面 (P. 38) から、を選ぶ

- 表示できる拡大図・案内図が無い場合は、タッチキーは表示されません。




2 切り換えたい拡大図・案内図を選ぶ

- 選んだ拡大図・案内図に切り換わります。





拡大図・案内図を消去するには

拡大図・案内図を、右にフリックする

- 拡大図・案内図が消去されます。
- を選んで、拡大図・案内図を消去することもできます。



表示できる拡大図・案内図が1つだけのときは

- /を選ぶと、表示/非表示が切り換わります。
- フリック操作で拡大図・案内図を消去することもできます。



地図の操作

地図上に表示されるVICS情報(レベル3)

渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。

VICS タイムスタンプ



VICS
09:58

情報が提供された時刻を表示

- 受信した時刻ではありません。
- VICSタイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制のある地点(直近)のVICS情報が案内されます。
 - ・ルート案内中：ルート上の情報
 - ・ルート未設定：自車の進行方向の情報

お知らせ

- 遠方の渋滞情報は案内されません。

ハイウェイモード時は

- 規制情報：区間ごとにマークを表示(2件まで)



- 渋滞・混雑区間：道路を色分けして表示

車線ごとの渋滞情報表示

車線ごとの渋滞情報が、色分けして地図上に表示されます。
(該当の情報が配信されているエリアのみ) 配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤	---	渋滞
橙	--	混雑
緑	—	渋滞なし

●表示例



気象・災害情報表示

気象(1時間あたり50 mm以上の大雨など)の情報を受信すると、地図にVICS タイムスタンプが表示され、対象となる範囲が薄い黄色で表示されます。



お知らせ

- 表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。

渋滞情報

色分けして地図上に表示されます。
(該当の情報が配信されているエリアのみ)
配信エリアについてはVICSセンターの
Webサイト
(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	渋滞情報	リアルプローブ情報		
赤			=====	渋滞
橙			=====	混雑
緑			=====	渋滞なし
灰			=====	不明

- 表示する/しないを設定できます。(P.46)
- 渋滞情報(リアルタイム情報)
道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報
- リアルプローブ情報(リアルタイム情報)
タクシーなどから収集した現在の情報
- 統計プローブ情報(統計情報)
タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

※プローブ情報とは

走行している車から直接収集される
「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)
です。

駐車場マーク・SA/PAマーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青				空車
橙				混雑
赤				満車
黒				不明
赤				閉鎖

- 表示する/しないを設定できます。(P.46)

VICS情報マーク(例)

道路上の事象・規制がマークで表示されます。

マーク	内容	マーク	内容
	事故		チェーン規制
	故障車		凍結
	路上障害		速度規制
	工事		徐行
	作業		進入禁止
	片側交互通行		通行止め
	対面通行		大型通行止め
	車線規制		雨
	入口制限		雪
	入口閉鎖		災害速報
	行事等		気象警戒情報
	火災		特別警報

- マークの内容を確認できます。(P.78)
- 表示する/しないを設定できます。(P.46)

行き先までのルートを作るには

1 行き先を探す

1 検索方法を選ぶ

■ トップメニュー (P.24)



■ 全機能一覧 (P.26)



- 音声認識 P.144
- 周辺施設 P.59
- 自宅 P.57
- ジャンル P.58
- 住所 P.58
- 電話番号 P.56
- 登録地 P.57
- マップコード P.58
- 名称 P.56
- 履歴 P.56

2 場所や施設を検索する

検索方法によって、表示される画面や選択できるタッチキーは異なります。

- 50音順で並んだリストに表示されます。
 - ・行(あ→か→さ→た→な…)ごとにリストを切り換えます。
 - ・同じタッチキーを連続して選ぶと、段(あ→い→う→え→お)を切り換えます。



- 上下にリストをスクロールします。
- リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。(必ず、リストの内側をフリック/ドラッグしてください。)

リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

■ 検索結果画面



- 選んだ施設に出入り口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。

2 行き先に設定する

地点メニューから**ここに行く**を選ぶ

- ルート探索を開始します。
- 地点メニューの操作→P.41
- **施設詳細**：
検索した施設に詳細情報がある場合に
表示されます。選ぶと、施設の
詳細情報が表示されます。



- ルート上の高速出入口を表示
- 探索条件 (P.64)・走行距離・
所要時間・料金を表示

ルート探索が完了し、**全ルート図**が
表示されたら、**案内スタート**を選ぶ

- 案内を開始します。
- 全ルート図→P.61
- 車を発進させても案内を開始します。
- 全ルート図でタッチキーを操作すると、車を発進させても案内は開始しません。



ナビゲーション
行き先までのルートを作るには

ルート案内を中止する

- 1 トップメニュー (P.24) から
ルートを選ぶ
- 2 全ルート図から **案内ストップ**を選ぶ



ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。

- ルートそのものは消去されません。

ルート案内を再開するには

ルート案内中止中に、全ルート図
から **案内スタート**を選ぶ



ルート案内が再開されます。

ルートを消去する

- 1 全ルート図から **ルート消去**を選ぶ
- 2 **はい**を選ぶ

ルートそのものが消去されます。

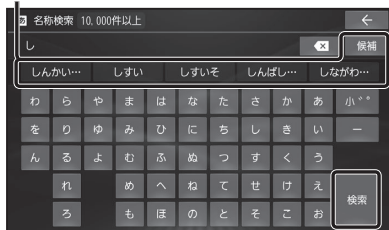
行き先を探す

施設の名称で探す

1 トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から **名称** を選ぶ

2 名称を入力し、**検索** を選ぶ

- 入力履歴から候補を5件まで表示



- **✕** : 1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- **候補** : 入力履歴をリストで表示
 - ・リストから候補を選ぶと、その内容が入力欄に入力されます。
 - ・**全候補初期化** を選ぶと、すべての入力履歴が消去されます。
- 候補が10,000件を超える場合、メッセージが表示されます。**OK** を選ぶと、現在地から近い順に10,000件まで表示されます。
- 文字入力のしかた→P.206

3 リストから施設を選び、**決定** を選ぶ

- **←** : 入力した名称を修正

施設を絞り込む

地域で絞り込むには

1 **絞り込み** ▶ **地域** を選ぶ

2 都道府県 ▶ 市区町村を選ぶ

- **全国** : 地域絞り込みを解除

ジャンルで絞り込むには

1 **絞り込み** ▶ **ジャンル** を選ぶ

2 絞り込むジャンルを選ぶ

- **全ジャンル** : ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.60)

電話番号で探す

1 トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から **電話番号** を選ぶ

2 電話番号を市外局番から入力し、**検索** を選ぶ

- **✕** : 1文字削除
- 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。

地図が表示されます。(P.60)

お知らせ

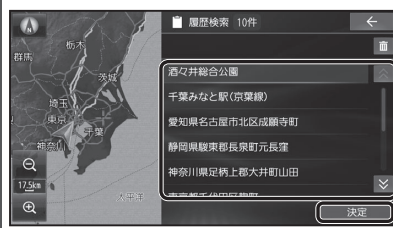
- 電話番号から個人宅を検索できません。
- 電話番号が一部しかわからない場合は、検索できません。

目的地・経由地の履歴から探す

1 トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から **履歴** を選ぶ

- 以前目的地・経由地に設定した場所のリストが新しい順に100件まで表示されます。

2 リストから履歴を選び、**決定** を選ぶ



地図が表示されます。(P.60)

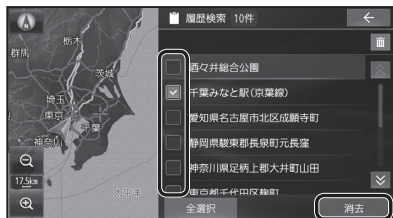
お知らせ

- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に消去されます。

目的地・経由地の履歴を手動で消去するには

1 リスト(P.56)からを選ぶ

2 消去したい履歴を選び、 **消去**▶ **はい**を選ぶ



- 選んだ履歴が消去されます。
- **全選択**：すべての履歴が選択されます。

自宅へ帰る

- 自宅を登録してください。(P.23)
- トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から**自宅**を選ぶ

現在地から自宅までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。(P.61)

登録地から探す

準備

- 地点を登録してください。(P.69)

1 トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から**登録地**を選ぶ

2 リストから登録地を選び、 **決定**を選ぶ

- **登録順(昇順)**：登録された順に昇順で表示
- **登録順(降順)**：登録された順に降順で表示

地図が表示されます。(P.60)

地図の中心地点周辺の施設を探す

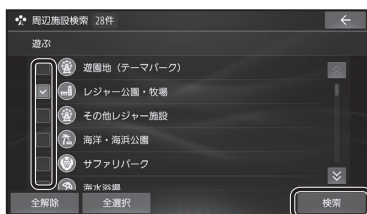
地図の中心地点の施設を検索できます。

1 地図をスクロールして、検索範囲の中心にカーソルを合わせ**設定**を選ぶ ● 地点メニュー (P.41) が表示されます。

2 地点メニュー (P.41) から **周辺検索**を選ぶ

3 ジャンル▶中分類▶小分類を選び、 **検索**を選ぶ

- リストに **>** が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- チェックボックスのある中分類・小分類は、チェックボックスから複数の項目を選ぶことができます。




- **全選択**：すべての項目を選択する
- **全解除**：すべての項目を解除する

4 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

地図が表示されます。(P.60)

行き先を探す

住所で探す

- 1 トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から **住所** を選ぶ
- 2 都道府県 ▶ 市区町村 ▶ 町名 ▶ 丁目を選ぶ
 - 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
 - 住所が部分的にしかわからないときは、**代表地点** を選ぶと、その地域の地図を表示します。
- 3 数字キーで番地・号を入力し、**検索** を選ぶ
 - 番地・号は、「一」で区切ってください。
 -  : 1文字削除
 - リストから番地・号を選ぶこともできます。

地図が表示されます。(P.60)

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。
(最大100件)


- 1 トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から **ジャンル** を選ぶ
- 2 ジャンル ▶ 中分類 ▶ 小分類を選ぶ
 - リストに **>** が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- 3 検索する範囲の中心となる地点を選ぶ
 - **現在地周辺** : 地図の周辺の施設
 - **目的地周辺** : 目的地周辺の施設 * 1
 - **ルート沿い** : ルート沿いの施設 * 1 * 2
 - **都道府県** : 選んだ地域の施設 * 3

* 1 ルート案内中のみ
* 2 現在地からルート沿いに左右約 100 m、
進行方向に約 10 km 以内を検索
* 3 都道府県・市区町村を選択してください。
- 4 リストから施設を選び、**決定** を選ぶ
 - 選んだ施設に出入口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。

地図が表示されます。(P.60)

マップコードで探す

マップコードについて、詳しくは P.219 をご覧ください。

- 1 トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から **マップコード** を選ぶ
- 2 マップコードを入力し、 を選ぶ

地図が表示されます。(P.60)

お知らせ

- 本機は高分解能マップコードにも対応しています。(マップコードHR)

周辺の施設から探す

現在地、目的地周辺や、ルート沿いの施設を検索できます。(最大100件)

1 トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から **周辺施設** を選ぶ

2 検索方法を選ぶ

- ☐ **現在地周辺** : 地図の中心周辺の施設
- ☐ **ルート沿い** : ルート沿いの施設 *1 *2
- ☐ **目的地周辺** : 目的地周辺の施設 *2

*1 現在地からルート沿いに左右
約100 m、進行方向に約10 km
以内を検索

*2 ルート案内中のみ

3 ジャンルを選ぶ ジャンル ▶ 中分類 ▶ 小分類を 選び、**検索** を選ぶ

- ☐ 中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。選んだ項目には、チェックマーク(✓)が付きます。
- ☐ リストに **>** が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。



- ☐ **全解除** : すべての項目を解除する
- ☐ **全選択** : すべての項目を選択する

4 リストから施設を選び、**決定** を選ぶ

地図が表示されます。(P.60)

検索した施設を目的地・経由地に設定する

1 地点を検索する

- 検索した地点の地図が表示されます。
(検索のしかた→P.56～59)

2 (目的地に設定する場合)

「ここに行く」を選ぶ

- カーソルの地点を目的地に設定してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。
- ルートが設定されている場合、前のルートは消去されます。

(経由地に設定する場合)

「立寄る」を選ぶ



- カーソルの地点が経由地に設定されます。

お知らせ

- 最終の目的地までルート探索をしてから経由地を設定してください。

3 (手順2で「ここに行く」を選んだ場合のみ)

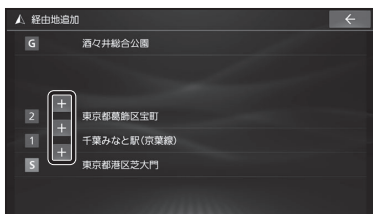
全ルート図から、探索条件を選ぶ

- 5つの探索条件から選べます。
(探索条件について→P.64)

(「立寄る」を選んだ場合のみ)

経由地を追加する区間の「+」を選ぶ

- 選んだ区間に経由地を追加し、ルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。
- 経由地の順番を入れ換えるには→P.63



4 案内スタートを選ぶ

- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。
- 全ルート図を表示後、他の画面を表示すると、ルート案内を開始します。
- 全ルート図のその他の操作は→P.61～63



お知らせ

- 経由地・目的地の近くに有料道路がある場合は、有料道路上に経由地・目的地を設定するかを確認するメッセージが表示されます。

全ルート図から設定・確認する

手動で全ルート図を表示させる

ルート案内中に、手動で全ルート図を表示させることができます。

トップメニュー(P.24)から ルートを選ぶ

- 全ルート図が表示されます。

■全ルート図



お知らせ

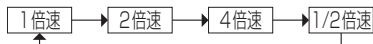
- 上記の方法では探索条件を選べません。ルート編集画面から設定してください。(P.62)

デモ走行でルートを確認する

探索したルートをデモ走行させ、実際に走行する前にルートを確認できます。

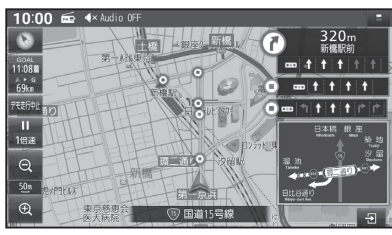
全ルート図から、デモ走行を選ぶ

- デモ走行を開始します。
- **1倍速**：デモ走行の走行速度を変更する。選ぶたびに、下記のように速度が変化します。



- **II**：デモ走行を一時停止する。
- **▶**：デモ走行に戻る。

■デモ走行中の画面



お知らせ

- 走行速度が2倍速または4倍速のときは、ルート音声案内されません。

デモ走行を終了するには

デモ走行中に、デモ走行中止を選ぶ

- デモ走行を終了します。
- を押してもデモ走行を中止します。

ルートを編集する

1 ランチャー (P.40) または全ルート図 (P.61) から **ルート編集** を選ぶ

2 ルートを編集する (P.62～63)

- ルート編集画面から編集できる内容
 - ・ 経由地・目的地の追加・削除
 - ・ 経由地・目的地の順番の並べ換え
 - ・ 各区間の探索条件の変更

3 **探索開始** を選ぶ

- 編集した条件でルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。(P.61)

経由地を追加・消去する

経由地を追加する

1 ルート編集画面から経由地を追加したい区間の **+** を選ぶ

2 経由地にしたい場所を検索する (P.56～59)

- **出発地付近** : 出発地付近の地図を表示
- **目的地付近** : 目的地付近の地図を表示
- **地図** : 最後に表示していた地図を表示

3 **立寄り** を選ぶ

- 検索した地点が経由地として追加されます。

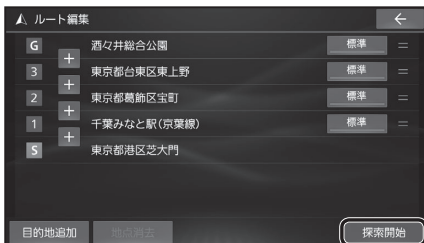
経由地を消去する

1 ルート編集画面から、消去したい経由地を選ぶ

2 **地点消去** ▶ **はい** を選ぶ

- 選択した経由地が消去されます。

■ ルート編集画面



目的地を追加・消去する

目的地を追加する

1 ルート編集画面から、**目的地追加** を選ぶ

2 目的地にしたい場所を検索する (P.56～59)

- **出発地付近** : 出発地付近の地図を表示
- **目的地付近** : 目的地付近の地図を表示
- **地図** : 最後に表示していた地図を表示

3 **ここに行く** を選ぶ

- 検索した地点が目的地として追加されます。
- 前の目的地は、目的地の直前の経由地になります。

目的地を消去する

1 ルート編集画面から、目的地を選ぶ

2 **地点消去** ▶ **はい** を選ぶ

- 目的地が消去されます。
- 消去した目的地の直前の経由地が、新しい目的地になります。

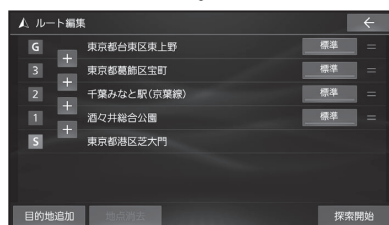
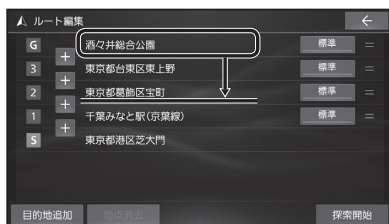
お知らせ

- 目的地を消去できるのは、ルートに経由地がある場合のみです。

経由地・目的地の順番を並べ換える

ルート編集画面から、経由地・目的地をドラッグして、順番を並べ換える

- 希望の順番になるまで、ドラッグ操作を繰り返して並べ換えてください。

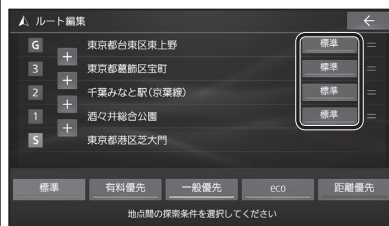


区間ごとの探索条件を変更する

1 ルート編集画面から変更したい探索条件を選ぶ

2 探索条件を選ぶ

- 選んだ探索条件に切り換わります。
- 探索条件について→P.64



ルート探索について

探索条件について



標準 : 高速道路・有料道路 / 一般道路の使用を自動で判断したルート (通常は「標準」で探索します。)

有料優先: 高速道路・有料道路を優先して通るルート

一般優先: 一般道路を優先して通るルート

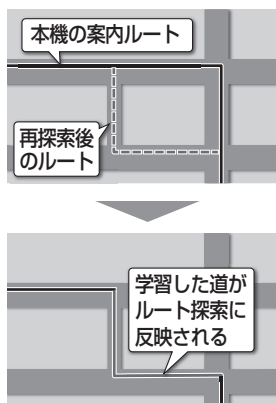
eco : 燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート

距離優先: 距離が短くなるルート

お知らせ

- 一般優先で探索しても、有料道路を含むルートを探さる場合があります。
- 探索条件を変更するには→P.63
- 「eco」で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 「eco」で探索されるルートの算出には、パナソニック独自の技術を使用しています。

ルート学習について



ルート案内中に同じ道で自動再探索が何度か起きると、実際に走行した道を学習してルート探索に反映されるようになります。(「距離優先」での探索を除く)

- 学習した道を探索に反映させる度合いの設定ができます。(P.45)

- ルート学習のデータは、以下の場合に消去されます。

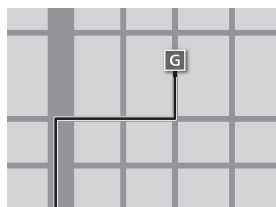
- 「ルート学習結果の初期化」を行ったとき (P.182)
- 地図更新を行ったとき

■意図しないルートが探索されるときは

他の効率の良い道よりも、本機が学習した道を優先してルート探索されている場合があります。

- 通りたい道を何度か通ると、本機がその道を学習し、優先的に通るルートを探索するようになります。
- 「ルート学習結果の初期化」(P.182)を行うと、効率の良い道を優先して通るルートを探索します。

細街路探索について

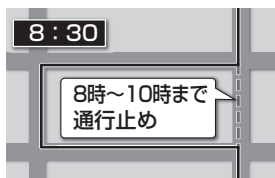


出発地・経由地・目的地周辺は、道幅 3 m 以上 5.5 m 未満の細い道路も含めてルートを探索します。

走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探索する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

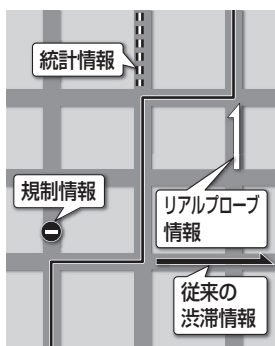
- 細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。

曜日時間規制探索について



月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探します。
規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

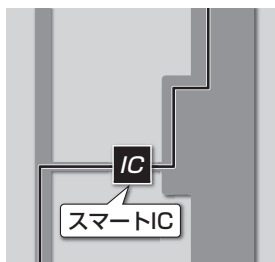
VICS考慮について



FM-VICSの渋滞/規制情報をもとに、渋滞/規制を避けたルートを探します。

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制の場所を避けたルートを探します。
- 別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のほかに光ビーコンからのVICS情報も受信できます。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞/規制の情報は、考慮されない場合があります。
- 渋滞/規制情報をもとにVICS考慮する/しないの設定ができます。(VICS考慮→P.45)

スマートIC、ETC専用料金所を通るルートについて



スマートIC、ETC専用料金所の利用を考慮したルートを探します。その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報は考慮されますが、**通行できる車種の情報は考慮されません。**また、ETC2.0車載器を搭載していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートIC、ETC専用料金所を通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートIC、ETC専用料金所の状況に従って通行してください。

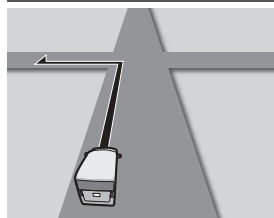
- スマートIC、ETC専用料金所を考慮する/しないの設定ができます。(スマートインター考慮→P.45)

お願い

- スマートICおよびETC専用料金所は、ETC専用のインターチェンジや料金所です。ETC2.0車載器を搭載していない車両の場合は、スマートインター考慮を「OFF」に設定してください。

ルート案内中に

一般道路走行中の音声案内



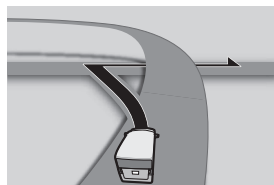
■交差点に近づく

およそ **300 m** 先、**大手町** を**左方向** です。

- 細街路でも交差点で音声分岐案内されます。

まもなく**大手町** を**左方向** です。

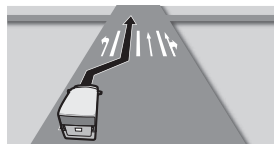
左方向 です。



■側道では

まもなく、**左方向、側道** です。

左方向、側道 です。

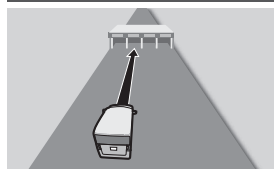


■レーンのある道路では

この先、**左折専用車線** に注意してください。

- 専用レーン案内の設定 → P.45

高速道路・有料道路走行中の音声案内



■料金所付近では

この先、**料金所** です。



■分岐地点に近づく

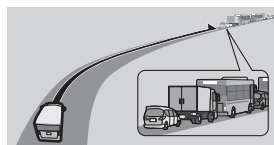
およそ **1 km** 先、**左方向、外苑出口** です。

まもなく、**左方向、外苑出口** です。

前方が渋滞していたら (VICS 案内)

渋滞や交通規制などのVICS 情報が案内されます。(前方約 10 km 以内)

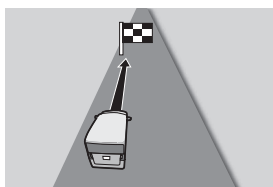
- ルート案内中：ルート上の情報
- ルート未設定：自車の進行方向の情報



およそ、**3 km** 先、**渋滞** しています。

- VICS案内の設定 → P.183

経由地・目的地の音声案内



■経由地付近では

経由地付近です。

■目的地付近では

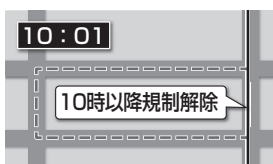
目的地に到着しました。
ルートガイドを終了します。

次の交差点などの音声案内を聞く

ルート案内中に、現在地画面 (P.38) で  を押す

● 次の分岐交差点などが案内されます。

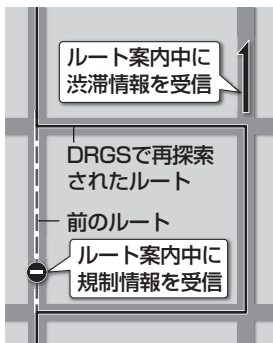
ルート案内中の曜日時間規制探索



ルート上の現在地周辺の月・曜日・時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

ルート案内中のVICS自動再探索(スイテルート案内)



FM-VICSの渋滞/規制情報 (P.52) を受信すると、渋滞/規制を考慮したルートに変更します。(DRGS*¹)

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制を避けたルートを探索します。
- 別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のほかに光ビーコンからのVICS情報も受信できます。
- 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
- 渋滞/規制情報をもとにVICS考慮する/しないの設定ができます。(VICS考慮→P.45)

* 1 DRGS: ダイナミックルートガイダンスシステム

新しいルートと前のルート进行比较する(新旧ルート比較)



VICS自動再探索が行われた場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。(新旧ルート比較) 表示中に、**新ルートで案内** / **元ルートで案内** でどちらのルートを案内させるかを選んでください。表示が消えるまで何も操作しないと、新旧ルート自動選択 (P.182) で設定されたルートで案内を開始します。

- 新旧ルート比較をしない場合があります。
 - ・変更前のルートを通行できないとき (通行止め、規制など)
 - ・現在地から約30 kmより先のルートが変更されたとき
- 新旧ルート比較画面を表示する/しないの設定→P.182

ルート案内中に

ルートから外れたときの自動再探索



ルートを外れても、自動的に再探索します。

休憩メッセージ案内

長時間の運転中、音声で休憩を促します。例：長時間運転している場合、

- 休憩メッセージ案内の設定→P.186

そろそろ休憩しませんか。

もう一度ルートを探索する

1 ランチャーメニュー (P.40) から **再探索** を選ぶ

2 再探索条件 (**標準** / 有料優先 / 一般優先 / **eco** / 距離優先) を選ぶ

- 経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。
- 選んだ条件で再探索します。

走行中の道路を誤って認識したとき (道路切替)

高速道路と一般道路が隣接しているときは、道路を取り違えることがあります。
(例えば、自車が高速道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など)
このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、正しい位置に修正します。

ランチャーメニュー (P.40) から **道路切替** を選ぶ

- そのまましばらく走行すると、自車位置の道路 (高速道路 / 一般道路) を切り換えて再探索されます。
- 道路切替は、隣接する並行な道路を対象としています。一般道路同士の切り換えはできません。

地点を登録する(登録地)

登録地について

最大900件まで登録できます。(自宅を含む)

- 登録された地点は、マークで表示されます。

登録地リストを表示する

登録地のリストから、登録地の地点の表示、編集、新規登録、消去ができます。

- 1 ナビ情報・設定メニュー(P.25)から**ナビ設定**を選ぶ

- 2 ナビ設定メニューから**登録地**を選ぶ

- 登録地リストが表示されます。

■登録地リスト



地点を登録する

カーソルの地点を登録する

- 1 地図モード画面から、登録したい場所にカーソルを合わせ、**設定**を選ぶ
- 2 地点メニュー(P.41)から**地点登録**を選ぶ
 - カーソルの位置(地点)が登録されます。

現在地を登録する

現在地画面を表示させ、ランチャー(P.40)から**地点登録**を選ぶ

- 現在地が登録地として登録されます。

登録地リストから地点を登録する

- 1 登録地リストから**新規登録**を選ぶ

- 2 地点を検索する

- 検索方法は「行き先を探す」と同じです。(P.56～59)
- 現在地付近**: 現在地付近の地図を表示*1
- 出発地付近**: 出発地付近の地図を表示*2
- 目的地付近**: 目的地付近の地図を表示*2
- 地図**: 最後に表示していた地図を表示

*1 ルート未設定時のみ

*2 ルート案内中のみ



- 3 登録したい場所にカーソルを合わせ、**設定**を選ぶ

- 4 **保存**を選ぶ

- 地点が登録されます。

登録地リストから目的地・経由地を設定する

- 1 登録地リスト(左記)から目的地・経由地に設定したい登録地を選択して、**決定**を選ぶ

- 地図が表示されます。
- 登録地リスト(左記)のまたはが点灯している場合は、消灯させてから操作してください。

- 2 検索した施設を、目的地・経由地に設定する(P.60)

地点を登録する(登録地)

登録地を消去する

1 登録地リスト(P.69)からを選ぶ

- が点灯します。

2 消去したい登録地のチェックボックスをONにして、 **消去**▶ **はい**を選ぶ

- 選択した登録地が消去されます。
- 全選択**：すべてのチェックボックスをONにします。



- 地点編集画面(P.73)から**消去**を選んで、地点を消去できます。

登録地の情報を見る

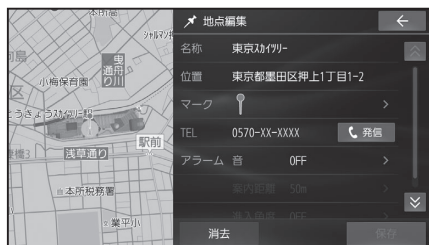
地点メニューから情報を見る

- 1 登録地にカーソルを合わせ、**設定**を選ぶ

- 2 地点メニュー(P.41)から**地点編集**を選ぶ



■地点編集画面



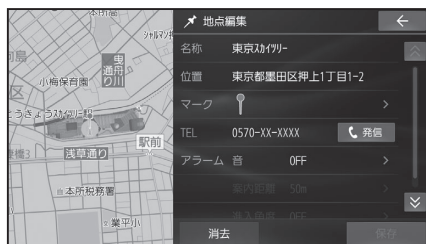
- 登録地の情報は編集できます。(P.72)

情報・設定メニューから情報を見る

- 1 登録地リスト(P.69)から**!**を選ぶ
 - !**が点灯します。

- 2 リストから登録地を選び、**編集**を選ぶ

■地点編集画面



- 登録地の情報は編集できます。(P.72)

地点を登録する(登録地)

登録地を編集する

各項目を編集し、**保存**を選ぶ

- 必ず、**保存**を選んで編集内容を保存してください。

名称を編集する

1 地点編集画面から「名称」の欄を選ぶ

2 地点を編集し、☒を選ぶ

- 全角64文字(半角128文字)まで
- 文字入力のみ→P.206

マークを変更する

1 地点編集画面から「マーク」の欄を選ぶ

2 リストからマークを選び、**決定**を選ぶ

電話番号を編集する・電話をかける

■電話番号を編集する

1 地点編集画面から「TEL」の欄を選ぶ

2 電話番号を入力し、☒を選ぶ

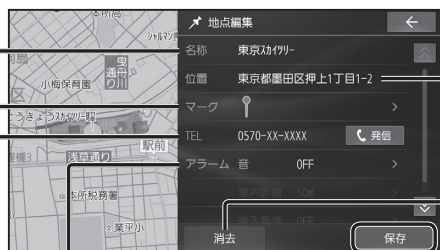
■登録地の番号に電話をかける

- ハンズフリー接続中のみ

地点編集画面から**発信**を選ぶ

- 登録地の電話番号に電話をかけます。
- 通話中の操作について(P.138)

地点編集画面



- 地点編集画面を表示するには
→P.71

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づく、アラームでお知らせします。

■ アラームの音を設定する

[お買い上げ時の設定: OFF (鳴らさない)]

- 1 地点編集画面から
「アラーム 音」の欄を選ぶ

- 2 **アラーム1**～**アラーム9**から
アラームを選び、**決定**を選ぶ

- アラームを選ぶと、選んだアラームの音が出力されます。
- **OFF**を選ぶと、アラーム音がOFFに設定されます

■ アラームを鳴らす距離を設定する

[お買い上げ時の設定: 50 m]

- 1 地点編集画面から
「アラーム 案内距離」の欄を選ぶ

- 2 **50 m** / **100 m** / **300 m** / **500 m**
から距離を選ぶ

登録地の位置を修正する

- 1 地点編集画面から「位置」の欄を選ぶ
- 2 地図をスクロールさせて位置を変更し、**決定**の欄を選ぶ

登録地を消去する

一度消去するとともに戻せません。
消去は十分確認のうえ行ってください。

- 1 **消去**を選ぶ
- 2 **はい**を選ぶ

- 登録地が消去されます。

■ アラームを鳴らす方向を設定する

[お買い上げ時の設定: OFF (全方向)]

- 1 地点編集画面から
「アラーム 進入角度」の欄を選ぶ
- 2 **決定**を選ぶ



VICS 情報を見る

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。VICSはVehicle Information and Communication System (道路交通情報通信システム) の略です。

- 本機では、FM-VICS (FM多重放送) を受信できます。
 - ・選局した放送局からの電波が弱い場合は、FM-VICS を受信できません。
- ETC2.0車載器キット (別売品) を接続すると、ETC2.0サービス (電波ビーコン 5.8GHz) からVICS 情報を受信できます。
- 高度化光ビーコン対応のETC2.0車載器キット (別売品) を接続すると、下記を受信できます。
 - ・ETC 2.0サービス (電波ビーコン 5.8 GHz) および光ビーコンからのVICS 情報
 - ・信号情報活用運転支援システム (TSPS *¹) による情報

* 1 TSPSはTraffic Signal Prediction Systemsの略です。

お知らせ

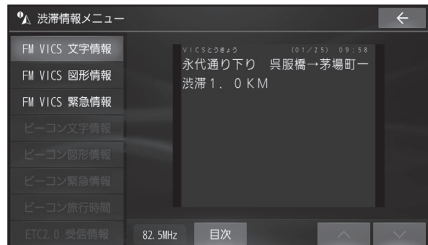
- 渋滞情報に関する設定は→P.184
- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 提供されるVICS 情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

文字表示型 (レベル1) のVICS 情報を受信すると

FM多重で受信すると

受信しても、自動的に表示されません。

- 受信した情報を手動で見るには→P.78



光ビーコンで受信すると

受信すると、地図画面に自動的に一定時間 (7~15秒間) 割り込み表示されます。

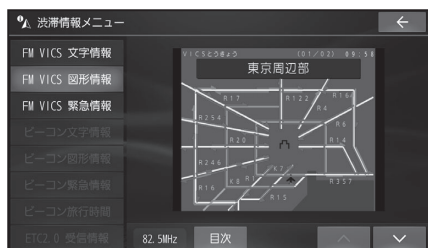


図形表示型 (レベル2) のVICS 情報を受信すると

FM多重で受信すると

受信しても、自動的に表示されません。

- 受信した情報を手動で見るには→P.78



光ビーコンで受信すると

受信すると、地図画面に自動的に一定時間 (7~15秒間) 割り込み表示されます。



地図表示型(レベル3)のVICS情報を受信すると

渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報(レベル3)を受信すると、自動的に表示されます。



お知らせ

- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。
- VICS表示設定→P.46
- レベル3情報の見かた→P.52～53

画像・音声情報のVICS情報を受信すると(ETC2.0)

地図画面に、自動的に一定時間(7～15秒間)割り込み表示されます。
音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

【優先情報】:

下記の情報が提供されます。

- 安全運転支援情報
- 新緊急メッセージ情報^{*1}
- 注意警戒情報^{*2}

【一般情報】:

下記の情報が提供されます。

- センタ・ネットワーク障害通知情報
- 多目的情報
- 広域文字情報
- 長文読み上げ情報
- 電子標識情報

お知らせ

- 別売のETC2.0車載器が必要です。
- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割り込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- ETC2.0の一般情報を割り込み表示する/しない^{*3}の設定→P.184

^{*1} 災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。

^{*2} 気象急変箇所、路面凍結多発箇所などの注意喚起を文字や画像、音声情報などでお知らせします。

^{*3} 割り込み表示する/しないの設定にかかわらず、優先情報は割り込み表示されます。

割込み画面(例)








- : 音声情報の停止
- : 音声情報の再生
- : 次のページに切替
- : 割り込み画面消去

VICS 情報を見る

信号情報活用運転支援システム(TSPS)による情報を受信すると

道路上に設置された高度化光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報をアイコン表示と音声で案内します。

■ TSPS アイコン表示例

表示	状況	音声
	前方の信号交差点の案内ができるとき	なし
	前方の信号機が赤信号になると予測し、減速を促すとき (赤信号減速支援) * 1	この先、信号機があります。 ご注意ください。
 カウントダウン	赤信号での停車時、信号機が青信号になるのを待つとき (発進遅れ防止支援)	なし
 残り 5 秒前から	赤信号での停車時、信号機があと 5 秒で青信号になるとき (発進遅れ防止支援)	まもなく青信号です。
	前方の信号交差点の案内ができないとき	なし

* 1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

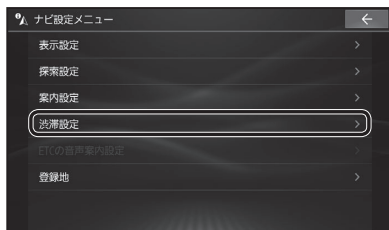
お知らせ

- 別売のETC2.0車載器(高度化光ビーコン対応モデル)が必要です。
- 信号情報活用運転支援システムの設定については→P.183
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や交通規制標識・標示、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 下記のような場合は、「支援あり」のアイコン表示のまま案内を行わないことがあります。
 - ・提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
 - ・信号機の色が変わる直前のとき
 - ・対象となる交差点までの距離が短いとき
 - ・高速走行しているときや低速走行しているとき
- 下記のような場合は、「支援なし」とアイコン表示され案内を行わないことがあります。
 - ・信号機のサイクルに応じた有効時間が経過したとき
 - ・信号機の制御方式(押しボタン式、感应式など)により、信号情報が不確定なとき
- 信号情報活用運転支援システムは、すべての光ビーコンで情報を提供しているわけではありません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。
- 信号情報活用運転支援システムの対象路線内であっても進入条件によっては案内しない場合があります。

VICS情報を受信するFM放送局を設定する

- 1 ナビ情報・設定メニュー (P.25) から **ナビ設定** を選ぶ

- 2 ナビ設定メニューから **渋滞設定** ▶ **FM VICS周波数** を選ぶ



- 3 周波数設定画面から **放送局の設定をする** (右記)



お知らせ

- GPS 信号で現在時刻の情報を受信していないときは、FM-VICSの情報を受信できません。
- **手動選局** を選んだ場合は、選局した放送局が所在する都道府県のFM-VICS情報を受信します。隣接する都道府県については、県境付近など一部エリアのみ受信します。

自車位置に応じて自動で選局する
(自動選局: 推奨)

- 1 周波数設定画面 (左記) の **周波数の選局方法** ▶ **自動選局** を選ぶ

自車位置周辺の放送局から選ぶ
(エリア選局)

- 1 周波数設定画面 (左記) の **周波数の選局方法** ▶ **手動選局** を選ぶ
- 2 周波数設定画面 (左記) から **エリア選局** を選ぶ
 - 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。
- 3 リストから放送局を選ぶ
 - 選んだ放送局のFM-VICSを受信します。

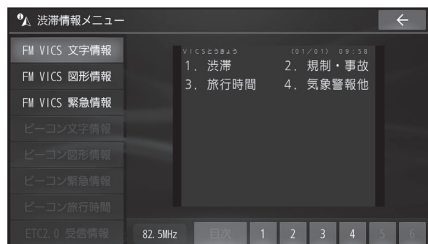
周波数で選局する (手動選局)

- 1 周波数設定画面 (左記) の **周波数の選局方法** ▶ **手動選局** を選ぶ
- 2 周波数設定画面 (左記) から **+ / -** で周波数を調整する

VICS 情報を見る

VICS 情報を確認する

- 1 ナビ情報・設定メニュー (P.25) から **渋滞情報** を選ぶ
- 2 渋滞情報メニューから見たい情報を選ぶ
 - 選んだ情報が表示されます。

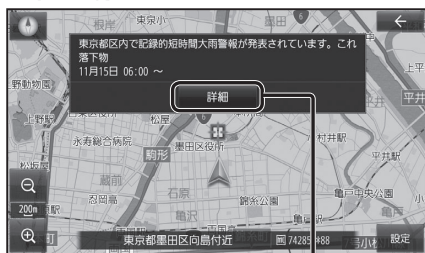


- **1** ~ **6**: 選んだページを表示* 1
- **▲** **▼**: ページ切替
- **目次**: もくじを表示* 1

* 1 FM VICS 文字情報、FM VICS 図形情報のみ。

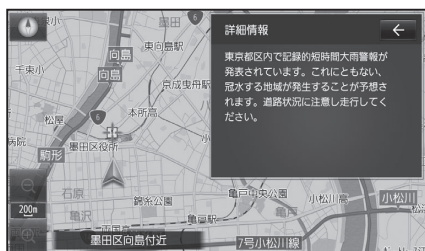
事象・規制マークの内容を確認する

事象・規制マークをタッチする。



- 情報が表示されます。

詳細 を選ぶと、詳細な情報が表示されます。



- 詳細情報がない場合は、**詳細** は表示されません。

緊急情報(特別警報)を受信すると

地図画面を表示中に受信するとただちに
表示されます。



✕を選ぶと、緊急情報画面が消去され、地
図画面に戻ります。



地図画面で **緊急情報受信中** を選ぶと、
緊急情報画面(詳細情報)が表示されます。



- < > : ページ切換
- ↑ ↓ : 行を戻す/送る
- 走行中は、行を戻す/送る、詳細の操作は
できません。
- 情報自体の提供が無い場合は表示され
ません。

オーディオの基本操作	82
オーディオに切り換える	82
オーディオのソースを選ぶ	82
オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える	83
オーディオをOFFにする	83
テレビを見る	84
テレビ初期設定を行う	84
緊急警報放送(EWS)について	85
周波数再編(リパック)について	85
テレビの基本操作	86
テレビの設定・情報を見る	90
ラジオを聞く	91
交通情報を聞く	92
ディスクを再生する	93
再生できるディスク	93
ディスクを挿入する	93
ディスクを取り出す	93
DVDを再生する	94
DVD-Video・DVD-VRを再生する	94
DVD-Video・DVD-VRの初期設定を変える	96
CDを再生する	97
音楽CD(CD-DA)を再生する	97
スマートフォンでタイトルを検索する(オンライン検索)	98
MP3/WMAを再生する	99
BLUETOOTH® Audioを再生する	100
レコーダーの映像を見る	102
準備する	102
再生する	103
視聴設定を変更する	104
SDメモリーカードに音楽CDを録音する	105
録音に関する設定をする	105
録音する	105
音楽CDの録音について	106

オーディオ


本機で録音した音楽データを再生する	107
本機で録音した音楽データを管理する (MEMORY MUSIC)	109
曲管理画面の基本操作	109
音楽データを消去する	110
SD カードの情報を見る	110
スマートフォンでタイトルを更新する (オンライン検索)	110
更新したGracenote データベースをタイトルに反映させる (データベース再検索)	111
SDメモリーカード・USBメモリーを再生する	112
SDメモリーカードを挿入する	112
SDメモリーカードを取り出す	112
USBメモリーを本機と接続する	113
音楽 (MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV) を再生する	114
動画 (MP4/AVI/MKV/ASF/WMV) を再生する	115
再生するファイルを選ぶ	116
iPodを再生する	117
音質・音場を調整する (オーディオチューン)	120
オーディオチューンの基本操作	120
音響効果「音の匠」を設定する	121
音場「DSP」を設定する	122
より自然な音で聞く (ビット・周波数拡張)	123
車速連動音量を補正する	123
ノイズ連動音量を補正する	124
イコライザー設定の基本操作	125
フェーダー/バランスの出力レベルを調整する	126
スピーカー設定の基本操作	126
スピーカーの設定をする	127
映像を調整する	128
画質/画面サイズを調整する	128
現在地画面にオーディオ映像を表示する	129
PinP表示する/しないを設定する	129

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、DVD、SD動画、USB動画、HDMI、レコーダーリンクの映像は表示されません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 走行中でも、後席ディスプレイには映像が出力されます。
後席ディスプレイに出力される映像について→P.180

オーディオに切り換える

を押す

- オーディオ画面に切り換わります。
- オーディオOFFの状態ではを押すと、オーディオソース一覧(下記)が表示されます。

オーディオのソースを選ぶ

オーディオソース一覧から

切り換えたいオーディオを選ぶ



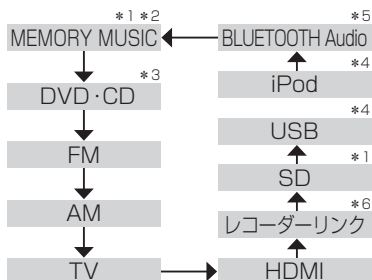
- 選んだオーディオに切り換わります。
- 全機能一覧(P.26)から選ぶこともできます。

ステアリングスイッチで

ステアリングスイッチの

を押す

- 押すごとにオーディオが切り換わります。




- オーディオOFF時はMEMORY MUSICに切り換わります。
- 交通情報時は、TVに切り換わります。
- 交通情報はステアリングスイッチで切り換えてできません。

- * 1 SDメモリーカード挿入時のみ
- * 2 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
- * 3 ディスク(CD・MP3/WMA・DVD)挿入時のみ
- * 4 USBメモリーまたはiPod接続時のみ(同時には接続できません。)
- * 5 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ
- * 6 スマートフォンをBLUETOOTH接続し、「電話」を選んでいる場合のみ

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に

を押す

- オーディオ画面に戻るには、を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。(右記)

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.129)

オーディオをOFFにする

本体ボタンで

を2秒以上押す

■オーディオをONにするには
オーディオOFFの状態で、

を2秒以上押す

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り換わります。

トップメニューから

トップメニュー (P.24) から

Audio ON/OFFを選ぶ

- オーディオがOFFになります。

■オーディオをONにするには
オーディオOFFの状態で、トップメニュー (P.24) から **Audio ON/OFF**を選ぶ

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り換わります。

オーディオ情報・設定メニューから

オーディオ情報・設定メニュー (P.25) から、オーディオ出力

OFFを選ぶ

- オーディオがOFFになります。

■オーディオをONにするには
オーディオOFFの状態で、オーディオ情報・設定メニュー (P.25) から、オーディオ出力 **ON**を選ぶ

- オーディオOFFにしたときに選ばれていたソースに切り換わります。

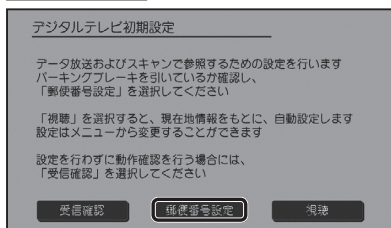
テレビを見る

トップメニュー (P.24)、オーディオソース一覧 (P.82) または全機能一覧 (P.26) から **TV** を選ぶと、テレビに切り換わります。

テレビ初期設定を行う

初めてテレビに切り換えたときは、テレビ初期設定画面が表示されます。
地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずテレビ初期設定をしてください。

1 郵便番号設定を選ぶ



- **視聴** を選ぶと、自車マーク周辺の地域が自動的に登録されます。
- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、**受信確認** を選んでください。
 - ・受信確認中は、**◀ ▶** で物理チャンネルを変更できます。

2 お住いの地域の郵便番号を入力し、**視聴** を選ぶ



- デジタルテレビ初期設定完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。

デジタルテレビ初期設定を変更する

デジタルテレビ初期設定画面 (上記) は、一度設定すると、出荷状態に戻す (P.187) またはTVの初期化 (P.187) をするまで表示されません。引越しで受信地域が変わったなどの理由で、デジタルテレビ初期設定の項目を変更したい場合に行ってください。

1 設定画面 (P.90) から **ユーザー情報設定** を選ぶ

2 **修正** を選ぶ

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**次へ** を選ぶ

4 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■ 伊豆、小笠原諸島地域

1 **沖縄・その他の島部** を選ぶ

2 **東京都島部** を選ぶ

■ 南西諸島鹿児島県地域

1 **沖縄・その他の島部** を選ぶ

2 **鹿児島県島部** を選ぶ

5 地域を選んで、**完了** を選ぶ

6 **終了** を選ぶ

緊急警報放送 (EWS) について

緊急警報放送 (EWS) とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム (Emergency Warning System) の略です。

緊急警報放送 (EWS) を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。

- テレビ以外のオーディオを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り換わる場合があります。
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- 緊急警報放送の試験放送では動作しません。

周波数再編 (リパック) について

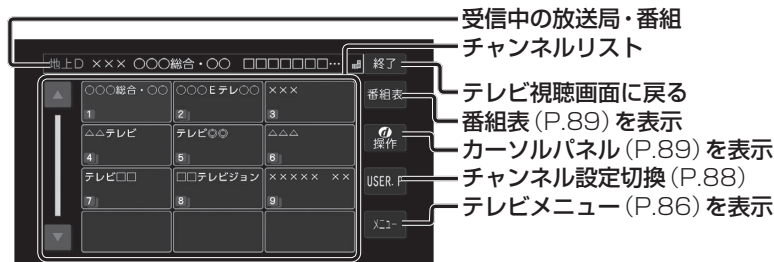
周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネル設定をユーザープリセットに切り換え、「スキャン」を行ってください。(P.87、88)

テレビを見る

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)が表示されます。

- 約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。



選局する

チャンネルリスト(上記)から選ぶ

- 選んだチャンネルに切り換わります。
- 同じチャンネルで複数の番組が放送されている場合は、チャンネルをタッチするたびに番組が切り換わります。

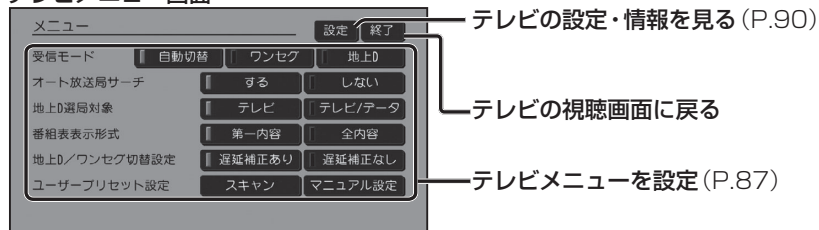
テレビメニューを設定する

選局パネル(上記)から**メニュー**を選ぶ

- テレビメニューが表示されます。

■テレビメニュー

テレビメニュー画面



テレビメニューを設定する

[太字:お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容 / 操作	
受信モード 受信状態が良くないときは、ワンセグに切り換えると、比較的安定した画像を見ることができます。	「自動切替」 : 受信状態に応じて地上デジタル放送 / ワンセグを自動的に切換 「ワンセグ」 : 受信状態にかかわらずワンセグを受信 「地上D」 : 受信状態にかかわらず地上デジタル放送を受信 ●受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ●放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送 / ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。	
オート放送局サーチ 移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。	「す る」 : オート放送局サーチする 「しない」 : オート放送局サーチしない ●県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、選局パネルから手動で選局してください。 ●放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。	
地上D選局対象*1 テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。	「テレビ」 : テレビサービスのみ選局する*2 「テレビ / データ」 : テレビサービスと独立データサービスを選局する *1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 *2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。	
番組表表示形式 番組表の表示のしかたを設定します。	「第 一 内 容」 : 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する ●代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 「全 内 容」 : 同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する	
地上D / ワンセグ切替設定 地上デジタル放送 / ワンセグが切り換わるときの時間のズレを、補正する / しないを設定します。	「遅延補正あり」 : 映像・音声のズレを補正する 「遅延補正なし」 : 映像・音声のズレを補正しない ●受信モード(上記)が「自動切替」のときに、設定が有効となります。 ●地上デジタル放送を十分に受信してからでないと効果が表れない場合があります。 ●「遅延補正あり」では、切り換えに伴う「音の連続再生」を優先するため、受信環境が悪化すると、早めにワンセグに切り換わります。 ●「遅延補正なし」では、受信環境が悪化しても、地上デジタル放送での視聴を優先します。ワンセグへの切り換えが早いと感じる場合は「遅延補正なし」に設定すると改善される場合があります。	
ユーザープリセット設定 ユーザープリセットのチャンネル設定をします。 ●エリアプリセットモードでは設定できません。ユーザープリセットモードに切り換えてください。(P.88)	スキャン を選ぶ ●チャンネルのスキャンを開始し、終了するとチャンネル設定画面が表示されます。	チャンネル設定画面で放送局を確認して、 終了 を選ぶ (P.88)
	チャンネル設定を変更したいときは マニュアル設定 を選ぶ	チャンネル設定画面で放送局を変更して、 終了 を選ぶ (P.88)

テレビを見る

テレビの基本操作(続き)

チャンネル設定を切り換える

選局パネル(P.86)から**USER.P**(または**AREA.P**)を選ぶ

- 選ぶごとに、エリアプリセットとユーザープリセットが切り換わります。

AREA.P(エリアプリセット):自動的に自車位置周辺の放送局を表示するチャンネルリスト

USER.P(ユーザープリセット):手動で放送局をスキャンして設定したチャンネルリスト(P.86)

[お買い上げ時の設定:エリアプリセット]



初めてユーザープリセットに切り換えたときは

「ユーザープリセットが未設定です スキャンしますか?」というメッセージが表示されます。下記の手順でチャンネルを記憶させてください。

1 はいを選ぶ

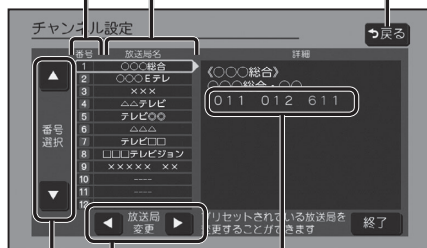
- チャンネルのスキャンを開始し、終了したらチャンネル設定画面が表示されます。

2 各チャンネルの放送局を確認して、**終了**を選ぶ

- チャンネルを記憶し、チャンネル設定を終了します。

■ チャンネル設定画面

チャンネル番号 放送局名 ユーザープリセットのチャンネル設定編集結果が破棄されます。



同じ放送局で受信できるチャンネル
・複数表示される場合があります。
・ワンセグは青色で表示されます。

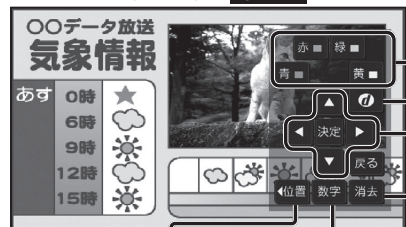
チャンネル番号を選んで、お好みの放送局を割り当てることができます。

▲▼: チャンネル番号を選択

◀▶: 放送局名を選択

カーソルパネルの操作

選局パネル (P.86) で **操作** を選ぶと、カーソルパネル (下記) が表示されます。



項目を選択

データ放送を見る

- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度 **操作** を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。
- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

◀ ▶ ▲ ▼: 項目の選択 /

決定: 選んだ項目に決定

カーソルパネルを消去

カーソルパネルを移動



位置 ▶: もとの位置に戻す

数字パネルに切替



操作: カーソルパネルに戻す

番組表を見る

選局パネル (P.86) で **番組表** を選ぶと、番組表 (下記) が表示されます。

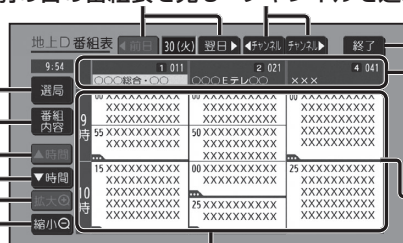
別の日の番組表を見る チャンネルを選ぶ

選局パネルに戻る

視聴中の番組の
番組内容を見る
(下記)

時間帯を選ぶ

番組表の拡大/縮小



番組表を消去

視聴したいチャンネル
を選ぶ

選局 を選ぶとチャンネル
が切り換わります。

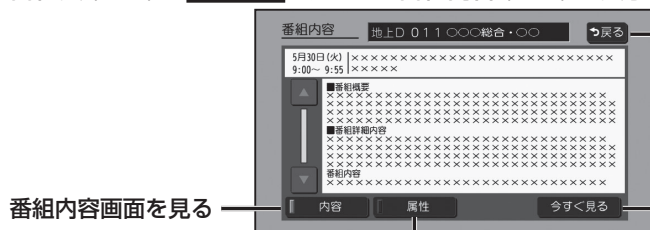
緑線部分:
放送時間の短い番組
があります。選ぶと
番組が表示されます。

選んだ番組の番組内容を見る (下記)

- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。
- 番組表示形式を設定できます。(P.87)

番組内容を見る

番組表 (上記) で **番組内容** を選ぶと、番組内容 (下記) が表示されます。



番組表に戻る

放送中の番組の場合は
今すぐ見る タッチキー
が表示されます。
タッチすると、選んだ
番組に切り換わります。

番組内容画面を見る

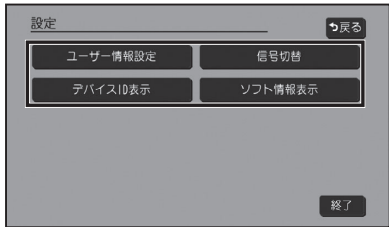
属性画面 (詳細な情報) を見る

テレビを見る

テレビの設定・情報を見る

1 テレビメニュー画面 (P.86) から **設定** を選ぶ

2 設定・確認したい項目を選ぶ

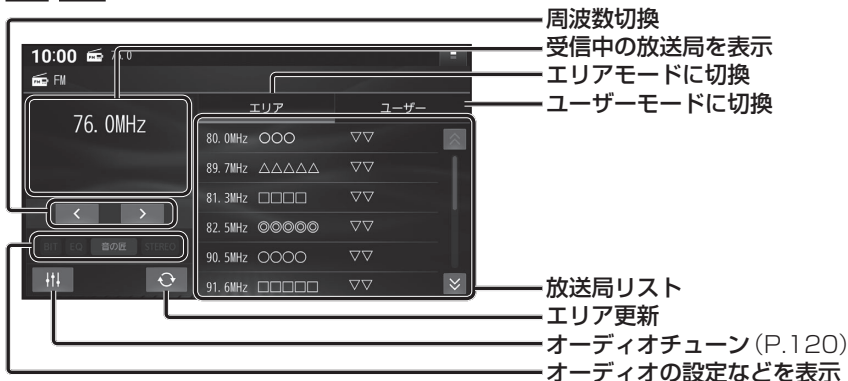


● **終了**：テレビの視聴画面に戻る

項 目	設定内容
ユーザー情報設定	テレビ初期設定を変更します。(P.84)
信号切替	各項目を設定します。 「マルチビュー」：マルチビュー放送のときに選択できます。 ●マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 「映像」：映像が複数あるときに選択できます。 「音声」：音声が多数あるときに選択できます。 「二重音声」：音声多重放送の時に音声を選択できます。 「字幕」：字幕の言語を選択できます。 「文字スーパー」：文字スーパーの言語を選択できます。 ●文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。
デバイス ID 表示	通常は、この操作は必要ありません。 ●受信機 (本機) に記憶されている放送局に関する情報が表示されます。 ●お問い合わせの際に必要な場合があります。
ソフト情報表示	ソフト情報を確認します。

ラジオを聞く

トップメニュー (P.24)、オーディオソース一覧 (P.82) または全機能一覧 (P.26) から **FM**・**AM** のいずれかを選ぶと、ラジオに切り換わります。



リストから選局する

放送局リストから、放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

周波数で選局する

< **>** で周波数を切り換える

- 「ピッ」と音が鳴るまでタッチし続けると、自動的に選局を開始し、受信すると止まります。(シーク選局)

エリアモードに切り換える

エリア を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストが表示されます。

ユーザーモードに切り換える

ユーザー を選ぶ

- プリセットした放送局リストが表示されます。
- お好みの放送局を登録できます。(プリセットメモリー→右記)

放送局をリストに記憶させる (プリセットメモリー)

ユーザーモード (左記) で行ってください。

1 周波数で選局する (左記)

2 放送局リストの登録したい枠を 約 1 秒以上タッチする

- 選局された放送局が、選んだ枠に登録されます。

放送局リストを更新する

エリアモード (左記) で使用中、自車が走行したために、放送局が受信エリアから外れた場合は、下記操作で受信エリアを更新してください。

↺ を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストに更新されます。

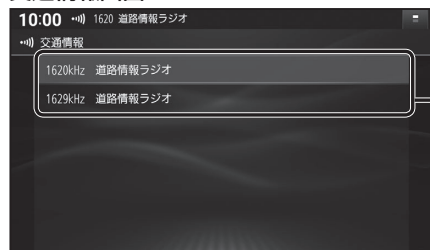
お知らせ

- 受信したい放送局が放送局リストに無い場合は、周波数で選局してください。
- 受信電波の弱い地域では、シーク選局できないことがあります。
- エリアモードの放送局リストは本機に収録されている情報に基づいて表示されるため、下記のような場合があります。
 - ・ 放送局が表示されない / 実際とは異なる放送局が表示される
 - ・ リストに表示されている放送局を選択しても、切り換わらない (放送を受信できない)
 - ・ リストに表示されている放送局とは違う放送局に切り換わる
- 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をユーザーモードの放送局リストに記憶させてください。

交通情報を聞く

トップメニュー(P.24)、オーディオソース一覧(P.82) または全機能一覧(P.26) から**交通情報**を選ぶと、交通情報に切り換わります。[お買い上げ時の設定：1 620 kHz]

交通情報画面



交通情報の放送局

周波数を切り換える

1620kHz / **1629kHz**を選ぶ

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。
「ディスクについて」(P.208)も併せてご覧ください。

フォーマット	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 *3	WMA *3
ディスク					
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW *1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW *2	—	—	○	○	○
操作のしかた	P.96 ~ 98		P.99 ~ 100	P.101	

*1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

*2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

*3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

ディスクを挿入する

- 1 を押す

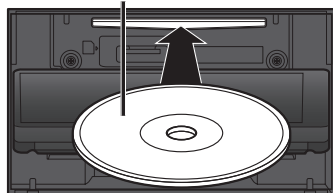
- 2 OPEN/EJECT画面から
OPENを選ぶ




- ディスプレイが開きます。

- 3 ディスクを挿入する

ラベル面を上



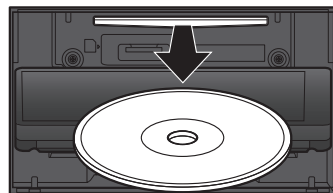
- ディスプレイが自動的に閉まり、再生を開始します。
- を押して、ディスプレイを閉じることもできます。


ディスクを取り出す

- 1 OPEN/EJECT画面(左記)から
DISC EJECTを選ぶ


- ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- 録音中などは、ディスクの排出までに時間がかかる場合があります。

- 2 ディスクを取り出す



- を押して、ディスプレイを閉じてください。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合があります。

お願い

- 走行中にディスクの出し入れをしないでください。破損するおそれがあります。
- ディスクが排出されない場合は、を10秒以上押してください。

DVDを再生する

DVD-Video・DVD-VRを再生する

DVD、DVD-R/RW (AVCHD・AVCREC形式を除く)のいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー (P.24)、オーディオソース一覧 (P.82) または全機能一覧 (P.26) から **DVD** を選べると、DVDに切り換わります。

再生画面にタッチまたはダブルタッチすると、動画操作画面が表示されます。



チャプターを頭出しする

◀◀ ▶▶ を選ぶ*¹

早送り・早戻しする

◀◀ ▶▶ をタッチし続ける*¹

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 5秒以上押し続けると、より高速の早送り・巻き戻しになります。

一時停止する

再生中に、操作パネルから **⏸** を選ぶ

- **▶** を選ぶと、再生を開始します。

スロー再生する

一時停止中に **◀◀ ▶▶** をタッチし続ける*¹

- 離すと、通常の再生に戻ります。

停止する

再生中に、操作パネルから **■** を選ぶ

- **▶** を選ぶと、停止したところから再生を開始します。(リジューム再生)
- 停止中に **■** を選ぶと、リジューム再生機能が解除されます。

トップメニューを表示する **[DVD-Video]**

操作パネルから **メニュー** を選ぶ

- ディスクのトップメニューが表示されます。

タイトルメニューを表示する **[DVD-Video]**

操作パネルから **タイトル** を選ぶ

- タイトルメニューが表示されます。

プレイリストを表示する **[DVD-VR]**

操作パネルから **プレイリスト** を選ぶ

- プレイリストが表示されます。

タイトルリストを表示する **[DVD-VR]**

操作パネルから **タイトルリスト** を選ぶ

- タイトルリストが表示されます。

*¹ ステータスバーの表示を切り換えて (P.39)、**◀◀ ▶▶** を選んでください。

音声を切り換える

- 操作パネル(P.94)から**音声**を選ぶ
 ●選ぶごとに、音声切り換わります。

字幕を切り換える [DVD-Video]

- 操作パネル(P.94)から**字幕**を選ぶ
 ●選ぶごとに、字幕切り換わります。

字幕を表示/消去する [DVD-VR]

- 操作パネル(P.94)から**字幕**を選ぶ
 ●選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

アングルを切り換える [DVD-Video]

- 操作パネル(P.94)から**アングル**を選ぶ
 ●選ぶごとにアングル切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニューから元の再生に戻る(リジューム) [DVD-Video]

- 操作パネル(P.94)から**リジューム**を選ぶ
 ●元の再生に戻ります。

再生時間を表示する

- 操作パネル(P.94)から**タイム**を選ぶ
 ●選ぶごとに下記のように切り換わります。
 再生経過時間→タイトル/チャプター→表示なし

タイトル/チャプターを番号で選ぶ(サーチ)

- 1 操作パネル(P.94)から**サーチ**を選ぶ
- 2 番号を入力し、**実行**を選ぶ
 - 選んだタイトル/チャプターに切り換わります。
 - 切替**: サーチの対象(タイトル/チャプター)を切換
 - 修正**: 1文字削除

静止画を切り換える [DVD-VR]

- 操作パネル(P.94)から**ページ送り**を選ぶ
 ●次の静止画に切り換わります。

ひとつ前の画面に戻る

- 操作パネル(P.94)から**リターン**を選ぶ

項目を決定する

- 操作パネル(P.94)から**エンター**を選ぶ
 ●項目が決定されます。

カーソルで操作する

- ◀ ▶ ▲ ▼ でカーソルを移動し、
 ●(実行)を選ぶ

10キーで選ぶ

- 1 操作パネル(P.94)から**10キー**を選ぶ
- 2 10キーで項目を選ぶ

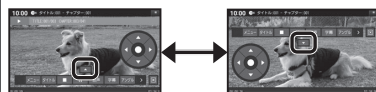


- ◀: タッチキーを画面左に移動
- ←: 操作パネルを表示
- ✕: タッチキー消去(再生画面に戻る)

操作パネルの位置を変更する

- ▲を選ぶ

- 選ぶごとに切り換わります。

**お知らせ**

- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、⊙が表示されます。






DVDを再生する

DVD-Video・DVD-VRの初期設定を変える

1 操作パネル(P.94)から**設定**を選ぶ

2 各項目を設定する(下記)

[太字:お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容 / 操作
言語を設定する ●言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。 ●設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。	言語設定 を選び、設定する[お買い上げ時の設定:日本語] ● オリジナル :ディスクで優先されている言語に切換 ● O F F :字幕表示しない ● 初期値 :すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す 言語コードを入力して決定を選ぶ ●選んだ言語がタッチキーに表示されます。 ● オリジナル 、 OFF を選んだ場合は、タッチキーに 言語を選択 と表示されます。 ●  :1文字削除
音声ダイナミックレンジで圧縮する *1 ●ドルビーデジタル再生時のみ設定できます。	ダイナミックレンジ圧縮 を選ぶ ●「 O N 」:圧縮する ●「 O F F 」:圧縮しない
ワイドサイズの映像を後席ディスプレイの画面サイズに合わせる ●本設定は本機の表示にも反映されます。設定が適切でないと、映像が不自然に見える場合があります。	モニター設定 を選ぶ ●「 ワイド 」:(16:9) ●「 レターボックス 」:(4:3) ●「 パン&スキャン 」:(4:3) 通常は「ワイド」(16:9)に設定してください。
再生できるDVDを制限する 設定範囲:(強)1~8(弱)、制限なし ●視聴制限が収録されていないDVDの場合は、本機で再生を制限することはできません。	視聴制限レベル を選ぶ 視聴制限レベルを選び、パスワードを入力して  を選ぶ ●設定範囲:(強)1~8(弱) 制限なし (制限解除) ●パスワード*2:4桁の数字 [お買い上げ時の設定:0000] ●  :1文字削除
パスワードを変更する	パスワード変更 を選ぶ 「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、  を選ぶ ●パスワード*2:4桁の数字 [お買い上げ時の設定:0000] ●  :1文字削除

*1 ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしな最大音との音量差を圧縮する機能です。

小さい音声が高音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。

*2 パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。

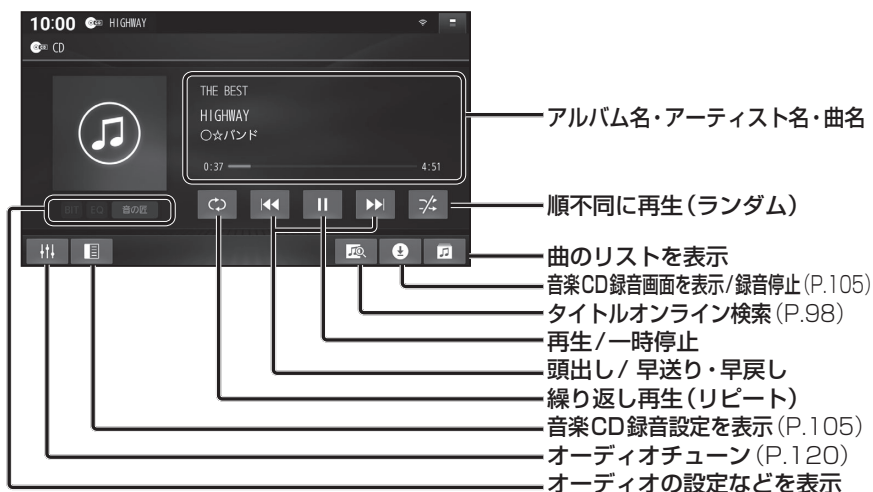
もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。

CDを再生する

CD、CD-R/RWのいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー (P.24)、オーディオソース一覧 (P.82) または全機能一覧 (P.26) から **CD** を選ぶと、CDに切り換わります。

- ナビゲーション画面表示中にCDを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**[]** を押してください。

音楽CD (CD-DA) を再生する



曲を頭出しする

[] を選ぶ

早送り・早戻しする

[] をタッチし続ける

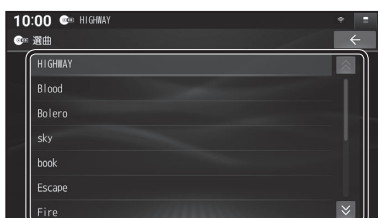
- 離すと、通常の再生に戻ります。

リストから選曲する

1 **[]** を選ぶ

- 曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

[] を選ぶ

- []** を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する (リピート)

[] を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

順不同に再生する (ランダム)

[] を選ぶ

- 全曲を順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 録音中は、リストからの選曲、再生モード切替、早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。

CDを再生する

タイトル表示について

本機にはGracenote 音楽認識サービスのタイトル情報(アルバム名・アーティスト名・曲名)が収録されており、楽曲データと情報が一致した場合に付与されます。

- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- 本機のGracenote データベースに一致する情報がないときは、タイトル情報は表示されません。

異なるタイトル情報を表示する場合もあります。

- CD-TEXT 情報がある場合は、CD-TEXT 情報が優先的に表示されます。
- Gracenote データベースは更新できます。→P.111

スマートフォンでタイトルを検索する(オンライン検索)

タイトル情報が表示されなかったり、誤ったタイトルが表示される場合は、オンラインでタイトルを検索して取得できます。

準備

- タイトルを検索したいCDを本機に挿入してください。(P.93)
- スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。(P.135)

1 を選ぶ

2 はいを選ぶ

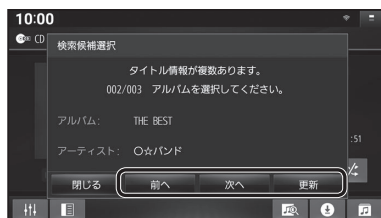
- タイトル情報の検索を開始します。
- 該当するタイトル情報が検索できた場合、アルバム情報が更新されます。

検索結果が複数ある場合は

タイトル候補選択画面が表示されます。

前へ 次へでタイトルを選び、
更新を選ぶ

- 選んだ内容で、タイトル情報が更新されます。
- 候補に該当するタイトル情報が無い場合は、**閉じる**を選ぶと、更新せずにタイトル検索を終了します。

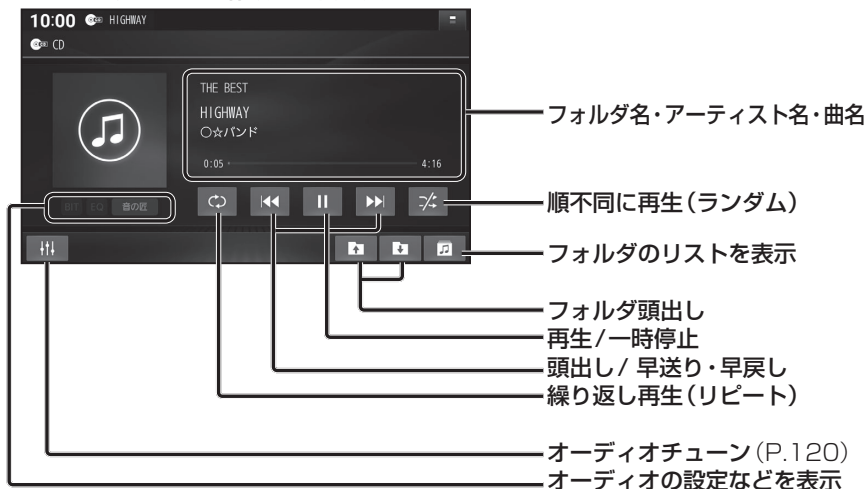


お知らせ

- Gracenote 音楽認識サービスによって提供されたデータについては、内容を100 %保証するものではありません。

MP3/WMA を再生する

タイトル表示・データ作成時の留意点について→P.212



曲を頭出しする

⏮ ⏭ を選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

フォルダを頭出しする

📁 ⏮ を選ぶ

- 選んだフォルダの1曲目から頭出し再生を開始します。

リストから選曲する

1 📁 を選ぶ

- フォルダのリストが表示されます。

2 リストからフォルダ▶曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

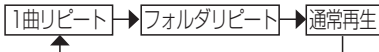
⏸ を選ぶ

- **▶** を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する (リピート)

🔄 を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。



順不同に再生する (ランダム)

🎲 を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
フォルダランダム ↔ 通常再生

BLUETOOTH® Audioを再生する

トップメニュー (P.24)、オーディオソース一覧 (P.82) または全機能一覧 (P.26) から **BLUETOOTH Audio** を選ぶと、BLUETOOTH Audio に切り換わります。

準備

- BLUETOOTH Audio 機器 (スマートフォン) を本機に登録・接続してください。(P.132)



曲を頭出しする

⏮ ⏭ を選ぶ

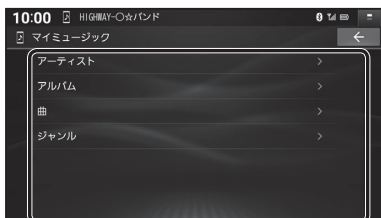
早送り・早戻しする

⏮ ⏭ をタッチし続ける
● 離すと、通常の再生に戻ります。

リストから選曲する

- 1 を選ぶ
● グループのリストが表示されます。

2 リストからグループ▶曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

⏸ を選ぶ
● を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する (リピート)

を選ぶ
● 再生中の曲を繰り返し再生します。
● 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
1曲リピート → グループリピート → 全曲リピート
↑ 通常再生 ↓

順不同に再生する (ランダム)

を選ぶ
● すべてのフォルダの全曲を対象に、順不同に再生します。
● 選ぶごとに、下記のように切り換わります。
全曲ランダム → グループランダム → 通常再生
↑

お知らせ

- 接続機器や音楽再生アプリの説明などをご覧ください。
- 接続機器や音楽再生アプリによっては、接続できなかったり、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります（下記は主な例です）。また、音質が低下することがあります。
 - 音声出力や画面表示に時間がかかる
 - 本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない
 - 曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない
 - 画面表示が更新されない
 - 画面表示や操作スイッチの一部が表示されない
 - 機能の一部が動作しない
 - ナビゲーションから操作できない。（その場合は、接続機器で操作してください。）
- スマートフォンを接続し、複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。
- BLUETOOTH Audio 再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態（接続や音声など）が不安定になることがあります。
- アルバムアートの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。
- 接続機器にイコライザー機能がある場合には、イコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。

レコーダーの映像を見る

スマートフォンアプリと連携して、自宅のレコーダーなどの映像を、本機で視聴できます。

- BLUETOOTH接続とWi-Fiテザリング接続に対応したスマートフォンをご用意ください。
※ご利用時には通信料金ががかかります。
- レコーダーがインターネットに接続されている必要があります。
- レコーダーによっては、レコーダーのメニューでスマートフォンをペアリングする操作が必要です。
- 必要に応じてレコーダーの取扱説明書を参照してください。
- 対応レコーダーについてや、スマートフォンアプリの入手方法などアプリに関する詳細、レコーダーの登録、本機との接続の詳細については、下記のWebサイトをご覧ください。
<https://www.digion.com/sites/recorder-link/>
- iPodまたはiPhoneをP.117の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneを使ってレコーダーリンクを利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

準備する

レコーダーを登録する(自宅)

- 1 スマートフォンに、アプリ「DiXiM Play for レコーダーリンク」をインストールする
- 2 スマートフォンとレコーダーを、自宅のWi-Fiに接続する
- 3 スマートフォンアプリを操作して、アプリにレコーダーを登録する

ナビゲーションと接続する(車内)

自宅でのレコーダー登録を終えてから、本操作を行ってください。

- 1 スマートフォンを本機とBLUETOOTH接続する
 - スマートフォンを本機に登録する→P.132
 - 使用する機能として「電話」を選択してください。
- 2 スマートフォンを本機とWi-Fi接続する
 - スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する→P.135
- 3 トップメニュー(P.24)、オーディオソース一覧(P.82)または全機能一覧(P.26)から**レコーダーリンク**を選ぶ
- 4 スマートフォンアプリを操作して、本機をアプリに登録する
 - スマートフォンアプリに表示されたリストから本機のデバイス名(CAR MULTIMEDIA)を選択してください。
- 5 スマートフォンアプリを操作して、本機をアプリに接続する
 - レコーダーとの接続中であることを知らせるメッセージが表示されます。しばらくお待ちください。接続が完了すると、コンテンツリストが表示されます。(再生する→P.103)

お知らせ

- スマートフォンアプリにレコーダーを登録するとき、複数のレコーダーを登録できます。レコーダーが複数登録されている場合は、アプリと本機の接続完了時、本機にレコーダー選択画面が表示されます。使用するレコーダーを選択してください。レコーダーを選択するとコンテンツリストが表示されます。
- スマートフォンアプリのレコーダー登録には3か月の登録期限があります。登録期限が過ぎるとアプリと本機の接続ができなくなります。登録期限はアプリで確認できます。期限が近付くと登録期限をお知らせするメッセージが、本機に表示されます。自宅（スマートフォンがレコーダーと同じネットワークに接続された状態）でアプリを起動すると、自動で登録の更新処理が行われます。手動操作での更新もできます。
- スマートフォンアプリにレコーダーと本機を登録したあと、以下を行うとレコーダーと本機の登録情報が消去される場合があります。その場合、再度レコーダーと本機の登録を行ってください。
 - ・出荷状態に戻すを選んで本機を初期化した。(P.187)
 - ・本機を交換、あるいは別のナビゲーションに入れ替えた。
 - ・本機以外のナビゲーションを登録した。

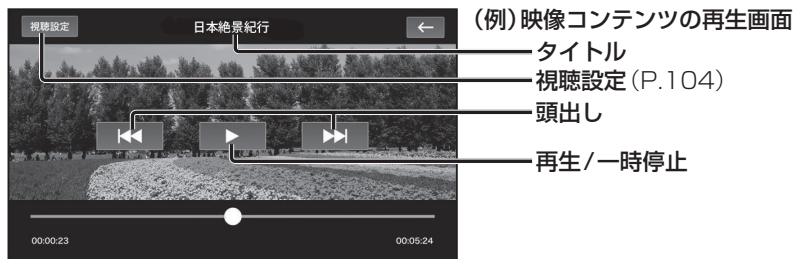
再生する

あらかじめスマートフォンアプリのインストール、スマートフォンアプリへのレコーダーの登録、スマートフォンと本機のBLUETOOTH接続およびWi-Fi接続、スマートフォンアプリと本機の接続が必要です。(P.102)

1 トップメニュー (P.24)、オーディオソース一覧 (P.82) または 全機能一覧 (P.26) から **レコーダーリンク** を選ぶ

2 コンテンツリストで再生したいコンテンツを選ぶ


- レコーダー選択画面が表示された場合は、使用するレコーダーを選択してください。レコーダーを選択するとコンテンツリストが表示されます。



お知らせ

- 再生するコンテンツの種類によって再生画面は異なります。
- レコーダーによっては一部の操作ができない場合や、表示が異なる場合があります。
- レコーダーの選択画面はスマートフォンアプリと本機を初めて接続した場合など、レコーダーが選択されていない場合に表示されます。レコーダーが選択されている場合は、前回再生していたコンテンツまたはコンテンツリストが表示されます。
- コンテンツリストが表示されるまで、時間がかかる場合があります。

レコーダーの映像を見る

- レコーダーまたは本機が接続しているインターネットの回線速度が十分でない場合、コンテンツを再生できないことがあります。推奨速度は次のとおりです。
ご自宅： 上り 6 Mbps 以上
スマートフォン： 上り 1 Mbps 以上 / 下り 3 Mbps 以上
- レコーダーとの接続が切断された場合は、再接続するか、接続設定画面からレコーダーを再度選択してください。
- コンテンツリスト右上に、使用したモバイルデータの通信量の目安が表示されます。タッチすると詳細を確認できます。
- 手順2で **並べ替え** を選ぶとコンテンツの並び順を変更できます。また、 を選ぶと、コンテンツの詳細情報を確認できます。
※コンテンツリストをタイトル順に並べ替えた場合は、UTF-8の文字コード順となります。
- レコーダーを変更したい場合は、コンテンツリストで **接続設定** を選んで接続設定画面を表示します。接続設定画面で **レコーダーを変更** を選んで表示されるレコーダー選択画面で、レコーダーを変更できます。
- コンテンツの構成はレコーダーによって異なります。
- 本機で対応していないコンテンツは選択できません。

視聴設定を変更する

1 レコーダーリンクの再生画面から **視聴設定** を押す

2 設定したい項目を選ぶ

項 目	設定内容
映像再生画質* 1	映像コンテンツの画質を設定します。
映像再生バッファサイズ* 1	サイズを大きくすると映像が途切れにくくなりますが、再生開始までの時間が長くなります。
字幕* 1 * 2	映像コンテンツの字幕を切り替えます。
音声* 1 * 2	映像コンテンツの音声を切り替えます。

* 1 映像コンテンツによっては設定しても無効となります。

* 2 登録しているレコーダーによっては設定しても無効となります。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

- お客様が録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音に関する設定をする

1 音楽CD画面 (P.97) で  を選ぶ

2 各項目を設定する (下記)

[太字:お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容 / 操作	
録音のしかたを設定する	録音モード を選ぶ	●「自動録音」: CDを挿入すると、自動的に録音を開始する ●「手動録音」: 手動で曲を選んで録音する
録音時の音質を選ぶ ●数値が大きいほど音質が高くなります が、録音できる時間は短くなります。	録音音質 を選ぶ	●音質(ビットレート)を選ぶ 「96 kbps」/「128 kbps」/「192 kbps」/ 「256 kbps」/「320 kbps」

録音する

録音設定が「自動録音」に設定されている場合、音楽CDを挿入すると、自動で録音を開始します。手動で録音する場合は、下記の手順で行ってください。

1 音楽CD画面 (P.97) で  を選ぶ

- 音楽CD録音画面が表示されます。

2 録音方法を選ぶ

- 全曲録音**: 全曲を録音します。
- 選択曲録音**: 選んだ曲のみ録音します。
- 選択曲録音を選んだ場合、リストから録音する曲を選んでください。

3 録音開始を選ぶ

- 録音を開始します。
- 表示された録音可能時間は目安です。

音楽CD録音画面



録音を停止するには

CD録音中に、音楽CD画面で  を選ぶ

- 録音を停止します。

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDの録音について

本機の故障、誤動作または不具合による録音データの破損や消失、SDカードの破損については補償できません。

- 本機で再生できる市販の音楽CDのみ、録音できます。(MP3/WMA ファイルのあるCDは録音できません)
- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音(P.105)を行ってください。
- 録音中にCD以外のオーディオやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、**本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。(4倍速～8倍速)**
- CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- 音楽CDの状態(記録面の傷、汚れなど)や記録内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

お願い

- 録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 録音中に車のエンジンスイッチ(電源ポジション)を切り換えたり、本機に振動や衝撃を与えたりすると、録音データやSDカードが破損する原因となります。
- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
- 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。^{*1}
 - ・頭出し
 - ・再生モード切替(リピート/ランダム)
 - ・早送り/早戻し
 - ・タイトル情報オンライン検索
 - ・録音設定
 - ・リスト表示
- 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

*1 録音終了時点で再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム)の切替などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

トップメニュー(P.24)、オーディオソース一覧(P.82)または全機能一覧(P.26)から**MEMORY MUSIC**を選ぶと、MEMORY MUSICに切り換わります。

準備 ●本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.105)



曲を頭出しする

⏮ ⏭を選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

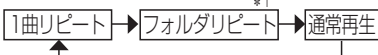
⏸を選ぶ

- ▶**を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔄を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。



順不同に再生する(ランダム)

🎲を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。



*1 フォルダの内容は、選曲モードによって異なります。(P.108)

お願い

- MEMORY MUSIC再生中にSDカードを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

お知らせ

- 本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報がアルバムや曲に付与され、表示されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースにない)場合は、スマートフォンとWi-Fi接続して、オンラインで取得できます。(P.98)
- ステアリングスイッチの**[TRACK UP]/[TRACK DOWN]**を長押しすると、再生するアルバムを切り換えることができます。アルバムを切り換えた場合、リピート再生・ランダム再生は解除されます。ステアリングスイッチの設定(P.12)

本機で録音した音楽データを再生する

いろいろな方法で選曲する

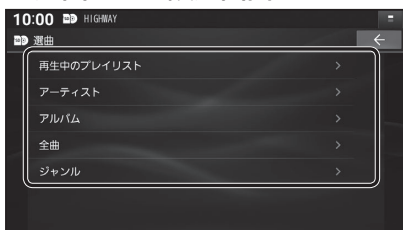
リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別、ジャンル別など)

1 を選ぶ

2 選曲するリストを選ぶ

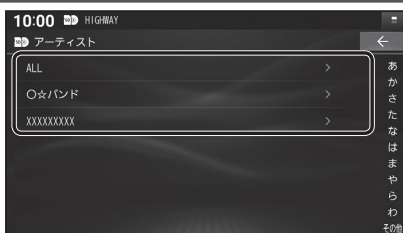
- **再生中のプレイリスト**: 再生中のリストを表示
- **アーティスト**: アーティストのリストを表示
- **アルバム**: アルバムのリストを表示
- **全曲**: 全曲を50音順に並べ替えて表示(リストを絞らない)
- **ジャンル**: ジャンルのリストを表示

■ 選曲モード設定画面



3 項目を選んでリストを絞る

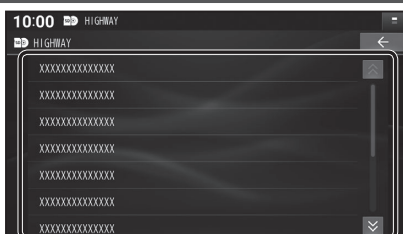
- **ALL**: 全曲を50音順に並べ替えて表示*1 (リストを絞らない)
- * 1 手順2で **アルバム** を選んだ場合は、アルバムごとに、アルバムに収録された曲順で表示されます。



- 例: アーティスト

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



お知らせ

- 録音した音楽CDによっては、画面右端の50音で選ぶと意図したとおりに絞れない場合があります。

本機で録音した音楽データを管理する (MEMORY MUSIC)

曲管理画面の基本操作

本機で録音した音楽データ (アルバム・曲) のタイトルの更新や、データの消去などができます。

1 を選ぶ

2 曲管理 ▶ はい を選ぶ

- アルバムのリストが表示されます。

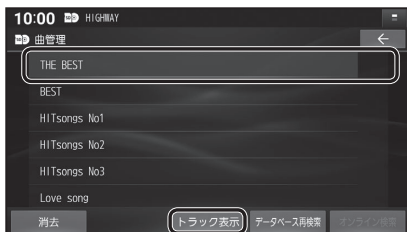
設定メニュー



3 リストからアルバムを選ぶ

- 選択したアルバムの、オンライン検索、データベース再検索、削除ができます。

曲管理画面 (アルバム)



4 トラック表示 を選ぶ

- 選択したアルバムの曲のリストが表示されます。

5 リストから曲を選ぶ

- 選択した曲の、オンライン検索、データベース再検索、消去ができます。

曲管理画面 (曲)



- オンライン検索 (スマートフォンでタイトルを更新する P.110)
- データベース再検索 (更新したGracenote データベースをタイトルに反映させる P.111)
- アルバム・曲の消去 (P.110)

本機で録音した音楽データを管理する (MEMORY MUSIC)

音楽データを消去する

アルバム/ 曲を選んで消去する

1 曲管理画面 (P.109) から消去したいアルバムまたは曲を選び、**消去**を選ぶ

2 **はい**を選ぶ

- アルバム・曲が消去されます。

音楽データをすべて消去する

1 設定メニュー (P.109) から **録音データ初期化**を選ぶ

2 **はい** ▶ **はい** ▶ **はい**を選ぶ

- すべての音楽データが消去されます。(初期化)

お願い

- 音楽データの消去中・初期化中にオーディオを切り換える、車のエンジンを切る、他の操作などしないでください。故障の原因となります。

SD カードの情報を見る

設定メニュー (P.109) から

SDカード情報 を選ぶ

- SDカードの空き容量・録音可能時間が表示されます。
- 録音可能時間は、表示された録音音質で録音した場合の時間です。
- 表示された録音可能時間は目安です。



スマートフォンでタイトルを更新する (オンライン検索)

タイトル情報が表示されなかったり、誤ったタイトルが表示される場合は、オンラインで検索して取得できます。

準備

- スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。(P.135)

1 曲管理画面 (P.109) から検索したいアルバムまたは曲を選び、**オンライン検索**を選ぶ

2 **はい**を選ぶ

- タイトル情報の検索を開始します。
- 該当するタイトル情報が検索できた場合、タイトルが更新されます。
- 検索結果が複数ある場合は、候補から選択してください。(P.111)

更新したGracenote データベースをタイトルに反映させる (データベース再検索)

本機のGracenote データベースを更新して、タイトルを更新することができます。

1 Web サイトから更新データ(zipファイル)をダウンロードする

※データのダウンロードや保存のしかたはWeb サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/toyota.html>

2 ダウンロードしたデータを解凍し、SDカードに保存する

3 更新データを保存したSDカードを本機に挿入する(P.112)

4 システム情報・設定メニュー(P.25) から、Gracenoteデータベース更新を選ぶ

5 はいを選ぶ

- Gracenote データベースが更新されます。
- 更新中は、本機を操作できません。

6 曲管理画面(P.109) から更新を反映させたいアルバムまたは曲を選び、 データベース再検索を選ぶ

- タイトルのデータが更新されます。
- 内容に変更が無い場合は、更新しても変化はありません。
- 更新すると、タイトルが表示されなくなる場合があります。そのときは、オンライン検索(上記)で再度検索して更新してください。
- 検索結果が複数ある場合は、候補から選択してください。(下記)

お願い

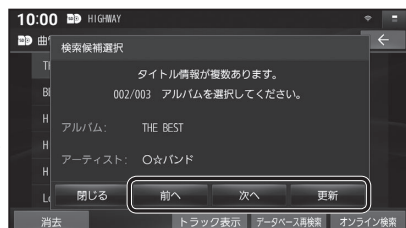
- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。
必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。

検索結果が複数ある場合は

タイトル候補選択画面が表示されます。

前へ 次へでタイトルを選び、 更新を選ぶ

- 選んだ内容で、タイトル情報が更新されます。
- 候補に該当するタイトル情報が無い場合は、閉じるを選ぶと、更新せずにタイトル検索を終了します。



お知らせ

- Gracenote 音楽認識サービスによって提供されたデータについては、内容を100 % 保証するものではありません。
- アルバムや曲のタイトル情報は、手動で入力・編集できません。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

- 本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、パソコンなどで保存した音楽、動画の再生ができます。(音楽データ・動画データの規格について→P.212～216)
- 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データを再生するときは、P.107をご覧ください。
- データ作成時の留意点については、P.212～216をご覧ください。

SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 を押す

2 OPEN/EJECT画面 (P.93) から

OPENを選ぶ

- ディスプレイが開きます。

3 SDメモリーカードを 奥までまっすぐに挿入する

- カチッと音がするまで差し込みます。
- 自動的にディスプレイが閉まります。
- ディスプレイが閉まらない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。

ラベル面
を上
に
角がカットされた側
を右に




SDメモリーカードを取り出す

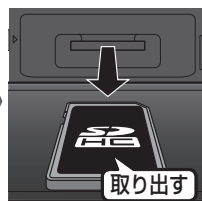
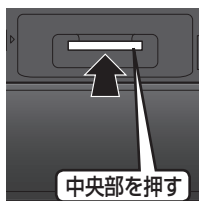
1 OPEN/EJECT画面 (P.93) から

OPENを選ぶ

- ディスプレイが開きます。

2 SDメモリーカードを取り出す

- を押して、ディスプレイを閉じてください。

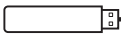


お願い

- 再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを本機と接続する

市販 USBメモリー



別売

HDMI&USBアダプター
(販売店装着オプション) *1*2

USBポート

*1 車両により形状が異なる場合があります。

*2 別売品のお買い求めについては、販売店へお問い合わせください。

お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターの向きに注意して確実に差し込んでください。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再接続してください。

お知らせ

- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーやケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV)を再生する

トップメニュー(P.24)、オーディオソース一覧(P.82)または全機能一覧(P.26)から

SDを選ぶとSDに、**USB**を選ぶとUSBに切り換わります。

準備

- 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.112、113)
- 再生モード切換画面から「音楽」を選び、音楽再生モードに切り換えてください。(P.116)



曲を頭出しする

⏮ ⏭を選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸を選ぶ

- ▶**を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

🔄を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。



順不同に再生する(ランダム)

🎲を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。



*1 フォルダの内容は、選曲方法によって異なります。(P.116)

お願い

- SD/USB再生中にSDカード/USBメモリーを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

お知らせ

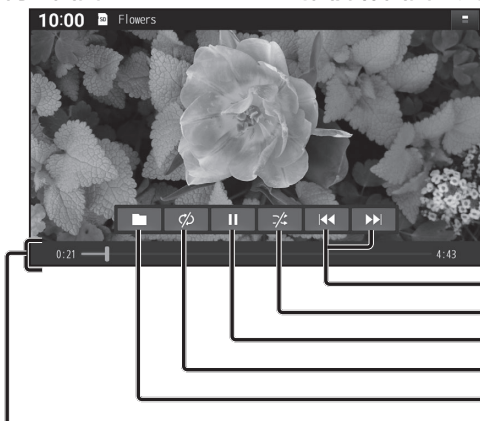
- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。
- ステアリングスイッチの[TRACK UP]/[TRACK DOWN]を長押しすると、再生するアルバムを切り換えることができます。アルバムを切り換えた場合、リピート再生・ランダム再生は解除されます。ステアリングスイッチの設定 (P.12)

動画(MP4/AVI/MKV/ASF/WMV)を再生する

トップメニュー (P.24)、オーディオソース一覧 (P.82) または全機能一覧 (P.26) から **SD** を選ぶとSDに、**USB** を選ぶとUSBに切り換わります。

準備

- 動画が保存されたSDカード/USBメモリーを本機に挿入/接続してください。(P.112、113)
 - 再生モード切換画面から「動画」を選び、動画再生モードに切り換えてください。(P.116)
- 再生画面にタッチすると、動画操作画面が表示されます。



- 頭出し / 早送り・早戻し
- 順不同に再生 (ランダム)
- 再生 / 一時停止
- 繰り返し再生 (リピート)
- 再生モード切換画面を表示 (P.116)
- 経過時間・再生総時間・タイムバー

動画を頭出しする

◀▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する (リピート)

🔄 を選ぶ

- 再生中の動画を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。



順不同に再生する (ランダム)

🎲 を選ぶ

- リスト内の全動画を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。



お願い

- SD/USB再生中にSDカード/USBメモリーを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

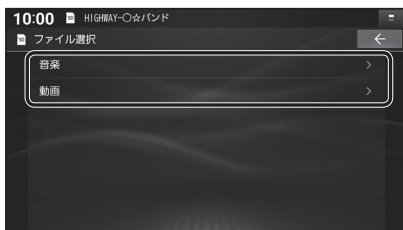
再生するファイルを選ぶ

音楽再生の場合、リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別など)

1 再生するファイルを選ぶ

2 ファイルの種類を選ぶ

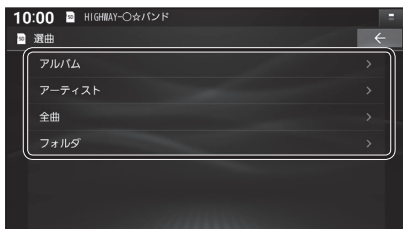
- **音 楽** : 音楽再生
 - ・手順3へ
- **動 画** : 動画再生
 - ・続けて再生したいフォルダ・ファイルを選ぶ



いろいろな方法で選曲する (音楽再生の場合のみ)

3 選曲するリストを選ぶ

- **アルバム** : アルバムのリストを表示
- **アーティスト** : アーティストのリストを表示
- **全 曲** : 全曲を表示 (リストを絞らない)
- **フォルダ** : フォルダのリストを表示



4 項目を選んでリストを絞る

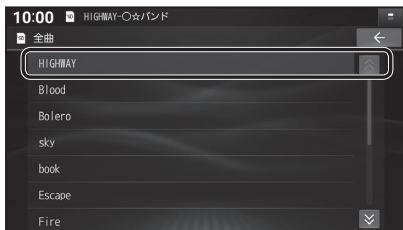
- **ALL** : 選んだリストの全曲を表示 (リストを絞らない)



- 例 : アーティスト

5 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



お知らせ

- 曲数が多い場合は、選曲できるようになるまで時間がかかることがあります。

iPodを再生する

本機で接続確認済みのiPod（2023年6月現在）

iPhone 14 Pro Max, iPhone 14 Pro, iPhone 14 Plus, iPhone 14,
iPhone 13 Pro Max, iPhone 13 Pro, iPhone 13, iPhone 13 mini,
iPhone 12 Pro Max, iPhone 12 Pro, iPhone 12, iPhone 12 mini,
iPhone SE 第3世代, iPhone SE 第2世代, iPhone 11 Pro Max,
iPhone 11 Pro, iPhone 11, iPod touch 第7世代

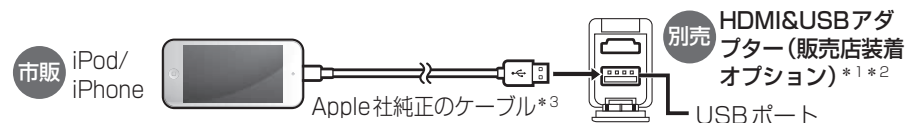
※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

お願い

- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- iPodのコネクターが、濡れたり、破損したり、汚れている場合は故障の原因となるため接続しないでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる（音飛びする）原因となります。
- iPodの説明書もよくお読みください。

準備

- iPodを本機に接続してください。



※ 1 車両により形状が異なる場合があります。

※ 2 別売品のお買い求めについては、販売店へお問い合わせください。

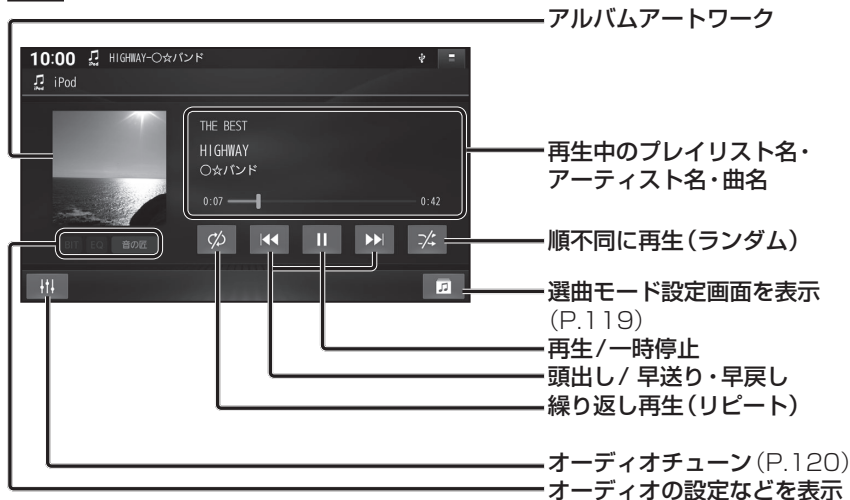
※ 3 iPodの接続には、Apple社純正のLightning-USBケーブル(USB接続ケーブルに接続できる形状の接続口のもの)をお使いください。純正品以外を使用すると、正しく動作しない場合があります。

お知らせ

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneを下図のとおりに接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「NaviCon®」「CarAV remote S」「レコーダーリンク」を利用することはできません。
- iPod本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。
- iPodビデオ再生には対応していません。

iPodを再生する

トップメニュー (P.24)、オーディオソース一覧 (P.82) または全機能一覧 (P.26) から **iPod** を選ぶと iPod に切り換わります。



曲を頭出しする

⏮ ⏭ を選ぶ

早送り・早戻しする

⏮ ⏭ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

⏸ を選ぶ

- **▶** を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する (リピート)

🔄 を選ぶ

- 選ぶごとに、下記のように切り換わります。



- * 1 リピートのしかたは、選曲方法によって異なります。(P.119)

順不同に再生する (ランダム)

🎲 を選ぶ

- リスト内*2の全曲を順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

- * 2 リストの内容は、選曲方法によって異なります。(P.119)

お知らせ

- アルバムアートワークの画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

選曲方法を選ぶ(選曲モード)

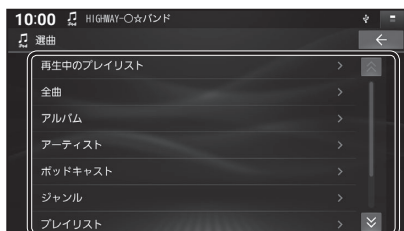
全曲から選曲方法を選んで再生できます。(アルバム別、アーティスト別、ジャンル別など)

1 を選ぶ

2 選曲方法を選ぶ

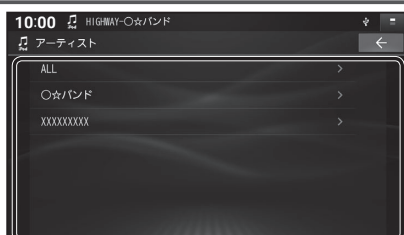
- 再生中のプレイリスト:
再生中のプレイリストから選曲
- 全 曲: 全アルバム全曲から選曲
- アルバム: アルバム別で選曲
- アーティスト: アーティスト別で選曲
- ポッドキャスト: ポッドキャストから選曲
- ジャンル: ジャンル別で選曲
- プレイリスト: プレイリストから選曲
- 作 曲 者: 作曲者別で選曲
- オーディオブック:
オーディオブックから選曲

■ 選曲モード設定画面



3 項目を選んでリストを絞る

- ALL: 選んだ選曲方法から全曲を表示



- 例: アーティスト

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



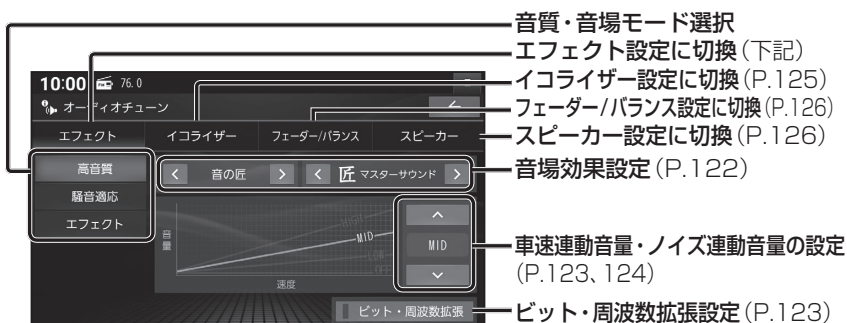
音質・音場を調整する(オーディオチューン)

オーディオチューンの基本操作

1 オーディオ情報・設定メニュー(P.25)から**オーディオチューン**を選ぶ

- FM/AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD(音楽)、USB(音楽)、iPodからを選んで、オーディオチューン画面を表示します。

2 オーディオチューン画面(エフェクト設定)



設定画面を切り換える

オーディオチューン画面で

エフェクト・**イコライザー**・**フェーダー/バランス**・**スピーカー**から設定画面を選ぶ

- エフェクト**: 音質・音場効果に関する各種設定
- イコライザー**: 13バンドのイコライザーによる音質設定
- フェーダー/バランス**: 前後左右のスピーカーの出力バランスの設定
- スピーカー**: 出力レベル・ディレイの設定

音質・音場モードを選ぶ

エフェクト設定画面から**高音質** / **騒音適応** / **エフェクト**を選ぶ

●高音質モード

高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。ハイレゾ音源のFLAC、WAVの音楽データは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。
(ビット・周波数拡張→P.123)

●騒音適応モード

車内でのオーディオの聴きやすさを重視したモードです。FLAC、WAVの高音質の音源なども、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

●エフェクトモード

様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

お知らせ

- エフェクト設定の内容は、音質・音場モードごと(個別)に記憶されます。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しめます。

●「匠 マスターサウンド」[お買い上げ時の設定]

レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。(2 wayスピーカー向き)

●「極 サラウンド」

音場制御とサラウンドチューニングを施すことで、臨場感あふれる音楽を楽しめるモード

(フルレンジスピーカー向き)

●「和 会話重視」

人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 取付設定(P.16)で設定された車種に応じてチューニングされ、音の匠のサラウンド表示に車種名が入ります。

1 エフェクト設定画面(P.120)から

◀ ▶で「音の匠」を選ぶ

- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。

・高音質モードの場合

音の匠 ↔ OFF

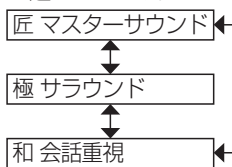
・騒音適応モード/エフェクトモードの場合

音の匠 ↔ DSP ↔ OFF



2 ◀ ▶でサラウンドを選ぶ

- 選ぶごとに、サラウンド効果が切り換わります。



お知らせ

- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

音場「DSP」を設定する

疑似再現したい音場を設定できます。

準備

- 騒音適応モードまたはエフェクトモードに設定してください。(P.120)
高音質モードでは設定できません。

1 エフェクト設定画面 (P.120) から

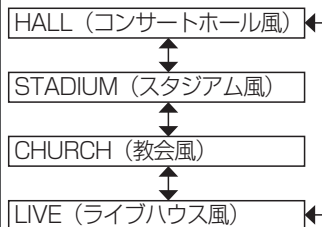
◀ ▶で「DSP」を選ぶ

- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。



2 ◀ ▶で音場を選ぶ

- 選ぶごとに音場効果が切り換わります。



お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

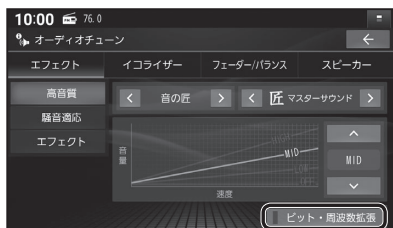
より自然な音で聞く(ビット・周波数拡張)

音源を補完して、より自然な音で再生します。

準備

- 高音質モードに設定してください。(P.120)
騒音適応モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

エフェクト設定画面(P.120)
から **ビット・周波数拡張** を選ぶ



- 選ぶごとにON/OFFが切り換わります。

お知らせ

- 音源によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果(音の変化)を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

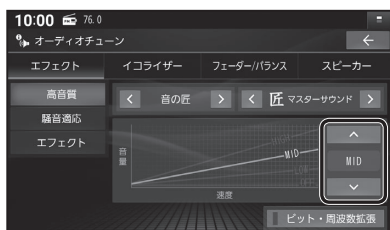
車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

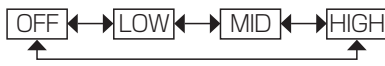
準備

- 高音質モードまたはエフェクトモードに設定してください。(P.120)
騒音適応モードでは設定できません。

エフェクト設定画面(P.120)から
V **^** で車速連動音量の補正量を選ぶ



- 選ぶごとに補正量が切り換わります。



音質・音場を調整する(オーディオチューン)

ノイズ連動音量を補正する

車内の走行騒音に連動してオーディオの音量や音質を自動的に補正します。

準備

- 騒音適応モードに設定してください。
(P.120)
高音質モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

エフェクト設定画面(P.120)から

▼▲でノイズ連動音量の補正量を選ぶ



- 選ぶごとに補正量が切り換わります。



お知らせ

- 走行状態によっては、効果が大きくなる場合があります。
- 効果を大きく感じる場合は、より小さい補正量を選択してください。

イコライザー設定の基本操作

オーディオチューン画面(P.120)から **イコライザー** を選ぶと、イコライザー設定画面が表示されます。

■ イコライザー設定画面



イコライザープリセット
設定内容を登録
お買い上げ時の設定に戻す
マニュアルイコライザー

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

イコライザープリセットを切り換える

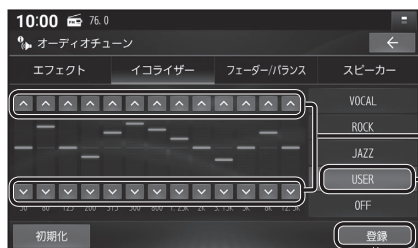
あらかじめ設定されている内容呼び出して、かんたんにイコライザーを調整できます。

イコライザー設定画面から呼び出したいイコライザープリセットを選ぶ

- **VOCAL**: 中音域から高音域にかけて強調した音質
- **ROCK**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- **JAZZ**: 中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- **USER**: お好みで調整した音質(下記)
- **OFF**: 土0のフラットな音質

イコライザーを詳細に設定する

イコライザーを、お好みの数値に設定することができます。



1 イコライザー設定画面から **USER** を選ぶ

- **VOCAL** **ROCK** **JAZZ** の設定も、手動で変更できます。

2 各周波数の値を **▼** **▲** で設定する

3 登録を選ぶ

- 設定内容が登録されます。

お買い上げ時の設定に戻すには
イコライザー設定画面から
初期化 ▶ **はい** を選ぶ

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

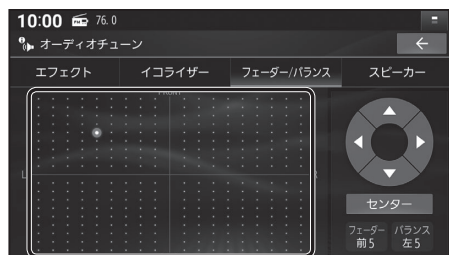
フェーダー/バランスの出力レベルを調整する

オーディオチューン画面(P.120)から**フェーダー/バランス**を選ぶと、フェーダー/バランス設定画面が表示されます。

フェーダー/ バランス設定画面から調整範囲を直接タッチして調整する

- ◀ ▶ ▲ ▼ で調整することもできます。
- **センター**：調整値が0(中央)に戻ります。

■ フェーダー/バランス設定画面



お知らせ

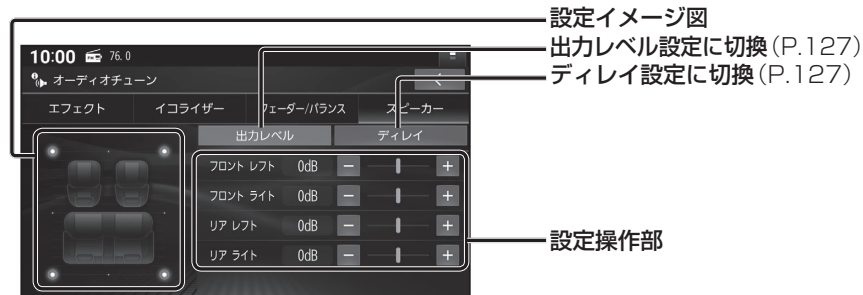
- AUDIO OFFの状態では設定できません。

スピーカー設定の基本操作

スピーカー設定は車両にあわせて調整されていますので、通常は設定する必要はありません。備え付けの専用スピーカーから別のスピーカーに変更する場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

オーディオチューン画面(P.120)から**スピーカー**を選ぶと、スピーカー設定画面が表示されます。

■ スピーカー設定画面

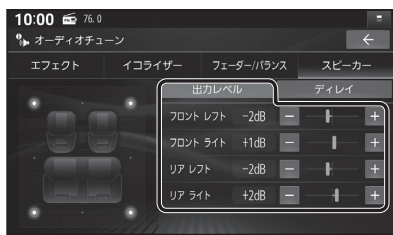


スピーカーの設定をする

スピーカー出力レベルの調整をする

- 1 オーディオをFMまたはAMに切り換える
- 2 放送局が無い周波数に合わせる
 - ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。

3 オーディオチューン画面から スピーカー ▶ 出力レベルを選ぶ



4 - +で各スピーカーの 出力レベルを調整する

- 調整範囲：-12 dB～+12 dB
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。
[お買い上げ時のスピーカーに合わせて設定済み]

お知らせ

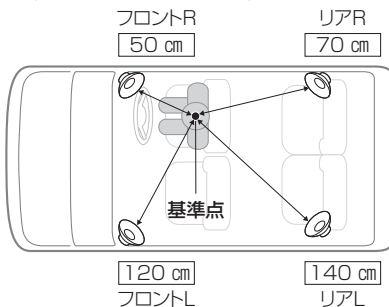
- AUDIO OFFの状態では設定できません。

[太字:お買い上げ時の設定]

スピーカーディレイを設定する

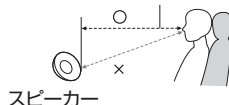
- 1 スピーカー設定画面(左記)から
ディレイを選ぶ
- 2 **- +**で各スピーカーの距離を調整する

- 調整範囲：0 cm～100 cm～500 cm
(2 cm刻み)
- 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。
(10 cmあたり約0.3 ms)



- 視聴位置を基準点としてください。
- 距離は、水平に計測してください。

この距離を測定する 基準点



お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

映像を調整する

画質/画面サイズを調整する

- 1 画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、**[]**を2秒以上押すまたは、システム情報・設定メニュー(P.25)から**画質調整**を選ぶ

●カメラ画質を調整の場合は、カメラの映像を表示させてください。

- 2 **[]**で、映像を調整する

- 調整範囲：1～31
- TV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、HDMI、レコーダーリンク、ドライブレコーダー、カメラ映像以外の画面では、色合い・色の濃さの調整ができません。
- 画面サイズはTV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、HDMIの画面のみで調整できます。

画面調整(画質調整)画面



項 目	設定内容	
明るさ	[-] : 暗くなる [+] : 明るくなる	●調整範囲(昼): 1～19～31 (夜): 1～7～31
コントラスト	[-] : 明暗の差 小 [+] : 明暗の差 大	●調整範囲: 1～16～31
色合い	[-] : 赤みが強くなる [+] : 緑みが強くなる	●調整範囲: 1～16～31
色の濃さ	[-] : 薄くなる [+] : 濃くなる	●調整範囲: 1～16～31
画面サイズ	アスペクト比を調整 ● ノーマル : [TV] [SD(動画)] [USB(動画)] [HDMI] 映像を4:3で表示*1 16:9の映像は横方向に圧縮されます。 ● フル : [TV] [SD(動画)] [USB(動画)] [HDMI] [お買い上げ時の設定] 映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示 ● ワイド : [TV] [SD(動画)] [USB(動画)] [HDMI] 映像を16:9で表示*1 4:3の映像は横方向に引きのばして表示されます。 ● シネマ : [DVD] ノーマル表示を上下左右方向に引きのばして表示 映像は上下が切れて表示されます。 *1 映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示されます。 ※各オーディオの入力映像の縦横比によっては、アスペクト比の設定を変更しても映像サイズが変わらない場合があります。	

- 3 **OK**を選ぶ

お買い上げ時の設定に戻すには

画面調整(画質調整)画面から、**初期値**を選ぶ

現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、**TV** **DVD** **SD(動画)** **USB(動画)** **レコーダーリンク** **HDMI** の映像を表示できます。
(PinP表示)

PinP表示する/しないを設定する

ランチャー (P.40) から

右画面表示 ▶ **映像**を選ぶ

- PinP表示されます。

PinP表示を消去するには

ランチャー (P.40) から

右画面表示 ▶ **OFF**を選ぶ

- PinP表示が消去されます。

お知らせ

- 走行中および拡大図表示中は、PinP表示は消去されます。

PinP (ピクチャー イン ピクチャー) 表示

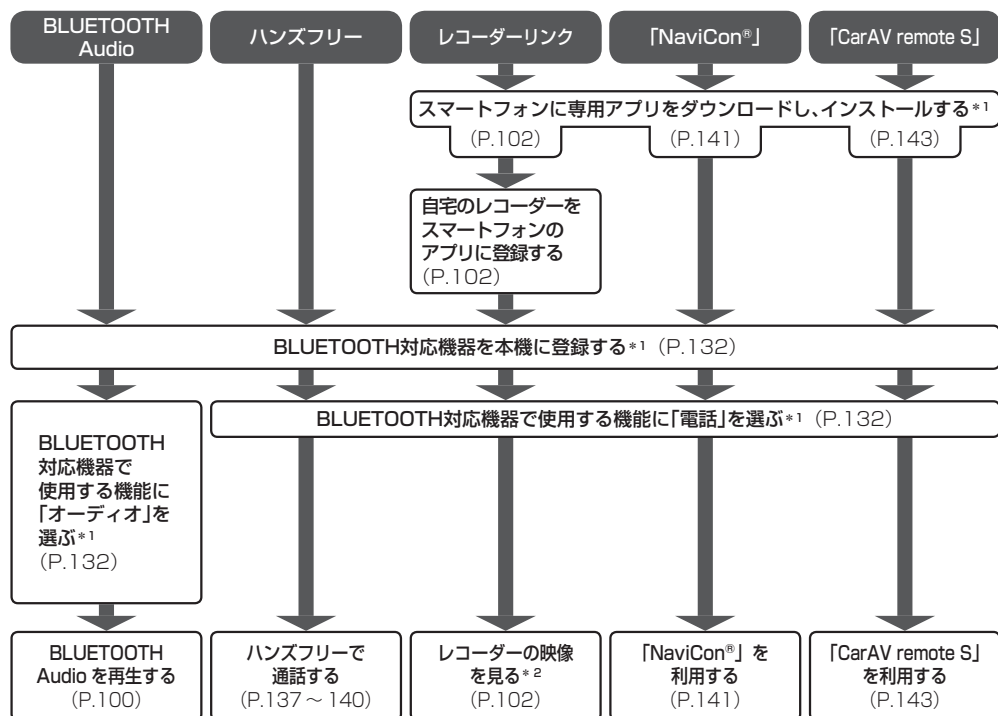


- オーディオの映像をタッチすると、全画面で表示されます。

オーディオ

映像を調整する／現在地画面にオーディオ映像を表示する

ご利用の流れ



- BLUETOOTH対応機器は5台まで登録可能です。
接続台数は、使用する機器に「電話」/「オーディオ」を選んだ1台ずつです。
- すでに最大数登録しているときは、不要な登録データを消去してください。(P.134)
- 適合機種については、Webサイト(<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/toyota.html>)をご覧ください。
- 操作方法は対応機器によって異なります。詳しくは、BLUETOOTH対応機器の説明書をご覧ください。

本機で利用できるプロファイルについて

サービス		プロファイル
ハンズフリー	ハンズフリー通話	Hands-Free Profile (HFP)
	電話帳転送	Phone Book Access Profile (PBAP)
BLUETOOTH Audio		Advanced Audio Distribution Profile(A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
スマートフォン連携	「NaviCon®」*3 / 「CarAV remote S」*3	Serial Port Profile (SPP)
レコーダーリンク		

*1 初回利用時のみ

*2 「レコーダーリンク」の利用にはWi-Fi接続も必要です。

*3 アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

BLUETOOTH®/Wi-Fi

登録・接続

スマートフォンを本機に登録する.....	132
スマートフォンを本機にBLUETOOTH 機器登録する (初回のみ)	132
BLUETOOTH 接続する機器で使用する機能を変更する	133
BLUETOOTH 機器登録を消去する	134
本機のBLUETOOTH 機能のON/OFFを切り換える.....	134
BLUETOOTH 機器の未接続案内を設定する	134
スマートフォンを本機と接続する.....	135
スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する	135
Wi-Fi接続する機器を変更する	136
Wi-Fiネットワーク登録を消去する	136
本機のWi-Fi 機能のON/OFFを切り換える	136

ハンズフリー

ハンズフリーで通話する	137
電話がかかってきたら	137
通話中の操作	138
電話をかける	139
ハンズフリー通話の設定をする	140
NaviCon®を利用する	141
「NaviCon®」とは	141
「NaviCon®」を利用する	141
スマートフォンをリモコンとして使う	143
CarAV remote Sとは	143
CarAV remote Sを利用する.....	143
音声認識で目的地を検索する	144
検索結果画面の操作のしかた	144
いろいろな音声認識 (例)	145
認識率を良くするために	145

スマートフォンを本機に登録する

スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録する (初回のみ)

スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録すると、下記の機能を利用できます。

※ 対応スマートフォンは、Web サイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/toyota.html>

- 動作確認の対象は、国内3キャリア (docomo, au, SoftBank) の製品です。一部、料金プランによってはスマートフォンの動作が変わるため対象外となる場合があります。

- すべての音楽再生アプリ、通話アプリでの動作を保証するものではありません。ハンズフリーは、通常の音声通話のみ動作を保証しております。

※ スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

- ハンズフリー通話→P.137

- BLUETOOTH Audio再生→P.100

- CarAV remote S→P.143

- レコーダーリンク*¹→P.102

- NaviCon[®]→P.141

* 1「レコーダーリンク」の利用にはWi-Fi接続も必要です。

お知らせ

- 一度接続すると、次回からは自動的に接続されます。登録した別の機器を接続したい場合は、「BLUETOOTH接続する機器で使用する機能を変更する」を行ってください。→P.133

1 スマートフォン接続設定メニュー (P.25) から、**BLUETOOTH設定**を選ぶ

- 本機の BLUETOOTH 機能が「OFF」になっている場合は、「ON」にしてください。(P.134)

2 機器登録を選ぶ

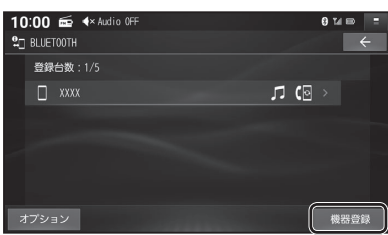
- 本機が BLUETOOTH 接続待機状態になります。

- すでに5台登録されているときは登録できません。

メッセージが表示された場合は、**はい**を選んで登録済みの機器を消去してください。

接続を終了する確認メッセージが表示された場合は、**はい**を選ぶと接続が解除されますので、手順3へ進んでください。

■ BLUETOOTH設定画面



3 スマートフォンを操作して 機器登録する

1 BLUETOOTHをONに設定 する

2 周辺の BLUETOOTH 機器を検 索する

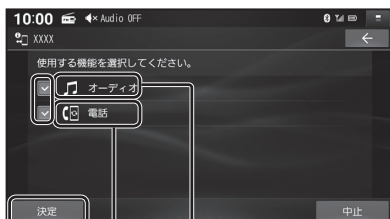
3 検索結果から本機のデバイス名 (CAR MULTIMEDIA) を選択 し、機器登録する

4 使用する機能を選び、**決定**を選ぶ

- スマートフォンがBLUETOOTH機器登録され、選んだ機能で本機と接続されます。

※ BLUETOOTH接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)

- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- ハンズフリー接続をした場合は、スマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送されます。
携帯電話データの自動同期→P.140



ハンズフリー接続
(ハンズフリー通話、NaviCon®、
CarAV remote S、レコーダーリンクを使用する)

BLUETOOTH Audio接続
(BLUETOOTH Audio再生
を使用する)

BLUETOOTH 接続する機器で 使用する機能を変更する

1 BLUETOOTH設定画面 (P.132) から、変更したい機器を選ぶ

2 使用する機能を選び、**決定**を選ぶ

- 設定した内容で本機とBLUETOOTH接続されます。

※接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)

- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- ハンズフリー接続する機器を変更した場合、前の機器の電話帳と発着信履歴は消去され、新しく接続したスマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送(上書き)されます。



ハンズフリー接続
(ハンズフリー通話、NaviCon®、
CarAV remote S、レコーダーリンクを使用する)

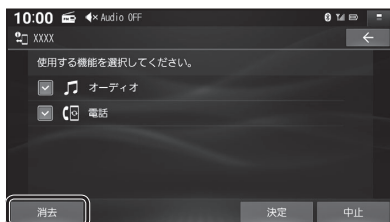
BLUETOOTH Audio接続
(BLUETOOTH Audio再生
を使用する)

BLUETOOTH 機器登録を消去する

1 BLUETOOTH設定画面 (P.132) から、消去したい機器を選ぶ

2 消去 ▶ はいを選ぶ

● 選んだ機器の登録が消去されます。



本機のBLUETOOTH 機能の ON/OFFを切り換える

1 BLUETOOTH設定画面 (P.132) から、**オプション**を選ぶ

2 BLUETOOTH **ON/OFF**を選ぶ

BLUETOOTH 機器の未接続案内を設定する

本機の起動時に、使用する機能 (P.133) で **電話** を選んだBLUETOOTH機器と自動接続できなかった場合にメッセージを表示させることができます。

1 BLUETOOTH設定画面 (P.132) から、**オプション**を選ぶ

2 携帯電話未接続案内 **ON**を選ぶ

お知らせ

● 本機に **電話** を選んだスマートフォンが登録されていない場合、携帯電話未接続案内の設定はできません。

スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録する

スマートフォンを本機とWi-Fiネットワーク登録すると、下記の機能を利用できます。

※テザリングのご利用には事前のお申し込みが必要となり、利用料金は有料の場合があります。(キャリアや契約状況によって異なります)

※スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

- 音声認識での目的地検索(行き先設定)→P.144
- レコーダーリンク*1→P.102
- タイトルの更新(音楽CD、MEMORY MUSIC)→P.98、110
- ソフトウェア・地図データの更新→P.160

*1「レコーダーリンク」の利用にはBLUETOOTH接続も必要です。

1 スマートフォンを操作して、Wi-Fiテザリング(APモード)の設定をする

1 Wi-Fiテザリング(APモード)をONにする

2 Wi-Fiテザリング設定から、ネットワーク名(SSID)とパスワードを確認する

2 スマートフォン接続設定メニュー(P.25)から、Wi-Fi設定を選ぶ

- 周辺のWi-Fi機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

3 リストから、接続する機器を選ぶ

- 手順1で確認したネットワーク名(SSID)を選択してください。

■Wi-Fi設定画面

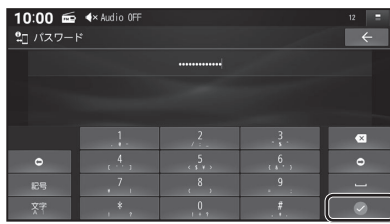


4 パスワードを選ぶ



5 パスワードを入力し、[OK]を選ぶ

- 手順1で確認したパスワードを入力してください。
- 文字入力のしかた→P.206



6 接続を選ぶ

- スマートフォンがWi-Fiネットワーク登録され、Wi-Fi接続されます。

※Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は消去されません。)

👁️: パスワードの文字を表示



お知らせ

- 使用するスマートフォンが対応しているセキュリティ方式によっては、本機とWi-Fi接続できない場合があります。本機が対応するセキュリティ方式については下記をご覧ください。Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について(P.221)

Wi-Fi接続する機器を変更する

Wi-Fi設定画面(P.135)から、 接続したい機器を選ぶ

- 選んだ機器が本機とWi-Fi接続されます。
- ※ Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続は解除されます。(登録は消去されません。)

Wi-Fiネットワーク登録を消去する

1 Wi-Fi設定画面(P.135)から、 オプションを選ぶ

2 登録ネットワーク一覧を選ぶ

- **新規ネットワーク登録**：
スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録できます。

■ Wi-Fiオプション画面



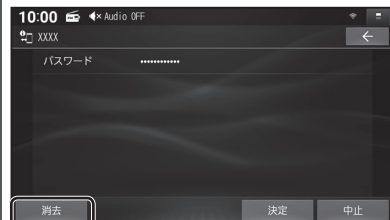
3 消去したい登録ネットワークを選ぶ

■ 登録ネットワーク一覧



4 消去を選ぶ

- 選んだ機器のWi-Fiネットワーク登録が消去されます。



本機のWi-Fi 機能のON/OFFを 切り換える

1 Wi-Fi設定画面(P.135)から、 モード変更を選ぶ

2 ネットワーク / OFFを選ぶ

- **ネットワーク**を選ぶと、Wi-Fi機能がONになります。
- **OFF**を選ぶとWi-Fi機能がOFFになり、接続が解除されます。

ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。

スマートフォンによっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

準備

- 別売のマイク（販売店装着オプション）が必要です。
- スマートフォンを本機に登録し、ハンズフリー接続してください。（P.133）

お知らせ

- スマートフォンを待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- スマートフォンによっては、本機とBLUETOOTH接続中に、スマートフォンを操作して電話をかけても（電話に出ても）ハンズフリー通話になる場合があります。
- BLUETOOTH Audio 再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態（接続や音声など）が不安定になることがあります。
- オーディオソース再生中に着信すると、再生が一時停止／一時消音します。通話が終わるとオーディオソースの再生を再開／消音を解除します。
- 割込通話や三者通話には対応していません。

■本機に登録された電話帳・発着信履歴について

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続すると、その時点の電話帳と発着信履歴の情報が、自動的に本機に転送されます。
- 手動で個別に選んで登録することはできません。
- 本機に登録した電話帳の内容（電話帳、氏名など）は、編集できません。電話帳の内容を変更するときは、スマートフォン側で編集してください。
- 電話帳は、2000件まで表示できます。また、電話番号は1件につき5つまで表示できます。
- 発着信履歴は、発信履歴・着信履歴・不在着信を合計100件表示できます。
- 本機と接続しているときに、スマートフォン側で電話帳の更新を行った場合は、本機側の電話帳には反映されません。一度接続が解除され、再度接続されたときに（本機の電源を切り、再度電源を入れたときなど）に反映されます。

電話がかかってきたら

自動的に着信画面に切り換わります。



電話に出る

電話に出る を選ぶ

- 通話を開始します。

電話に出ずに切る（着信拒否）

電話を切る を選ぶ

- 着信が切れます。

お知らせ

- スマートフォンの機種によっては、着信中に「電話を切る」を選んでも電話に出る場合があります。

ハンズフリーで通話する

通話中の操作



送話音を消音する

ミュートを選ぶ

- 再度選ぶと、解除されます。

通話をスマートフォンに切り換える

携帯電話切替を選ぶ

- ハンズフリー切替**を選ぶと、ハンズフリー通話に戻ります。

トーン信号(ビップポップ)を送る

1 キーボードを選ぶ

- 10キーのキーボードが表示されます。

2 数字を選び、トーン信号を送る

- プッシュホンサービスなどを利用できます。

電話を切る

電話を切るを選ぶ

- 通話を終了します。

ステアリングスイッチで操作するには

●電話に出るには

着信中に、ステアリングスイッチの
[HOOK]/[OFF HOOK]を押す。

●電話を切るには

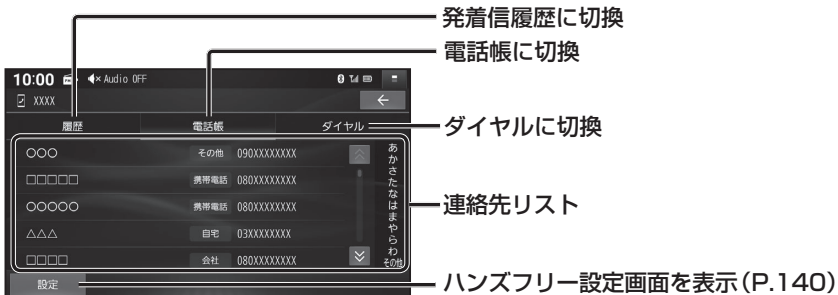
通話中に、ステアリングスイッチの
[HOOK]/[ON HOOK]を押す。

電話をかける

トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から **ハンズフリー** を選ぶ

- ハンズフリー画面が表示されます。

■ハンズフリー画面(電話帳)



電話帳から電話をかける

1 ハンズフリー画面から、**電話帳** を選ぶ

2 ハンズフリー画面(電話帳)の連絡先リストから、電話をかける相手を選ぶ

- 選んだ電話番号に電話をかけます。

電話番号を入力して電話をかける

1 ハンズフリー画面から、**ダイヤル** を選ぶ

2 ハンズフリー画面(ダイヤル)から電話番号を入力し、**発信** を選ぶ

- 選んだ電話番号に電話をかけます。
- ✕** : 1文字削除

■ハンズフリー画面(ダイヤル)



ハンズフリーで通話する

発着信履歴から電話をかける

■ ハンズフリー画面 (発着信履歴)



1 ハンズフリー画面 (P.139) から、**履歴**を選ぶ

2 発着信履歴リストから、電話をかける相手を選ぶ

- 選んだ相手に電話をかけます。

■ 表示する履歴を選ぶには

ハンズフリー画面 (発着信履歴) から **発信履歴** **不在着信** **着信履歴** を選ぶ

ハンズフリー通話の設定をする

1 ハンズフリー画面 (P.139) から、**設定**を選ぶ

2 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	内容
機器選択	ハンズフリー接続・BLUETOOTH Audio 接続する機器を選択する (P.133)
携帯電話データの自動同期	「ON」: スマートフォンがハンズフリー接続されたとき、その時点の電話帳と発着信履歴の情報を自動的に本機に転送する 「OFF」: スマートフォンがハンズフリー接続されても、電話帳と発着信履歴の情報を本機に転送しない ※本設定を「ON」から「OFF」にすると、本機に転送された電話帳と発着信履歴の情報を消去します。また、ハンズフリー画面の 履歴 、 電話帳 は選べなくなります。 ※本設定を「OFF」から「ON」にすると、その時点の電話帳と発着信履歴の情報がスマートフォンから本機に転送されます。 ※本設定を「ON」にしても、スマートフォンの設定などによっては転送できない場合があります。スマートフォン側の設定はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

NaviCon[®]を利用する

「NaviCon[®]」とは

NaviCon[®]は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチで本機に転送し目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。無料でご利用いただけます。

- 入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。

NaviCon[®]サポートサイト：<https://navicon.com/>

準備

- スマートフォンにアプリ「NaviCon[®]」をインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.132)

お知らせ

- ご利用時には通信費用がかかります。
- iPodまたはiPhoneをP.117の図のとおりに接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon[®]を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

「NaviCon[®]」を利用する

「NaviCon[®]」で検索した地点を本機に送信する

スマートフォンでの操作

「NaviCon[®]」から、地点を検索し、目的地として本機に送信する

本機で地点情報を受信し、全ルート図が表示されます。(P.55)

「NaviCon[®]」のルート探索について

- 現在地がルートの出発点に設定されます。
- ルートが設定されている場合は、前のルートは消去されます。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の目的地履歴(P.56)に保存されます。登録地(P.69)には保存されません。

「NaviCon[®]」で本機の地図の位置を変更する

1 本機での操作

現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンでの操作

「NaviCon[®]」の地図をスクロールする

「NaviCon[®]」でスクロールさせた地点の地図が、本機の地図画面に表示されます。

NaviCon[®]を利用する

「NaviCon[®]」で本機の地図の縮尺を変更する

1 本機での操作

現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンでの操作

「NaviCon[®]」の地図の縮尺を変更する

本機の地図の縮尺が、「NaviCon[®]」で変更した縮尺に切り換わります。

「NaviCon[®]」での地図操作(位置・縮尺の変更)について

- 縮尺は、30 m/37.5 m/50 m/100 m/200 m/500 m/1 km/2.5 km/5 km/10 km/25 km/100 km/250 kmのいずれかに切り換わります。
- 「NaviCon[®]」で30 mよりも詳細な縮尺に切り換えた場合、本機の地図は30 m縮尺に切り換わります。
- 「NaviCon[®]」で250 kmよりも広域な縮尺に切り換えた場合、本機の地図は250 km縮尺に切り換わります。

スマートフォンをリモコンとして使う

CarAV remote Sとは

CarAV remote S は当社が提供するスマートフォン専用のアプリケーションです。BLUETOOTH通信を利用して、スマートフォンで本機のオーディオを操作できます。また、音声認識を起動できます。

- アプリの入手方法など、詳細は下記サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/caravremoteS/>


準備

- スマートフォンにアプリ「CarAV remote S」をインストールしてください。
- スマートフォンを本機に機器登録してください。(P.132)
- スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.132)

お知らせ

- iPodまたはiPhoneをP.117の図のとおりに接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで「CarAV remote S」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

CarAV remote Sを利用する



現在選択中のオーディオ

オーディオの種類を選ぶ

オーディオ表示部を、右から左にフリックする

- フリックするごとにオーディオが切り換わります。

または

⏮️をタッチする

- タッチするごとにオーディオが切り換わります。

- 切り換わりかたは、ステアリングスイッチの[MODE]で操作したときと同じです。(P.82)

音声認識を起動する

🗣️を約0.5秒以上タッチする

※音声認識設定(P.186)が「ON」に設定されている必要があります。

頭出し/早送り・早戻し/選局する

⏮️ ⏭️ をタッチする

アプリの情報(バージョン、利用規約、操作ガイドなど)を表示

音量を調整する

± をタッチする

- + : 大きくなる
- - : 小さくなる

オーディオの音量を消音する(ミュート)

🔇をタッチする


- もう一度タッチすると解除します。
- ミュート時の動作について→P.20

音声認識で目的地を検索する

音声で入力された施設などをクラウド上のデータベースから検索し、行き先を設定できます。


準備

- 別売のマイク（販売店装着オプション）が必要です。
- スマートフォンを本機にWi-Fiネットワーク登録してください。(P.135)
- スマートフォンと本機をWi-Fi接続してください。(P.135)


1 トップメニュー(P.24)または全機能一覧(P.26)から**音声認識**を選ぶまたは、を0.5秒以上押す

2 施設や住所などを発声し、行き先を検索する

- 効果音が鳴ってから発声してください。

 こんにちは。
行きたいところをお話してください。

近くのガソリンスタンド

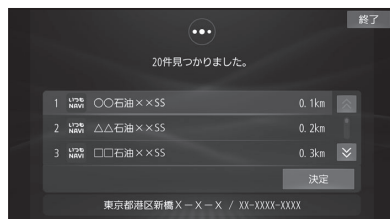
 20件のガソリンスタンドが見つかりました。近い順に
1. ○○石油××SS
2. △△石油××SS
3. □□石油××SS です。

- 検索結果画面が表示されます。


凡例： 本機の音声案内

 発話者の音声入力


3 検索結果画面から、施設を選ぶ



3番*1

 □□石油××SSを目的地に設定しますか？

はい、一般優先で

 一般優先でルート探索します。
お気をつけて。

現在地から行き先までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。(P.55)

*1「□□石油××SS」と、名称でも選択できます。

検索結果画面の操作のしかた

検索結果画面では、下記の操作ができます。

■施設の詳細情報を聞く

3番の詳細情報

- 施設名称・住所・情報が案内されます。
- 番号で選択してください。(詳細情報を聞く施設は、名称では選択できません。)

■次の候補に切り換える

次のページ

- 次の候補を3件表示します。

■選択した施設に電話する

電話をかける

- 選んだ施設に電話をかけます。
(ハンズフリー接続時のみ)

■タッチで操作する

リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- タッチ操作すると音声認識は終了します。以降の操作はタッチで行ってください。

いろいろな音声認識(例)

■周辺の施設を検索する

新横浜駅周辺のファミレス



■住所から検索する

神奈川県横浜市都筑区池辺町
4261



■施設の名称から検索する

パナソニックセンター東京



■自宅を検索する

自宅に帰る



- 本機に登録した自宅を検索できます。

■ルート沿いの施設を検索する

ルート沿いのコンビニ



■条件を詳細に設定する

横浜で駐車場のあるイタリアンを
経由地に、一般道優先で



■検索をやりなおす

やりなおし



- 番号の選択をやりなおすときは、番号を
言いなおしてください。

お知らせ

- ステアリングスイッチの[音声認識]を押しても検索をやりなおせます。

認識率を良くするために

適正な音量で、はっきりと発声してください。

- 発声の音量によって、音声認識アイコン
が下記のように変化します。

- ・  : 声が非常に大きい
- ・  : 声が大きい
- ・  : 適正な音量
- ・  : 声が小さい

- 車の窓を閉めてください。
(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。
(同乗者の声による誤認識を防ぐため)

音声認識

ボイスコマンドで本機を操作する.....	148
ボイスコマンドによる音声認識	148
ボイスコマンドの設定をする	149
ボイスコマンドを使う	149
ボイスコマンド一覧表	150

その他の機能

エコ機能を使う.....	151
エコ機能とは	151
急加減速・アイドリング・高速度走行の 診断結果を見る(ドライブ診断)	151
燃費を計算する.....	152
燃費を確認する.....	152
ドライブ診断の評価を用いて キャラクターを育成する (エコde育成).....	153
エコ機能の各種設定をする(エコ設定) ..	154
本機の情報を確認する	155
製造番号・バージョン・更新期限 などを確認する	155
端末情報を確認する	155
メンテナンス情報を設定する	156
メンテナンス情報のお知らせについて...	156
メンテナンス情報を解除するには.....	156
運転アシスト機能を利用する	157
運転アシストの設定をする	157
運転アシスト機能	158
地図更新について.....	159
無償地図更新サービス (ダウンロード更新)	159
本機のデータを更新する	160
スマートフォンで ソフトウェア・地図を更新する	160
パソコンを使用して ソフトウェア・地図を更新する	161

別売品

ETCシステムと組み合わせる	162
ETCシステムの概要	162
ETC2.0の概要	163
ETC料金履歴を見る	164
ETC管理情報を見る	164
ドライブレコーダーと組み合わせる.....	165
カメラの映像を確認する	165
加速度センサーを最適化する	166
ドライブレコーダーの設定をする.....	167
手動で動画を録画する	169
手動で静止画を撮影する	169
動画・静止画を再生する	170
動画再生画面	171
静止画再生画面	172
ファイルを保存フォルダへ移動する.....	172
ファイルを消去する	173
バックモニター・バックガイドモニター・ パノラマモニター使用時のお願い.....	174
距離目安線の誤差について	175
予測進路線の誤差について	176
障害物検知表示.....	176
車両のコーナーセンサーに 連動する/しないを設定する.....	176
バックモニター・バックガイドモニターの 映像を見る	177
後方の映像を映す	177
ガイド線の設定をする	178
パノラマモニターの映像を見る	179
後方の映像を映す	179
前方の映像を映す	179
表示を切り換える	179
ガイド線を切り換える	179
後席ディスプレイと組み合わせる.....	180
ビデオカメラなどと組み合わせる.....	181
ビデオカメラなどを本機と接続する.....	181
ビデオカメラなどの映像を見る	181

設定

利用に応じた設定に変える	182
地図表示に関する設定	182
ルート探索に関する設定	182
ルート案内に関する設定	183
渋滞情報案内 (VICS) に関する設定	184
ETC 情報の案内に関する設定	185
本機のシステムに関する設定・確認	185
各種設定をお買い上げ時の状態に戻す	187

困ったとき

よくあるお問い合わせ	188
故障かな!?	189
☑電源・共通	189
☑ナビゲーション	190
☑オーディオ [TV]	193
☑オーディオ [FM/AM]	193
☑オーディオ [DVD]	194
☑オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/ [SD]/[USB]	195
☑オーディオ [MEMORY MUSIC]	196
☑オーディオ [iPod]	196
☑オーディオ [レコーダーリンク]	197
☑BLUETOOTH	197
☑Wi-Fi	201
☑音声認識	201
☑ボイスコマンド	202
☑HDMI	202
☑ソフトウェア・地図更新	202
☑こんなメッセージが出たときは	203
☑本体リセット機能について	205
☑結露について	205
☑万一、故障や異常が起こったら	205

必要なとき

文字入力のかた	206
ディスクについて	208
お手入れ	210
SDメモリーカード・USBメモリー について	211
データ作成時の留意点	212
ナビゲーションシステムとは	217
BLUETOOTHについて	220
Wi-Fiについて	221
テレビ・ラジオの受信について	222
DVD言語コード一覧表	223
VICSについて	224
さくいん	233
商標などについて	237
ソフトウェア、および オープンソースソフトウェア について	238
仕 様	239
アフターサービスについて	241

ボイスコマンドで本機を操作する

ボイスコマンドによる音声認識

よく使う機能が、画面を見たりボタンを操作することなく、ボイスコマンドを発声するだけで操作できます。
(一部操作のみ)

- 別売のマイク(販売店装着オプション)が必要です。
- ボイスコマンドを利用するには、ボイスコマンドの利用を「ON」に設定してください。(P.149)

お知らせ

- ボイスコマンド設定の状態に関わらず、本機のボタン操作中は、ボイスコマンドを利用できません。



ボイスコマンドの設定をする

1 システム情報・設定メニュー (P.25) から **ボイスコマンド設定** を選ぶ

2 ボイスコマンドの設定をする

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容 / 操作		
ボイスコマンドの利用	「ON」: ボイスコマンド機能を利用する 「OFF」: ボイスコマンド機能を利用しない		
ハンズフリー中の利用	「ON」: ハンズフリー中にボイスコマンド機能を利用する 「OFF」: ハンズフリー中はボイスコマンド機能を利用しない		
ボイスコマンド ボイスコマンド 有効 / 無効の切換	ボイスコマンド を選ぶ	有効 / 無効を切り換えたいボイスコマンドのチェックボックスを選ぶ ● 選ぶたびに、有効 / 無効が切り換わります。 ● 「無効」に設定されたボイスコマンドは、ボイスコマンドの利用が「ON」に設定されていても認識されません。 ● 誤認識などを防止するため、利用しないボイスコマンドは「無効」に設定することをお勧めします。	
認識レベル ● 認識レベルは、 ボイスコマンドごと に設定できます。		設定を変更したい ボイスコマンド を選ぶ	+ - で設定する ● 設定範囲: 1 (レベル低) ~ 3 ~ 5 (レベル高) ● ボイスコマンドが認識されにくいときはレベルを高く、頻繁に誤認識されるときはレベルを低く設定してください。 ● マイボイスが録音されたボイスコマンドは、レベルを高くすると他の人の声でも認識しやすくなり、レベルを低くすると他の人の声では認識しにくくなります。
マイボイス録音 ● 自分の声をボイス コマンドとして 録音できます。			録音 ▶ はい を選ぶ
			マイクに向かってボイスコマンドを 発声し、録音する ● マイボイスを録音できるボイス コマンドは、3件までです。

ボイスコマンドを使う

ボイスコマンドの利用が「ON」に設定されていると、ボイスコマンドを利用できます。(上記)

マイクに向かってボイスコマンドを発声する

- 本機が認識できるボイスコマンドを発声してください。(P.150)
- ボタン操作やタッチ操作は必要ありません。

認識率をよくするために

マイクに向かってはっきりと発声してください。

- 声が小さすぎると認識されません。
- 車の窓を閉めてください。(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。(同乗者の声による誤認識を防ぐため)

ボイスコマンドで本機を操作する

ボイスコマンド一覧表

本機が認識できるボイスコマンドは下記のとおりです。

ボイスコマンド	よみ	機能
ナビ画面	なびがめん	現在地画面を表示します。 ●カメラ画面を表示中は、カメラの画面を終了し、現在地画面を表示します。*3 ●シフトレバーを「R (リバース)」に入れているときは、カメラ画面は終了しません。
現在地*1	げんざいち	現在地画面を表示します。
広域表示*1	こういきひょうじ	地図の縮尺を広域に切り換えます。
詳細表示*1	しょうさいひょうじ	地図の縮尺を詳細に切り換えます。
市街地図*1	しがいちず	25 m の市街地図を表示します。
ランドマーク地図*1	らんどまーくちず	200 m の広域地図に切り換え、ランドマークを表示します。
ランドマーク切替*1	らんどまーくきりかえ	ランドマークの表示 / 非表示を切り換えます。
サービスエリア*1	さーびすえりあ	ハイウェイマップ表示中に、SA・PA のみの表示に切り換わります。
ルート案内停止*1	るーとあんないていし	ルート案内を中止します。
ルート案内再開*1	るーとあんないさいかい	中止したルート案内を再開します。
次の案内*1	つぎのあんない	最新のルート音声案内を、もう一度案内します。
自宅へ帰る*1	じたくへかえる	自宅までのルートを探索し、ルート案内を開始します。
オーディオ画面*1	おーでいおがめん	オーディオ画面に切り換わります。 ●オーディオ画面表示中に発声すると、オーディオメニューが表示されます。
CD 再生*1	しーでいーさいせい	オーディオを CD に切り換え、再生を開始します。 ●DVD が挿入されている場合は、DVD に切り換わります。
DVD 再生*1	でいーぶいでいーさいせい	オーディオを DVD に切り換え、再生を開始します。 ●CD が挿入されている場合は、CD に切り換わります。
ラジオをつける*1	らじおをつける	オーディオをラジオ (FM/AM) に切り換えます。
Bluetooth オーディオ*1	ぶるーとうーすおーでいお	オーディオを BLUETOOTH Audio に切り換えます。
メモリーミュージック*1	めもりーみゅーじっく	オーディオを MEMORY MUSIC に切り換えます。
SD 再生*1	えすでいーさいせい	オーディオを SD に切り換えます。
テレビをつける*1	てれびをつける	オーディオを TV に切り換えます。
交通情報*1	こうつうじょうほう	オーディオを交通情報に切り換えます。
オーディオミュート*1	おーでいおみゅーと	オーディオの音声のミュート / ミュート解除を切り換えます。
モニターオフ*1*2	もにたーおふ	画面の消去 / 再表示を切り換えます。
ドライブレコーダー録画*1	どらいぶれこーだーろくが	ドライブレコーダー手動録画を開始します。 約 2 分間録画したら、自動録画に戻ります。 ●手動録画中に発声すると、手動録画を終了し、自動録画に戻ります。
ボイスコマンド一覧*1	ぼいすこまんどいちらん	ボイスコマンド一覧を表示します。
目的地を探す*4	もくてきちをさがす	音声認識機能を起動します。

*1 カメラ画面表示中は操作できません。

*2 お買い上げ時の状態で「無効」に設定されています。

*3 パノラマモニター装着車のみ

*4 スマートフォンを本機と Wi-Fi 接続しておく必要があります。

エコ機能を使う

エコ機能とは

以下の機能で、環境に優しい「エコドライブ」をサポートします。

■ドライブ診断

急加減速・アイドリング・高速度走行から、環境に負荷をかける走りかたをしていないか診断します。

■燃費計算

給油量と走行距離をもとに、燃費を計算します。

■エコde育成

ドライブ診断の評価を用いて、キャラクターを育成することができます。

■エコ設定

各種エコ機能の設定ができます。

お知らせ

- GPS信号で現在時刻の情報を受信できなかった場合、ドライブ診断と燃費計算の履歴には、日付は表示されません。
- ドライブ診断や燃費計算の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。

急加減速・アイドリング・高速度走行の診断結果を見る(ドライブ診断)

1 全機能一覧(P.26)から「エコ情報」を選ぶ

2 エコメニューから、「ドライブ診断」を選ぶ



- ドライブ診断画面が表示されます。

5日分の履歴と総合ランクを表示

- A(最高)～E(最低)の5段階評価



本日の診断内容のみを消去し、診断をやり直す

本日の診断内容、過去の履歴、総合ランクをすべて消去

本日の診断

エコマーク(🍃)が多いほど高評価です。
(「🍃🍃🍃🍃」が最高)

- 急加減速**：急加速/急減速を行うと、エコマークが減少
- アイドリング**：長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- 高速度走行**：高速度での走行が多いと、エコマークが減少

お知らせ

- ドライブ診断画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジンOFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- eco(P.64)で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、ドライブ診断の結果が悪くなる場合があります。

ボイスコマンドで本機を操作する

音声認識

その他の機能

エコ機能を使う

エコ機能を使う

燃費を計算する

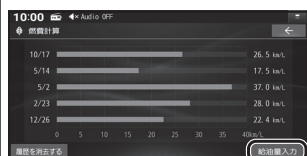
正確に燃費を計算するために、給油時に必ず給油量を入力してください。

1 エコメニュー (P.151) から

燃費計算 を選ぶ



2 給油量入力 を選ぶ



3 給油量を小数点第一位まで入力する



- : 1文字削除
- 入力が完了したあと、数値の修正はできません。

4 満タン給油の場合

はい を選ぶ

- 前回満タンにしたときから今回までの燃費が算出されます。

一部給油の(満タンではない)場合

いいえ を選ぶ

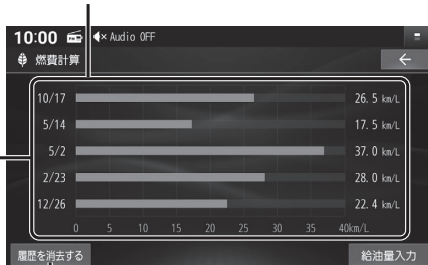
- 給油した量が本機に記憶されます。
- 前回給油時も一部給油だったときは、前回給油した量との合計(積算量)が記憶されます。
- 次回満タン給油したときに、部分給油の積算量と合算して算出されます。

お知らせ

- 初めて計算するとき、正確な燃費が計算されない場合があります。

燃費を確認する

5回分の燃費計算の結果(km/L)を表示



すべての燃費履歴を消去

燃費の算出のしかた



給油のたび、下記のように計算されます。

計算回数

1 回目



① 満タン給油

①で給油した分の燃費が計算されます。



② 部分給油

給油した量が本機に記憶されます。



③ 部分給油

②・③で給油した量の合計が本機に記憶されます。

2 回目



④ 満タン給油

②～④で給油した分の燃費が計算されます。



⑤ 部分給油

給油した量が本機に記憶されます。

3 回目



⑥ 満タン給油

⑤～⑥で給油した分の燃費が計算されます。



⑦ 満タン給油

⑦で給油した分の燃費が計算されます。

4 回目

ドライブ診断の評価を用いてキャラクターを育成する(エコde育成)

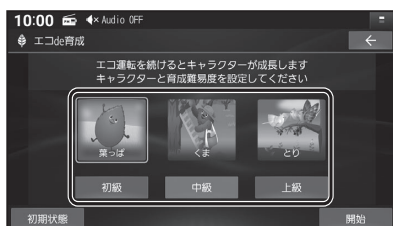
ドライブ診断の評価が高いほど、キャラクターが育ちます。

育成ゲーム感覚で、楽しみながらエコドライブを心がけることができます。

エコde育成を開始する

1 エコメニュー(P.151)から キャラクター変更を選ぶ

2 育成したいキャラクターと 難易度を選ぶ



- キャラクターは3種類です。
- 難易度が上がるほど、成長速度が遅くなります。

3 開始を選ぶ

- 育成を開始します。
- 育成を開始すると、手動で育成を終了(右記)させるまでエコde育成機能は動作し続けます。



育成中は、キャラクターが表示されます。

キャラクターやレベルを変更して 育成をやり直す

1 エコメニュー(P.151)から キャラクター変更を選ぶ

2 育成したいキャラクターと 難易度を選ぶ

3 開始を選ぶ

4 はいを選ぶ

- 変更された条件で、育成を最初からやり直します。
- 変更しない場合は **いいえ** を選んでください。

エコde育成を終了する

1 エコメニュー(P.151)から キャラクター変更を選ぶ

2 初期状態を選ぶ

3 はいを選ぶ

- エコde育成を終了します。
- 終了しない場合は **いいえ** を選んでください。

エコ機能を使う

エコ機能の各種設定をする(エコ設定)

1 エコメニュー(P.151)から**設定**を選ぶ

2 各項目を設定する [太字:お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容 / 操作
エコ運転アドバイス	「 す る」: 約 1 週間に一度の割合で起動時にエコドライブをすすめる音声案内が出力される 「 し ない」: エコ運転アドバイスは出力されない 「 前 回のアドバイスを再生」 * 1: 前回の音声案内が出力される
アイドリング評価の反映 (P.151)	「 す る」: アイドリングの評価をドライブ診断に反映させる 「 し ない」: アイドリングの評価をドライブ診断に反映させない

* 1 エコ運転アドバイス「**する**」に設定時のみ

本機の情報を確認する

製造番号・バージョン・更新期限 を確認する

本機の実車ID・製造番号や、各種ソフトウェアのバージョンを確認できます。

1 システム情報・設定メニュー (P.25) から、**バージョン情報**を選ぶ

2 各種情報を確認する

- 車載器ID
- 製造番号
- ソフトバージョン
- 地図データバージョン
 - ・ 道路地図：道路地図データ
 - ・ 画像：案内画像データ
 - ・ 音声：音声案内データ
 - ・ 索引：索引データ (地点検索)
 - ・ 市街図：市街地図データ
- 地図更新期限
- Gracenoteデータベース
- ドライブレコーダーバージョン



端末情報を確認する

本機の端末情報を確認できます。

1 システム情報・設定メニュー (P.25) から、**端末情報**を選ぶ

2 端末情報を確認する

- 端末の状態
 - ・ IPアドレス
 - ・ Wi-Fi MACアドレス
 - ・ 稼働時間
 - ・ 位置情報
- 法的情報：各種ライセンス情報など
- モデル番号：本機の機種品番
- Android™ バージョン
- カーネル バージョン
- ビルド番号

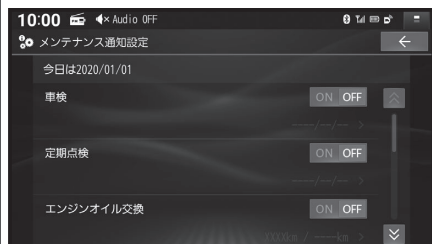


メンテナンス情報を設定する

設定に応じて、車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などが来たことをお知らせします。

1 システム情報・設定メニュー(P.25)から、**メンテナンス通知設定**を選ぶ

2 メンテナンス通知設定画面で、お知らせする項目の**ON**を選ぶ



- 以下の項目を設定できます。
[お買い上げ時の設定: OFF]
- ・車検
- ・定期点検
- ・エンジンオイル交換
- ・エンジンオイルフィルター交換
- ・エアエレメント交換
- ・エアコンフィルター交換
- ・発炎筒交換
- ・バンク修理剤交換

3 日付または距離を設定する

メンテナンス情報のお知らせについて

設定日に近づいた、設定日当日になった、設定日をすぎた、設定をした距離に近づいた、または設定をした距離を走行した場合は、本機を起動したときにそれぞれお知らせします。

例：エンジンオイル交換



また、ステータスバーにアイコンが表示されます。(P.39)

お知らせ

- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

メンテナンス情報を解除するには

メンテナンス通知設定画面で、解除したい項目の**OFF**を選ぶ

- 選んだ項目が解除されます。

運転アシスト機能を利用する

車両からの信号をもとに、速度超過、車両の故障、シートベルトのかけ忘れなどを本機から案内できます。
また、故障などの際は、本機とハンズフリー接続した携帯電話を使って、かんたんに販売店、ロードサービス、コールセンターに電話で連絡することができます。

運転アシストの設定をする

- 1 全機能一覧(P.26)から **運転アシスト設定** を選ぶ
- 2 運転アシストの設定をする(下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目		設定内容	
パーキングブレーキアラーム		「O N」: パーキングブレーキをかけたまま車を発進させたとき、警告案内する 「OFF」: パーキングブレーキアラームを鳴らさない	
速度超過アラーム		「O N」: 車の速度が約 90 km / h 以上になったとき警告案内する 「OFF」: 速度超過アラームを鳴らさない	
事故 / 故障の通知*1*2		「O N」: エンジン・ブレーキ・エアバッグなどの故障を検知した場合、アラーム音で案内する 「OFF」: 事故 / 故障の通知をしない	
標識検知の通知*1*2		「O N」: 検知した道路標識を通知する 「OFF」: 通知をしない	
その他の車両状態の通知*1*2		「O N」: シートベルト未装着・半ドアなどを検知した場合、通知する 「OFF」: 車両状態の通知をしない	
連絡先	販売店連絡先	お買い上げの販売店の電話番号を入力する [お買い上げ時の設定: 電話番号未設定]	☑️を選ぶ
	コールセンター連絡先	コールセンターの電話番号を入力する [お買い上げ時の設定: 電話番号未設定]	
	ロードサービス連絡先	ご加入のロードサービスなどの電話番号を入力する [お買い上げ時の設定: 電話番号未設定]	

* 1 車種やグレードによっては、これらの機能に対応していない場合があります。
* 2 車種やグレードによっては表示されません。

お知らせ

- 事故 / 故障・車両状態などの内容によっては、案内されない場合があります。

メンテナンス情報を設定する／運転アシスト機能を利用する
その他の機能

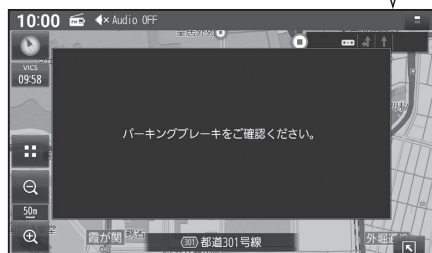
運転アシスト機能を利用する

運転アシスト機能

パーキングブレーキアラーム

パーキングブレーキをかけたまま走行を開始すると…

“ポーン”
パーキングブレーキをご確認ください。



速度超過アラーム

車の速度が約90 km/hを超えると…

“ポーン” 速度に注意してください。

お知らせ

- 速度超過アラームには、案内表示はありません。

その他の車両状態の通知^{*1}

例：半ドアを検知すると…

“ポーン”



標識検知の通知^{*1}

例：車両進入禁止の道路標識を検知すると…



事故/故障の通知^{*1}

例：エアバッグの展開を検知すると…

“ポーン”



■お買い上げの販売店/コールセンター/ロードサービスに電話をかけるには

利用する前に、必ずスマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.132)

- スマートフォンがハンズフリー接続されていないと本機能は利用できません。

1 故障/事故の通知画面(上記)で 電話をかける

2 連絡先の販売店/コールセンター/ロードサービス に登録した番号(P.157)に電話する

販売店/コールセンター/ロードサービスを 選ぶ



- 選択された連絡先に電話をかけます。
- 電話番号を入力し、発信を選んで、電話をかけることができます。

*1 車種やグレードによっては、これらの機能に対応していない場合があります。

地図更新について

無償地図更新サービス(ダウンロード更新)

本製品は、スマートフォンまたはパソコンを使用して、地図データの更新を最大5年間でご利用いただけます。

※通信費用はお客様の負担となります。

※インターネットを利用できる環境などが必要です。

※パソコンでダウンロード更新する場合は、SD規格に準拠した16GB以上のSDメモリーカードが必要です。

【対応スマホ(OS)】Android スマートフォン(Android 9.0以降) / iPhone(iOS 13.0以降)
□最新のOSバージョンを使用してください。

【対応パソコンOS】Windows 10

※Microsoft .NET Framework 4.8のインストールが必要です。

ダウンロード更新には地図更新アプリが必要です。地図更新アプリのインストールなど、詳細は<<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/toyota.html>>をご覧ください。

お申込み方法

スマートフォン用またはパソコン用地図更新アプリ経由でナビcafe新規登録する際にお申し込みください。

※ナビcafe新規登録の際のサービス申込は、スマートフォンまたはパソコンのどちらかから初回1回です。

※パソコンから申し込んで、スマートフォンで更新データをダウンロードすることも可能です。(スマートフォンから申し込んでパソコンでダウンロードも可能です。)

利用可能期間と更新範囲

【利用可能期間】本製品の使用開始日から5年間(お申し込み日から5年間ではありません)

※使用開始日の判定は自動的に行われ、無償地図更新期限が設定されます。

お申し込みが遅くなるとご利用いただける期間が短くなりますのでご注意ください。
(無償地図更新期限を確認するには→P.155)

※使用開始日から5年未満でも、データ提供期限にて終了いたします。

□部分地図更新：最大5年間可能

(道路データは2カ月毎更新、索引データ、逆走検知データは4カ月毎更新)

□全地図更新：期間中2回可能(地図の全データは年1回更新)

□更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。

(配信は延期・中止される場合があります。)

□上記期間以降の更新は、年度更新地図の販売をご利用ください。

(発売時期・販売方法については、販売店にお問い合わせください。)

内容	方法	全地図更新 (地図の全データ)	部分地図更新 (市街地図を除くデータ)
道路データ	道路地図(縮尺50m～250km) ※細街路含む	○	○
	案内画像(リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など)	○	○
	音声案内	○	○
	地点検索データ(施設情報・電話番号情報など)	○	○
	市街地図(縮尺5m～25m)	○	×

本機のデータを更新する

スマートフォンでソフトウェア・地図を更新する

更新データは大容量のため、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
自宅や公衆無線LANなどに接続してダウンロードすることをお勧めします。

- 地図更新アプリのインストールなど、詳細は下記サイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/toyota.html>
- 地図更新アプリの操作については、地図更新アプリのヘルプなどをご覧ください。
- Wi-Fi接続をする際は、必ずスマートフォンの電池残量を確認してください。
- SDカードでの更新については、P.161をご覧ください。

スマートフォンの地図更新アプリに本機を登録する

1 スマートフォンを本機とWi-Fi 接続する (P.135)

2 スマートフォンで地図更新アプリを起動し、ログインする

3 システム情報・設定メニュー (P.25) から、**ソフトウェア・地図 更新** ▶ **スマートフォンアプリ (ナビアップS)** との接続 **ON** を選ぶ

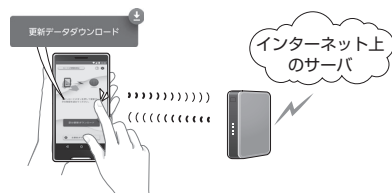
- 地図更新アプリで本機の情報が取得されます。

ソフトウェア・地図の更新データをダウンロードして更新する

1 スマートフォンで地図更新アプリを起動し、ログインする

2 地図更新アプリから、インターネット経由で更新データをダウンロードする



- ダウンロードに必要な空き容量：最大16 GB
※ 下記は定期的に更新している場合の目安です。
更新の頻度などにより異なります。
 - ・ 部分 地 図 更 新：1 GB 以上
 - ・ 全 地 図 更 新：約6 GB
 - ・ ソフトウェア更新：200 MB 以上



3 スマートフォンを本機とWi-Fi接続する (P.135)

- 地図を更新する場合は、本機がGPS信号を受信している状態で作業してください。(GPS受信状態の確認方法→P.38)

4 地図更新アプリで、更新データを本機に送信する

- ステータスバーの「」の矢印が点滅し、データ受信および更新準備が完了すると、「」になります。
- 送信から更新準備が完了するまでの所要時間は、更新データにより異なります。(場合によっては1時間以上かかることがあります。)
- データ受信中および更新準備中も、本機を操作できます。



5 システム情報・設定メニュー (P.25) から、**ソフトウェア・地図 更新** ▶ **更新** ▶ **はい** ▶ **更新する** を選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。
地図更新の場合
- 「最新データに更新されました。」と表示されたら、更新完了です。(所要時間は更新データにより異なります)

お願い

- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所 (周囲が囲まれた車庫など) で長時間使用しないでください。

パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する

■ご利用の流れ

1 ナビゲーションにSDカードを挿入し、更新用SDメモリーカードを作成する。

2 地図更新アプリを起動し、更新データをダウンロードして更新用SDメモリーカードに保存する。



3 更新データの保存が完了したら、更新用SDメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する。

更新用SDメモリーカードを作成する (ナビゲーションでの操作)

準備 (初回のみ)

SD規格に準拠した16 GB以上のSDメモリーカードをご用意いただき、パソコンで初期化してください。

- 初期化にはSD File System Specification 準拠の「SDメモリーカードフォーマッター」を使用してください。
「SDメモリーカードフォーマッター」ダウンロードWebサイト
<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

1 使用するSDメモリーカードを本機に挿入する (P.11)

2 システム情報・設定メニュー (P.25) の **ソフトウェア・地図 更新** ▶ **更新用SDカード作成** を選ぶ

3 表示されるメッセージに従って、**はい** を選ぶ

お願い

- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはいしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。

更新データをダウンロードしてSDメモリーカードに保存する (パソコンでの操作)

パソコンの地図更新アプリで更新データをダウンロードし、更新用SDメモリーカードに保存する

更新用SDメモリーカードでデータを更新する (ナビゲーションでの操作)

1 更新データを保存した更新用SDメモリーカードを本機に挿入する。
● ステータスバーに が表示されます。

2 システム情報・設定メニュー (P.25) から **ソフトウェア・地図 更新** ▶ **更新** を選ぶ

3 **はい** を選ぶ
● 更新準備が開始されます。更新準備が終わるとステータスバーの が に変わります。

4 システム情報・設定メニュー (P.25) から **ソフトウェア・地図 更新** ▶ **更新** を選ぶ

5 **はい** ▶ **更新する** を選ぶ
● データの更新が開始されます。

- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所 (周囲が囲まれた車庫など) で長時間使用しないでください。

ETCシステムと組み合わせる

ETCシステムの概要

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

本機能は別売のナビ対応の純正ETC2.0ユニット(販売店装着オプション)を接続した場合に表示・操作できます。

- ETCユニット……………ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
- ETCカード……………ICチップを搭載した、ETCユニット用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。
- 車線表示板……………料金所のETC車線に必要な応じて設定されています。料金所の車線運行状況(ETC車線・混在車線・一般車線の区別)が表示されます。
- 発進制御装置(ゲート)……………料金精算を確実にするために、料金所のETC車線に必要な応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏切の遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
- 路側表示器……………料金所のETC車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
- 路側無線装置……………料金所のETC車線に設置されています。料金精算のため、ETCユニットとの通信を行うためのアンテナです。

ETC2.0の概要

従来のETCサービスのほかに、VICSの情報提供サービスを受けることができます。狭い範囲での双方向通信を行う無線通信方式の一種を用いたサービスです。高速道路本線上を中心に設置されたITSスポットと、車載器間での双方向通信により、道路上の渋滞や、事故、合流など、刻々と変わる情報を、リアルタイムに案内します。

- ITSスポットでプローブ情報が収集される場合があります。
ITSスポットで収集される情報は、安全運転支援等を目的としたものであり、プローブ情報から車両または個人を特定することはできません。
- ITSスポットより提供される案内内容は、変更される場合があります。
- ETC2.0サービスおよびITSスポット設置エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

一般財団法人ITSサービス高度化機構

<https://www.go-etc.jp/etc2/index.html>

本機能は別売のナビ対応の純正ETC2.0ユニットを接続した場合に表示・操作できます。

VICS情報提供サービス(P.74)

ITSスポット(道路に設置される路側無線装置)より5.8 GHz VICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。

- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易図形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。(P.74)
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報^{*1}を考慮したルート探索ができます。
- 高速道路上のITSスポットではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報を案内します。(P.75)

* 1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

ETC2.0アップリンク

ETC2.0車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報(走行位置情報など)をITSスポットへ送信することをいいます。
送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- ETC2.0アップリンクする/しないの設定ができます。(P.184)

信号情報活用運転支援システム(TSPS)による情報

別売のETC2.0車載器(光ビーコン対応モデル)を接続すると、道路上に設置された高度化光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報を表示と音声で案内します。(P.76)

- 信号情報活用運転支援システムの設定については→P.183

ETC機能

従来のETCのサービスも、利用することができます。

ETCシステムと組み合わせる

ETC料金履歴を見る

1 ナビ情報・設定メニュー(P.25)
から**ETC情報**を選ぶ

2 ETC情報画面から
ETC履歴を選ぶ

- ETC履歴画面が表示されます。
(履歴100件まで)
- 100件を超えると古い順に消去されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。

■ETC履歴画面



ETC履歴 5件	
2021年05月10日 21時30分 ○○	利用料金: 1,320円 ~ ○○○○
2021年04月26日 16時44分 ○○○○○○	利用料金: 1,320円 ~ ○○
2021年03月21日 19時56分 □□	利用料金: 1,320円 ~ □△□△
2021年02月04日 17時06分 △△△△	利用料金: 600円 ~ △○○△
2021年01月23日 22時45分	利用料金: 1,320円 ▽

ETC管理情報を見る

1 ナビ情報・設定メニュー(P.25)
から**ETC情報**を選ぶ

2 ETC情報画面から
ETC管理情報を選ぶ

- ETC管理情報が表示されます。

■ETC管理情報画面



お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。**ETC履歴**を選んでETC履歴画面(上記)が表示されるまでは、ETC2.0車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

ドライブレコーダーと組み合わせる

本機能は別売のナビ対応のドライブレコーダー（連動モデル）（販売店装着オプション）^{*1}を接続した場合に表示・操作できます。

^{*1} バックモニター・バックガイドモニター・パノラマモニターをドライブレコーダーの後方用カメラとして使用している場合は、後方の映像も録画／撮影されます。

カメラの映像を確認する

通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う確認です。

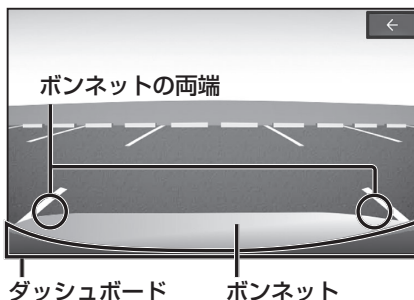
- 1 トップメニュー（P.24）または
全機能一覧（P.26）から
ドライブレコーダーを選ぶ
●ドライブレコーダー画面を表示します。



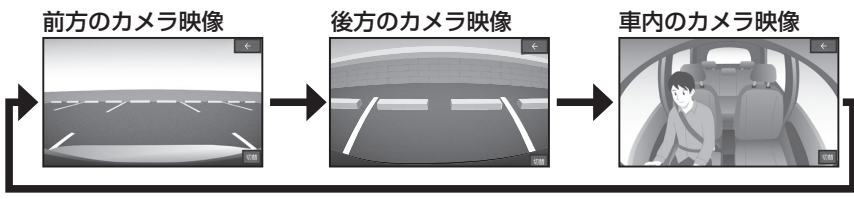
- 2 ドライブレコーダー画面から
カメラモニターを選ぶ
●ドライブレコーダーのカメラの映像が表示
されます。



- 3 映像が正しく映し出されていることを
確認する
●映像が正しく表示されない場合は、
お買い上げの販売店にご相談ください。



- リヤカメラ録画、車内カメラ録画を行っている場合は、**切替**を選ぶたびに、前方／後方／車内のカメラ映像が切り換わります。



ドライブレコーダーと組み合わせる

加速度センサーを最適化する

走行中、急加速・急減速をお知らせするブザーが頻繁に鳴ったり、ブザーが鳴り続ける（ピピピ…短く8回）場合は、加速度センサーの最適化を正しく行ってください。

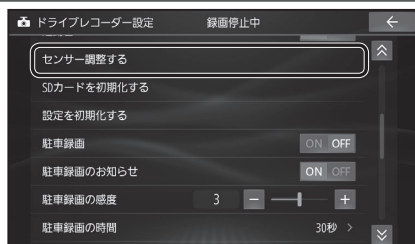
最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われずおそれがあります。

※必ずドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードが入っている状態で行ってください。

1 水平かつ平坦な場所に停車する

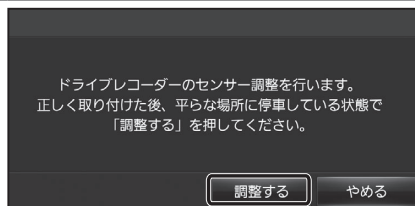
2 ドライブレコーダー画面（P.165）から **ドライブレコーダー設定** を選ぶ

3 **センサー調整する** を選ぶ



4 **調整する** を選ぶ

- 最適化を開始します。
- 最適化を完了して、メッセージが表示されるまで、車のエンジンを切らない（ACC OFFにしない）でください。



5 メッセージが表示されたら、**OK**を選ぶ



6 現在地画面を表示させ、ドライブレコーダーの動作状態が「常時録画中」であることを確認する（P.39）

ドライブレコーダーの設定をする

1 ドライブレコーダー画面(P.165)から ドライブレコーダー設定を選ぶ

- 録画を停止し、ドライブレコーダー設定画面を表示します。



2 ドライブレコーダー設定画面から各項目を設定する(下記)

- で設定画面がスクロールします。

お知らせ

- 本機の設定を工場出荷状態に戻すと、ドライブレコーダー接続設定は「OFF」になります。ドライブレコーダーを利用するには、「ON」に設定しなおしてください。
- 本機の設定を工場出荷状態に戻すと、リヤカメラ録画の設定は「しない」に、車内カメラ録画の設定は「OFF」になります。前後にカメラがある場合は、リヤカメラ録画の設定は「する」に、室内カメラがある場合は車内カメラ録画の設定を「ON」に設定しなおしてください。

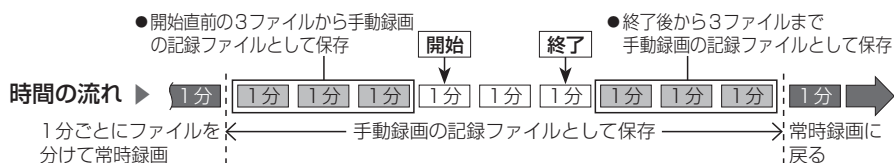
■ 設定項目一覧

[太字:お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容 / 操作
ドライブレコーダー 接続設定	「O N」: ドライブレコーダーを接続する 「O F F」: ドライブレコーダーを接続しない
画質	「高 画 質」: 高画質で記録する 「標 準」: 標準の画質で記録する
音声録音	「O N」: 録画中、音声を録音する 「O F F」: 録画中、音声を録音しない
再生一覧表示	ファイル一覧の表示順序を設定します。 「新しい順」: 記録日時が新しい順に表示する 「古 い 順」: 記録日時が古い順に表示する
イベント情報表示	記録ファイル再生中の動画情報表示について、チェックボックスを選択して「する / しない」を設定します。
急加速・急減速	急加速・急減速した場面で、動画情報を表示「ON」(する) / 「OFF」(しない)
駐車録画	駐車録画した地点で、動画情報を表示「ON」(する) / 「OFF」(しない)
事故多発地点	事故多発地点で、動画情報を表示「ON」(する) / 「OFF」(しない)
合流地点	合流地点で、動画情報を表示「ON」(する) / 「OFF」(しない)
急カーブ	急カーブで、動画情報を表示「ON」(する) / 「OFF」(しない)
監視録画	監視録画した地点で、動画情報を表示「ON」(する) / 「OFF」(しない)
後方検知	後方検知した地点で、動画情報を表示「ON」(する) / 「OFF」(しない)
急加速・急減速の感度	/ で、急加速・急減速の測定感度を調整する [調整範囲: 1(低感度) ~ 3 ~ 5(高感度)]

手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルが手動録画の記録ファイルに置き換わります。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。



準備 ●「ダイレクトボタン設定」を「ドライブレコーダー動画録画」に設定してください。(P.186)

地図画面で

📹 をタッチする

●動画の録画を開始します。



●2分後に自動的に録画を停止します。

■手動で録画を終了させるには

地図画面で

⏏ をタッチする

●動画の録画を終了します。



手動で静止画を撮影する

準備 ●「ダイレクトボタン設定」を「ドライブレコーダー静止画撮影」に設定してください。(P.186)

地図画面で

📷 をタッチする

●タッチした瞬間の静止画が撮影されます。



ドライブレコーダーと組み合わせる

動画・静止画を再生する

走行中は再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

1 ドライブレコーダー画面 (P.165) から再生を選ぶ

- 録画を停止し、ドライブレコーダー再生リストを表示します。

2 ドライブレコーダー再生リストからファイルを選び、再生を選ぶ



動画 全表示：

すべての動画ファイルのリストを表示

動画 手動録画：

手動録画の動画ファイルのみのリストを表示

静止画：

静止画のファイルのみのリストを表示

ファイルリスト



記録年月日・時刻

「保存フォルダ」(P.172) に保存された動画ファイルのリストを表示

記録された動画情報をマークで表示

：後方検知の映像

：手動録画された

：駐車録画/監視録画された

：急加速・急減速情報がある

：事故多発地点情報がある

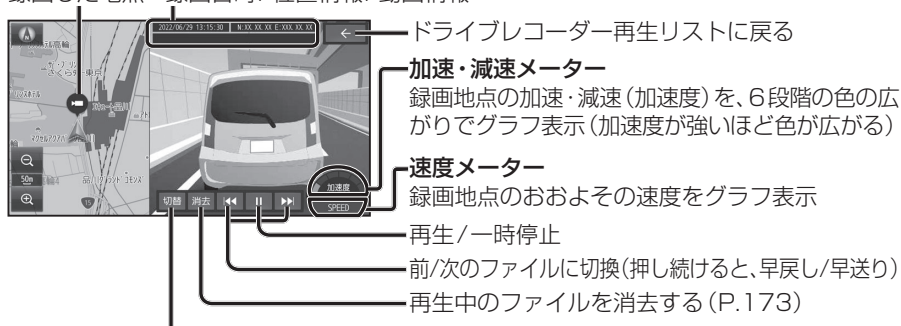
：合流地点情報がある

：急カーブ情報がある

選んだファイルの再生を開始します。(P.171、172)

動画再生画面

録画した地点 録画日時/位置情報/動画情報



動画切替

- リヤカメラ録画、車内カメラ録画の映像が記録されている場合は、**切替** をタッチすると、前方/後方/車内が切り換わります。



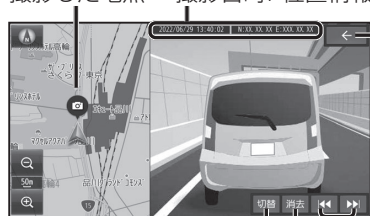
お知らせ

- 動画画面（右画面）をタッチすると、全画面で動画を表示します。再度タッチすると、もとの画面に戻ります。

ドライブレコーダーと組み合わせる

静止画再生画面

撮影した地点 撮影日時/位置情報



← ドライブレコーダー再生リストに戻る

前/次のファイルに切換

再生中のファイルを消去する (P.173)

静止画切換

- リヤカメラ録画、車内カメラ録画の映像が記録されている場合は、**切替** をタッチすることにより、前方/後方/車内が切り換わります。



お知らせ

- 静止画面 (右画面) をタッチすると、全画面で静止画を表示します。再度タッチすると、もとの画面に戻ります。

ファイルを保存フォルダへ移動する

保存フォルダに保存されたファイルは、自動消去されません。
残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。

- 1 ドライブレコーダー再生リスト (P.170) から移動させたいファイルを選び、**保存** を選ぶ

- 2 はい ▶ **OK** を選ぶ

- 選んだファイルが保存フォルダへ移動されます。



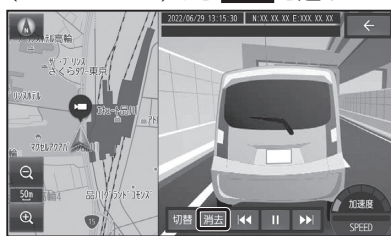
ファイルを消去する

再生中のファイルを消去する

- 1 ドライブレコーダー再生リスト (P.170) から消去したいファイルを選び、**再生**を選ぶ



- 2 動画再生画面 / 静止画再生画面 (P.171、172) から**消去**を選ぶ



- 3 **はい**を選ぶ
● 選んだファイルが消去されます。

お知らせ

- ファイルを消去すると、動画 / 静止画は前方 / 後方 / 車内のいずれも消去されます。個別に消去することはできません。

フォルダ内のファイルを全て消去する

- 1 ドライブレコーダー再生リスト (P.170) から消去したいフォルダのリストを表示させ、**全消去**を選ぶ



- 2 **はい**を選ぶ
● 選んだフォルダ内の全ファイルが消去されます。

バックモニター・バックガイドモニター・パノラマモニター使用時のお願い

バックモニター・バックガイドモニター・パノラマモニター*¹装着車では、シフトレバーを「R」(リバース)にすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像が表示されます。また、パノラマモニター装着車では、タッチ操作などで前方のカメラ映像を表示させたり、左右側方の映像を表示させることもできます。カメラ映像には、ガイド線(車両の車幅や距離感覚を補う補助線)を映すことができます。

バックモニター・バックガイドモニター・パノラマモニターの設定については、お買い上げの販売店にご相談ください。

* 1 バックモニター・バックガイドモニター・パノラマモニターの装着は車両により異なります。

- カメラ映像を過信しないでください。バックモニター・バックガイドモニター、パノラマモニターは、障害物などの確認のための**補助手段**として使用してください。
- カメラで映し出す範囲は限られていますので、モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周辺の安全を充分確認してください。
- 雨滴などがカメラに付着すると映りが悪くなるおそれがあります。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
 - ・ 坂道など平坦でない道
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり確認しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 自車の状況(乗車人数・積載量)により、画面のガイド線の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックモニター・バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックモニター・バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障などの原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶら下げたり、ケーブルを引っ張ったりなどは、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線など、故障の原因になります。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。

お知らせ

- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 50 Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき(フリッカー現象)が起きますが故障ではありません。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき(雨の日など)は、カメラが曇り、映像が見づらくなる場合があります。
- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
- カメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

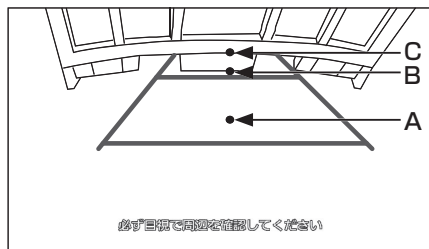
距離目安線の誤差について

平らな路面での誤差

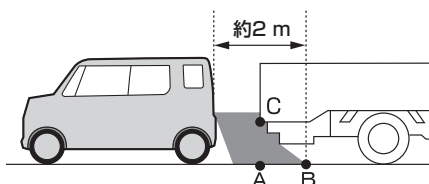
画面では、距離目安線により約2 m先(Bの位置)にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

■ 画面

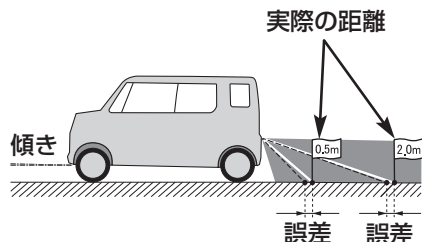


■ 実際のABCの位置



車両の傾きによる誤差

乗員や積載物などの重量の影響で車両が傾いている場合は、傾きの分だけ実際の距離・進路と誤差が生じます。

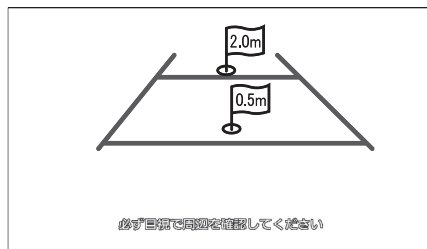


坂道での誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。

そのため、後方が上り坂のときは実際の距離より手前に、下り坂のときは実際よりうしろに距離目安線が表示されます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

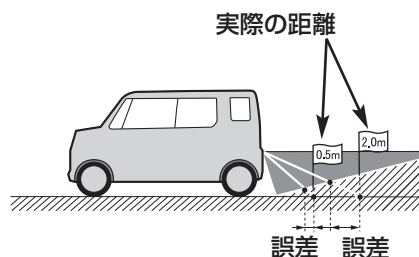
■ 画面



■ 車の状況

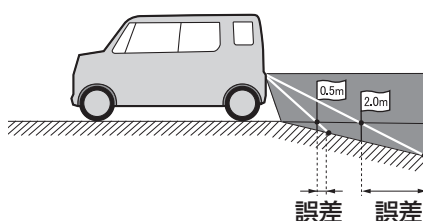
上り坂の場合

- 障害物が実際より遠くにあるように見えます。



下り坂の場合

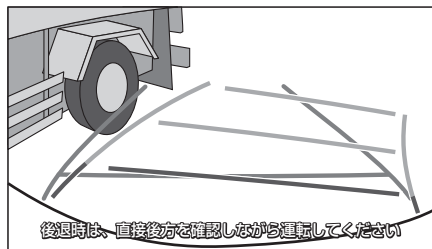
- 障害物が実際より近くにあるように見えます。



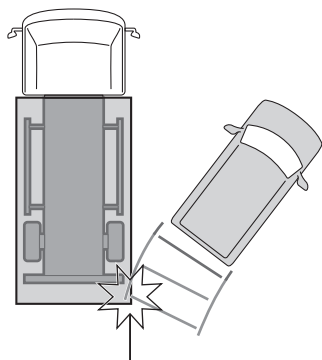
予測進路線の誤差について

画面では、トラックが予測進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は、カメラには映っていない荷台が進路上に張り出しており、予測進路線に沿って進むと、接触する場合があります。

■ 画面



■ 車の状況



カメラには映っていない荷台が進路上に張り出しているため、予測進路線に沿って進むと接触してしまいます。

- : カメラに映っている部分 (シャーシ)
- : カメラに映っていない部分 (荷台)

* 障害物検知表示は、一部の車両にのみ装着されております。

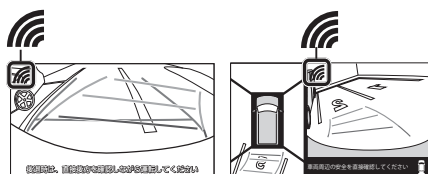
対象車種について、詳しくは販売店にお問い合わせください。

車両を後退させる際、進行方向の約 60 cm 以内の距離に障害物を検知すると、障害物の方向と距離を、 の表示とブザー音で案内します。案内は、障害物までの距離に応じて下記のとおり変化します。

障害物までの距離	表示の色	ブザー音* 1
約 60 ~ 45 cm	緑	ピッピッピッ...
約 45 ~ 30 cm	黄	ビビビビビ...
約 30 cm未満	赤	ピー (連続音)

* 1 ブザー音は本機からではなく車両から発せられます。ブザー音については、車両の取扱説明書をご覧ください。

表示例



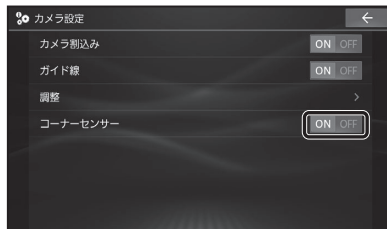
バックモニター・バックガイドモニター
パノラマモニター

車両のコーナーセンサーに連動する/しないを設定する

障害物検知表示する/しないを設定するとき、コーナーセンサーの設定のON/OFFを切り換えてください。

1 システム情報・設定メニュー (P.25) からカメラ設定を選ぶ

2 コーナーセンサーのONを選ぶ



バックモニター・バックガイドモニターの映像を見る

後方の映像を映す

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- バックモニター・バックガイドモニターの映像が表示されます。
- ガイド線の表示は、バックモニター・バックガイドモニターによって異なります。
(下記)
詳しくは販売店にお問い合わせください。

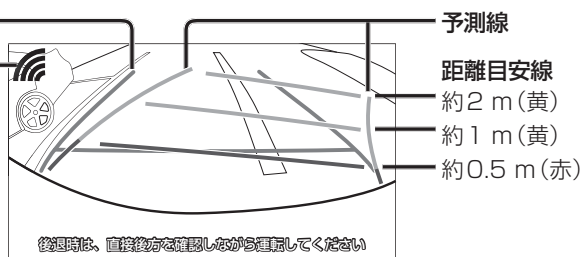
バックガイドモニターの場合

バックガイドモニター装着車の場合は、ステアリング操作に連動して、予測進路を示したガイド線が表示されます。

固定線(緑)

ハンドルを切らずに
まっすぐに後退した
場合のガイド線

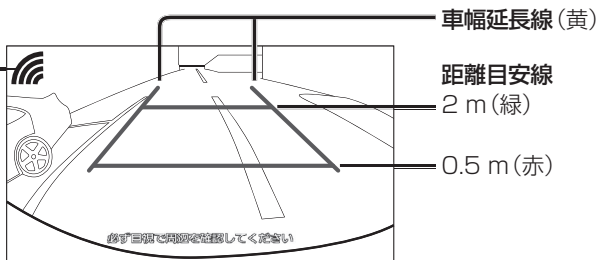
障害物検知表示 (P.176)



バックモニターの場合

バックモニター装着車の場合は、大まかな目安となる固定のガイド線が表示されます。

障害物検知表示 (P.176)



お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。(P.128)
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - ・暗いところ(夜間など)
 - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき
 - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき(雨天時など)
 - ・カメラ付近に異物(泥など)がついたとき
 - ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

バックモニター・バックガイドモニターの映像を見る

ガイド線の設定をする

- ガイド線の設定については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ガイド線を調整する際には、車を安全な場所に停止して行ってください。

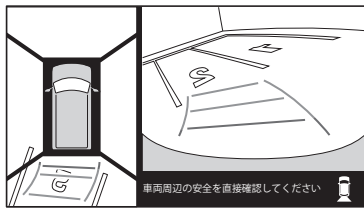
パノラマモニター*の映像を見る

*パノラマモニターは、一部の車両にのみ装着されております。車種や年式によっては操作方法が異なる場合がございますので、この場合は車両の取扱説明書をご確認ください。


後方の映像を映す

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

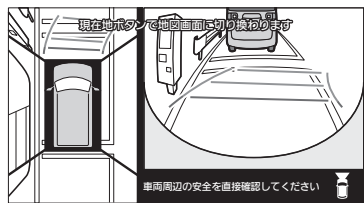
- 後方の映像が表示されます。



前方の映像を映す

時速約10 km以下に減速して、
現在地画面から、を選ぶ

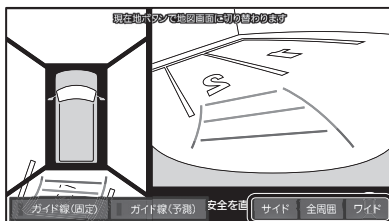
- 前方の映像が表示されます。



表示を切り換える

1 パノラマモニターの画面を表示させ、画面をタッチする

2 サイド / 全周囲 / ワイド を選ぶ

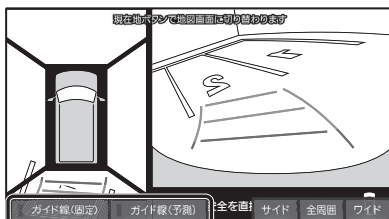


- 選んだ表示に切り換わります。

ガイド線を切り換える





1 パノラマモニターの画面を表示させ、画面をタッチする

2 ガイド線(固定) / ガイド線(予測) を選ぶ



- 選んだガイド線の表示 / 非表示が切り換わります。
- ガイド線の調整はできません。

お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、後方の映像は表示されません。
- 後方の映像を表示中にシフトレバーを「R(リバース)」以外に切り換えると、後方の映像に切り換える前の画面に戻ります。
- 前方の映像(全周囲・ワイド)を表示中に時速約10 km以上で走行すると、地図画面などに戻ります。
- 前方の映像を表示中に /  /  のいずれかを押すと、地図 / メニュー / オーディオの画面に切り換わります。
- 前方の映像を表示させたまま約3分間何も操作しないと、切り換える前の画面に戻ります。
- 時速約10 km以上で走行中に を選ぶと、サイドの映像に切り換わります。


後席ディスプレイと組み合わせる

TV*¹、DVD、SD動画、USB動画の映像を、後席ディスプレイ（販売店装着オプション）に表示できます。

準備

- 後席ディスプレイの入力モードを、本機と接続しているケーブル（アナログ）に合わせて切り換えてください。

オーディオを切り換える (P.82)

- 本機および後席ディスプレイに、選んだオーディオが表示されます。
- を押すと、後席ディスプレイに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席ディスプレイには、走行中でも映像が出力されます。

* 1 本機から後席ディスプレイへ出力される信号はアナログ出力となります。TV放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるため、後席ディスプレイへ出力できないことがあります。

お知らせ

- 本機の映像を後席ディスプレイに表示させた状態でオーディオを切り換えると、後席ディスプレイの映像が一時的に乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- コピーガードがかかっている番組やDVDは、録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで本機とモニターを直接接続してください。

ビデオカメラなどと組み合わせる

本機とHDMIで接続した機器の映像を見ることができます。

ビデオカメラなどを本機と接続する



* 1 車両により形状が異なる場合があります。

* 2 別売品のお買い求めについては、販売店へお問い合わせください。

お願い

- ビデオカメラなどの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。

ビデオカメラなどの映像を見る

トップメニュー (P.24) または全機能一覧 (P.26) から、**HDMI** を選ぶ

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

利用に応じた設定に変える

地図表示に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー (P.25) から **ナビ設定** を選ぶ

2 **表示設定** を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ランドマーク設定 (P.50)	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
走行軌跡を表示 (P.42)	「 O N 」: 走行軌跡を表示する 「 OFF 」: 走行軌跡を表示しない
走行軌跡の記録を消去する (P.42)	走行軌跡の記録を消去する ▶ はい : 走行軌跡の記録を消去する
目的地方向を表示 (P.41)	「 O N 」: 目的地方向直線を表示する 「 OFF 」: 目的地方向直線を表示しない
自車位置修正 (P.18)	自車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません)

ルート探索に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー (P.25) から **ナビ設定** を選ぶ

2 **探索設定** を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
新旧ルート比較画面を表示 (P. 67)	「 O N 」: VICS 自動再探索が行われた場合は、新旧ルート比較画面を表示する 「 OFF 」: 新旧ルート比較画面を表示しない
新旧ルート自動選択 (P. 67)	「 新ルート 」: 新旧ルート画面で約 8 秒間操作しないと、新ルートで案内する 「元ルート」: 新旧ルート画面で約 8 秒間操作しないと、旧ルートのままとする
到着予想時刻の計算方法	「自動」: 自動で到着予想時刻を計算する 「手動」: 手動で設定した車速から到着予想時刻を計算する 一般道と有料道路それぞれの車速を設定できます。
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果の初期化 ▶ はい ▶ はい : 本機のルート学習機能を初期化する

ルート案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー (P.25) から **ナビ設定** を選ぶ

2 **案内設定** を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容	
案内拡大図の表示 (P. 36)	「ON」：案内拡大図を表示する 「OFF」：案内拡大図を表示しない	
ETC レーンの表示 (P. 35)	「ON」：ルート案内中に ETC レーン案内を表示する 「OFF」：ETC レーン案内を表示しない	
方面看板の表示 (P. 38)	「ON」：方面看板を表示する 「OFF」：方面看板を表示しない	
ハイウェイモードの表示 (P. 35)	「ON」：ハイウェイマップを表示する 「OFF」：ハイウェイマップを表示しない	
Audio 画面中の案内割込み	「ON」：オーディオ画面を表示中に割り込んで現在地画面に切り換えて案内する（ルート案内が完了すると、オーディオ画面に戻ります） 「OFF」：オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない	
逆走注意アラーム (P. 44)	「ON」：逆走注意アラームを案内する 「OFF」：逆走注意アラームを案内しない	
VICS 案内 (P. 66)	「ON」：VICS の渋滞 / 規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「OFF」：VICS の渋滞 / 規制情報がある区間に近づいても、音声で案内しない	
信号情報活用運転支援設定 *1	光ビーコンアップリンク (P. 76)	「ON」：高度化光ビーコンと情報の送受信（本機で収集した情報の送信、および信号情報の受信）をする 「OFF」：高度化光ビーコンと情報の送受信をしない
	赤信号減速支援*2 (P. 76)	「ON」：前方の信号機が赤信号に変わると予測したことを、アイコンで表示する 「OFF」：アイコンを表示しない
	発進遅れ防止支援*2 (P. 76)	「ON」：赤信号での停車時に青信号に変わるまでの残り時間をアイコンで表示する 「OFF」：アイコンを表示しない
	支援音声ガイド*2 (P. 76)	「ON」：赤信号減速支援、発進遅れ防止支援を音声で案内する 「OFF」：音声で案内しない

*1 高度化光ビーコン対応の ETC 2.0 車載器キット (別売品) が必要です。

*2 光ビーコンアップリンクが「ON」の場合のみ、設定できます。

利用に応じた設定に変える

渋滞情報案内(VICS)に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.25)から**ナビ設定**を選ぶ

2 渋滞設定を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
FM VICS 周波数	受信周波数 現在の周波数がFM多重放送の放送局の場合、放送局名を表示する。
	周波数の選局方法 「 自動選局 」: 自車位置に応じて、FM 多重放送を受信する放送局を自動的に切り換える 「 手動選局 」: FM 多重放送を受信する周波数を手動で設定する
	手動選局 ■ + : 周波数を設定する ※ 周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
	エリア選局 FM VICS を受信したいエリア(放送局)を選ぶ ※ 周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
ビーコン割込み設定*1	ビーコン受信音 「 ON 」: ビーコンから VICS 情報を受信すると、受信音を鳴らす 「 OFF 」: ビーコンから VICS 情報を受信しても、受信音を鳴らさない ※ 注意警戒系情報、緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず受信音を鳴らします。
	ビーコン割込み(P. 74) 「 ON 」: ビーコンから VICS 情報を受信すると、割込み表示する 「 OFF 」: ビーコンから VICS 情報を受信しても、割込み表示しない ※ 注意警戒系情報、緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず割込み表示します。
ETC 2.0 割込み設定*2	ETC 2.0 受信音 「 ON 」: ETC2.0 サービスから VICS 情報を受信すると、受信音を鳴らす 「 OFF 」: ETC2.0 サービスから VICS 情報を受信しても、受信音を鳴らさない ※ 安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず受信音を鳴らします。
	ETC 2.0 割込み(P. 75) 「 ON 」: ETC2.0 サービスから VICS 情報を受信すると、割込み表示する 「 OFF 」: ETC2.0 サービスから VICS 情報を受信しても、割込み表示しない ※ 安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず割込み表示します。
	ETC 2.0 自動音声再生 「 ON 」: ETC 2.0 サービスから VICS 情報を受信すると、自動的に音声案内する 「 OFF 」: ETC 2.0 サービスから VICS 情報を受信しても、自動的に音声案内しない
	ETC 2.0 アップリンク*3(P. 163) 「 ON 」: 本機で収集した情報を、ITS スポットに自動的に送信する 「 OFF 」: 本機で収集した情報を、ITS スポットに送信しない

* 1 高度化光ビーコン対応のETC 2.0車載器キット(別売品)が必要です。

* 2 ETC 2.0 車載器キット(別売品)が必要です。

* 3 ETC2.0アップリンク設定をOFFにすると、保持している走行履歴などの情報を消去することができます。OFFに設定していると、走行履歴情報を活用したサービスをご利用いただけない場合があります。

ETC情報の案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー (P.25) から **ナビ設定** を選ぶ

2 **ETCの音声案内設定** を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
ETC 音声案内	「 O N 」: 利用料金などを、本機から音声で案内する 「 O F F 」: ETC 音声案内しない (ETC カード有効期限の案内は行います)
カード入れ忘れ案内	「 O N 」: 本機の電源が ON になったときに ETC カードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する * ¹ 「 O F F 」: カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「 O N 」: 本機の電源が OFF になったときに ETC カードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する * ¹ 「 O F F 」: カード抜き忘れ案内しない

* 1 ETC 音声案内を「OFF」に設定しても案内します。

本機のシステムに関する設定・確認

システム情報・設定メニュー (P.25) から、各項目を設定・確認する

[太字: お買い上げ時の設定]

項 目	設定内容
操作音	「 O N 」: 操作音を鳴らす 「 O F F 」: 操作音を鳴らさない
時計表示	「 O N 」: 画面に時計を表示する 「 O F F 」: 画面に時計を表示しない
案内音声設定	本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先 「 O N 」: ナビゲーションの音声案内中に、 [-] [+] で案内音量を調整できる 「 O F F 」: ナビゲーションの音声案内中に、 [-] [+] で案内音量を調整できない
	案内音量の車速連動 「 O N 」: ナビ案内音量を車速連動する (走行速度によって自動的に音量を上げる) 「 O F F 」: ナビ案内音量を車速連動しない
	案内出力スピーカー 「 左 前 」: 案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「 右 前 」: 案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
	案内時の Audio 音量消音 「 O N 」: 音声案内時にオーディオ音声を消音する 「 O F F 」: 音声案内時にオーディオ音声を消音しない ※「OFF」に設定されている場合も、音声案内時はオーディオの音量が下がります。
音量設定 (P. 19)	ナビゲーションの案内音、ハンズフリー着信音などを調整することができます。
画質調整 (P. 128)	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。
画面 OFF (P. 20)	画面を一時的に消すことができます。
トップメニューカスタマイズ (P. 27)	トップメニューを編集することができます。
セキュリティ設定 (P. 29)	セキュリティコードや、盗難多発地点表示案内の設定ができます。
メンテナンス通知設定 (P. 156)	メンテナンス情報 (エンジンオイルや消耗部品の交換時期など) の通知設定をすることができます。
車種設定 (P. 23)	有料道路を利用時、設定した車種の高速料金を表示します。

利用に応じた設定に変える

項 目	設定内容
カメラ設定	バックモニター・バックガイドモニターの設定ができます。
ドライブレコーダー設定 (P. 167)	ドライブレコーダーの設定ができます。
ステアリングスイッチ設定 (P. 12)	ステアリングスイッチに機能を登録することができます。
ダイレクトボタン設定	「ドライブレコーダー動画録画」：動画録画タッチキーを表示する 「ドライブレコーダー静止画撮影」：静止画撮影タッチキーを表示する 「表示しない」：ダイレクトボタンを表示しない
休憩案内 (P. 68)	「ON」：休憩を促す音声案内を行う 「OFF」：休憩案内しない
バージョン情報 (P. 155)	車載器 ID、製造番号、ソフト・地図・Gracenote データベースのバージョンなどを確認できます。
車両装備情報 (P. 22)	車両装備情報を確認できます。
車両信号情報 (P. 21)	車両信号情報を確認できます。
ソフトウェア・地図 更新 (P. 160)	本機のソフトウェアや地図データの更新ができます。
Gracenote データベース更新 (P. 111)	Gracenote データベースを更新できます。
ボイスコマンド設定 (P. 149)	ボイスコマンドの設定やマイボイスの録音ができます。
オープニング画面切替	本機では使用しません。
TV アンテナ設定	本機に接続したアンテナの本数を設定します。
音声認識設定	ステアリングスイッチの「MODE」を長押しした時の動作を設定できます。
初期化 (P. 187)	本機の各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。
端末情報 (P. 155)	本機の端末情報を確認できます。

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 システム情報・設定メニュー (P.25) から **初期化** を選ぶ

2 初期化する項目を選ぶ

項 目	内 容
SD カードの初期化	SD メモリーカード*1を初期化することができます。 ●録音した音楽データも削除されます。 *1 NTFS ファイルシステムは初期化できません。
TV の初期化	TV で設定した内容を初期化することができます。
キーボード学習結果の初期化	キーボードの学習機能を初期化することができます。
出荷状態に戻す	本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。 ●本機およびETC2.0車載器が保持している走行履歴などの情報が消去されます。 ●オーディオがOFFに切り換わります。 ●ドライブレコーダーの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。 ●取付設定 (P.16) の設定は、初期化されません。

3 はいを選ぶ

- 「キーボード学習結果の初期化」を選んだ場合は、ここで初期化されます。

4 はいを選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
- 初期化 (削除) した項目は、もとに戻せません。
誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- TVの初期化を行った場合は、車のエンジンを止め (ACC OFF)、ボタン照明が消えて約10秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください (ACC ON)。

お願い

- 初期化中は他の操作 (オーディオを切り換えるなど) をしないでください。
故障の原因となります。


お知らせ

- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報 (登録地の住所や電話番号など) の登録情報は必ず削除してください。
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、センサー学習値初期化をしてください。 (P.21)
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
 - ・オーディオ OFF/ON
 - ・AM・FM で受信中の周波数
 - ・ディスク・USB・SD の再生位置
 - ・ディスク・USB・SD・MEMORY MUSIC の再生モード

よくあるお問い合わせ

修理を依頼される前に、まずはP.189～205の内容をご確認ください。
処置をしても解決/改善されないときや、他の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→  を押してください。(P.38)

自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
→しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
→しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→「センサー学習レベル」を確認してください。(P.21)
- センサー学習レベルの距離が「1」の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 本機を別の車に載せかえた。タイヤを交換またはローテーションした。
→「センサー学習初期化」を行ってください。(P.21)

縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
→地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で  /  を選び、縮尺を切り換えてください。(P.38)

タッチキーが反応しない(表示が薄くなっている)

- 安全のため、走行中は一部の操作ができなくなっています。
→安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけると、操作できるようになります。

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない





- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
→汚れを取り除いてください。
- ディスクが表裏逆に挿入された。
→正しい面で挿入しなおしてください。
- ディスクやSDメモリーカードに問題がある。
→別のディスクやSDメモリーカードが本機で再生できる場合は、ディスクやSDメモリーカードに問題がある可能性があります。

地図の年度更新の方法について知りたい

通常の年度更新版地図については販売店にお問い合わせください。
また、本モデルでは無償地図更新サービスを提供しております。
地図更新アプリ(スマートフォンまたはパソコンで更新データをダウンロードして更新する)については、Webサイトにてご案内します。
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/toyota.html>

故障かな!?

電源・共通





内 容		ページ
動作	電源が入らない	
	車のエンジンがかかっていない。 ●エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	17
	低温状態になっている。 ●故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。	—
	車のエンジンをかけた状態 (ACC ON) で、本機の電源が切れる。 車のバッテリー電圧が低い。 ●バッテリーを交換してください。	—
	ディスプレイの上下角度が調整できない	
	障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
	タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
	フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ/2点ドラッグ/回転ドラッグの操作をしている。 ●画面によっては、上記の操作ができません。	14
	指の腹でタッチすると、2点タッチなどと誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	14
	爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	14
	指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	—
	手袋をして操作すると反応しない場合があります。素手でご使用ください。	—
	金属を近づけたり、水滴が付いている場合は反応しないことがあります。	—
	ナビ画面が勝手に切り換わる	
	ボイスコマンドが誤認識している可能性があります。使用しないコマンドは無効に設定してください。	149
画面/映像	ステアリングスイッチが正しく動作しない	
	ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ●ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録してください。	12
	本機が温くなる	
	長時間連続して使用している。 ●正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
	SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
	●本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。 ●SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	187、211 —
	映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い	
	画質調整が適切でない。 ●各項目を調整してください。	128
	画面に赤、青または緑の点が表示される	
	液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
画面/映像	ディスプレイに何も表示されない	
	オーディオがHDMIになっている。 ●他のオーディオに切り換えるなどして、HDMI以外の画面を表示させてください。	82
	一時的に画面を消している (画面 OFF) ●  /  /  /  のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	20

よくあるお問い合わせ／故障かな!?

困ったとき

故障かな!?

電源・共通

内 容		ページ
画面／映像	音声は出るが、映像が出ない	
	一時的に画面を消している (画面 OFF) ●  /  /  /  のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	20
	パーキングブレーキをかけていない。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
音 声	左右前後のいずれかの音が出ない	
	フェーダー / バランスの設定を確認してください。	120
	音が悪い (音が飛ぶ)	
	DVD・CD などの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	210
	iPod・スマートフォン・USB メモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
	雑音が出る	
	スマートフォンなどを本機から離してください。	—
	音量が勝手に変わる	
	オーディオ情報・設定メニューからオーディオチューンを選び、高音質モードまたはエフェクトモードに変えてから車速連動音量の補正量を「OFF」にしてください。	123

ナビゲーション

内 容		ページ
案内	音声案内されない / オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
	音量設定で、「ナビ案内音」の音量が「0」に設定されている。 ●「ナビ案内音」の音量を調整してください。	19
	フェーダー / バランスが片方に寄っている。 ●フェーダー・バランス設定を確認してください。	126
	ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	38 68
	ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	40 68
	ルート設定時に料金表示されない	
	ルートが有料道路上から始まっている。 ●有料道路上で探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金表示されない場合があります。	—
	有料道路以外で有料案内する	
	地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
	料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
	高速道路を走行中に一般道路の案内をする / 一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
	高速道路と一般道路が平行にあるときは、誤った道路が案内される場合があります。 ●ランチャーから、 道路切替 を選んでください。	68

ナビゲーション

内 容		ページ
案 内	一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る 現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません。) ●通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	60、 62
	登録地が登録されない/設定が変更されない/探索したルートが消去された 操作のあと、すぐに電源を切った。 ●再操作してください。	—
動 作	← を選んでも、前の画面に戻らない 画面によっては、← を選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
	地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ●約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
	運転アシスト機能が動作しない 車両が非対応の場合は動作しません。	—
	「運転アシスト」の各機能が「OFF」に設定されている。 ●運転アシスト機能を利用するには、「ON」に設定してください。	157
	障害物検知表示機能が動作しない 車両が非対応の場合は動作しません。	—
	カメラ設定の「コーナーセンサー」が「OFF」に設定されている。 ●障害物検知表示機能を利用するには、「ON」に設定してください。	176
	バック時にバックモニター・バックガイドモニターの映像が映らない カメラ設定の「カメラ割込み」を「ON」にしてください。	176
	バックガイドモニターのガイド線が、ステアリングに連動しない 車両が非対応の場合は動作しません。	—

故障かな!?

困ったとき

故障かな!?

ナビゲーション

内 容		ページ
表 示	VICS 情報が表示されない (FM VICS)	
	VICS を放送している放送局を受信しているか確認してください。	77
	FM の電波が弱い。	—
	● 障害物 (トンネルやビルの陰など) のない場所に移動してください。	—
	● 電波の強い周波数の放送局を選局してください。	77
	地図に表示する VICS 情報の保持時間が過ぎた。	—
	● 新しい情報を再受信するまでお待ちください。	—
	VICS のサービス外の地図を表示している。	—
	● VICS のサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
	それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	VICS 情報が表示されない (光ビーコン/ETC2.0) ※ 別売の ETC2.0 車載器が必要です。	
	ETC2.0 車載器の取り付け状態が悪く受信できない。	—
	● アンテナの上に物を置かないでください。	—
	● 極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。	—
	TSPS アイコンが表示されない※ 別売の TSPS 対応 ETC2.0 車載器が必要です。	
	路側装置の機器メンテナンス作業や故障などにより、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。	—
	地図データに対象交差点の情報がないときは、TSPS アイコンは表示されません。	—
	地図画面が黄色く表示される	
	表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。	52

オーディオ [TV]

内 容		ページ
映像／音声	映像も、音声も出ない	
	本機が異常に高温になっている。 ●車内の温度を下げってから、本機の電源を入れなおしてください。	—
	受信状態が悪い。 ●車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所へ移動してください。	—
	電源を入れても映像がすぐに出ない	
	ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—
	映像や音声(ときどき)出なくなる/静止する、音声が遅れて聞こえる	
	車のある場所や方向により受信状態が変化します。 視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがありますが、故障ではありません。	—
	●車両の装備* (搭載機器の動作) によってノイズが発生し、受信状態が悪くなることがあります。 *カメラ装置(スマートアシストのステレオカメラなど)、パワーウィンドウ、電動ドアミラー、ランプ、エアコンなど	—
	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ●地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り換えてください。(ワンセグに切り換わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	87
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い		
地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。		—
長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ●ユーザープリセットのスキャンを行ってください。		87

オーディオ [FM/AM]

内 容		ページ
音 声	ラジオが受信できない/ノイズが多い	
	放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	91
	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
	周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ●新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	91
	ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ●ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—

故障かな!?

困ったとき

故障かな!?

オーディオ [DVD]

	内 容	ページ
動作	タッチパネルを操作しても、動作しない	
	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。(故障ではありません。)	—
	設定した字幕言語 / 音声言語 / アングルが切り換わらない	
	複数の字幕 / 音声 / アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ● トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	設定した字幕言語 / 音声言語で再生されない	
	設定した字幕 / 音声記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕 / 音声で再生されません。 ● トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
	「言語設定」でメニュー言語の設定を確認してください。	96
	ディスクを挿入しても再生できない	
	ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	93
音声	再生できるディスクを使用してください。	93, 208
	ディスク挿入後、またはDVDに切り換えたとに、フォーマットが識別される少しの間、音が途切れることがあります。	—
	再生中に小さい音が聞き取りにくい	
	「ダイナミックレンジ圧縮」の設定を、「ON」に設定してください。	96
	DVD再生の音量が小さい	
	音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ● DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	19

オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

内 容		ページ
動作	再生するまで時間がかかる	
	記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ●本機が対応していない形式のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	212, 215
	ファイルのサイズが大きすぎる。 ●サイズが大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。	—
	再生できない	
	本機に対応したメディアを再生してください。 ●SDメモリーカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。 別のSDメモリーカード・USBメモリーをお試しください。	208, 211 —
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	—
	データが本機で再生できる規格かを確認してください。	212
	ファイルが破損している。 ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	212
	ファイルにはファイル形式に合った拡張子を必ず付けてください。	212, 215
	音質が悪い(音が飛ぶ)画質が悪い(画像が乱れる)	
映像/音声	音質・画質は、使用したエンコーダソフトやオーサリングソフト、ビットレートなどの設定などにより異なります。 詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	212, 215
	低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
	音声のみ再生される/映像のみ再生される	
	データが本機で再生できる規格か確認してください。	212, 215
	再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
表示	ミックスモード (第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMA ファイルが無音で再生されることがあります。	—
	ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない/曲情報が正しく表示されない	
	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	—
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—
	再生経過時間の表示が実際と一致していない	
	再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
	可変ビットレート (VBR) で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

故障かな!?

困ったとき

故障かな!?

オーディオ [MEMORY MUSIC]

	内 容	ページ
動作	録音設定の切り換えができない	
	録音中の場合は、録音を停止してください。	105
	録音できない	
	ディスクに傷が付いていると、録音できません。 ●ディスクに傷が無いか確認してください。	210
	録音設定が手動録音に設定されている。 ●録音設定が手動録音に設定されていると、自動では録音されません。 自動録音に設定してください。	105
	SDカードの空き容量が不足している。 ●SDカードの使用状況を確認してください。不要なファイルを消去するなどして 空き容量を増やすと、新たに録音できます。	110
	SDカードの書き込み禁止スイッチがロック側 (LOCK) になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。	—
	MEMORY MUSICを再生できない	
	曲のファイルが破損している。 ●再生できない曲を削除し、再度CDから録音してください。	105、110
	パソコンなどを使って、本機でSDメモリーカードに録音したアルバム・曲のフォルダ名 やファイル名を変更した。 ●本機でSDメモリーカードを初期化して、再度録音してください。	105、187
音声	音質が悪い (音が飛ぶ)	
	ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ●改善されない場合は、本機または「SDメモリーカードフォーマッター」でSDメモ リーカードを初期化し、再度録音してください。なお、初期化するとデータはすべ て削除されます。 必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。 ●それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	105、110 187、211 —
	録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない	
表示	新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ●スマートフォンでオンライン検索してください。	110

オーディオ [iPod]

	内 容	ページ
動作	iPod が正しく動作しない	
	iPod が正しく認識されていない。 ●接続を確認してください。	117
	●iPod をリセットしてから再接続してください。	—
	iPod が古い。 ●適合機種をご確認ください。 ●最新のOSバージョンを確認してください。	117 —

オーディオ[レコーダーリンク]

	内 容	ページ
動作	再生が途切れるなど安定しない	
	圏外または電波が弱い。 ●電波の強い場所へ移動してください。	
	レコーダーと接続できなくなった	
	本機とスマートフォンがWi-Fi接続できていない。 ●本機とスマートフォンがWi-Fi接続できているか、ステータスバーのアイコンで確認してください。	39, 201
	本機とレコーダーの通信が安定しない。 ●スマートフォンアプリを操作して、スマートフォンと本機の接続をいったん解除し、再接続してください。	102

BLUETOOTH

	内 容	ページ
登録	スマートフォンを本機に機器登録できない	
	スマートフォンを操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
	本機のBLUETOOTH機能をONに設定してください。	134
	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) に対応したスマートフォンを登録してください。	—
	HFP (Hands-Free Profile) に対応したスマートフォンを登録してください。	—
音声	スマートフォンのファームウェア (ソフトウェア) を最新にすると、登録できるようになる場合があります。	—
	音質が悪い(音がゆがむ・ノイズが発生する)	
	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	220 —
	スマートフォンの電池残量が少ない場合は、充電してください。	—
	本機に接続できない	
接続	スマートフォンが本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。	132
	スマートフォンがHFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。(機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)	—
	スマートフォンを本機に近づけてください。	—
	スマートフォンと見通しの良い状態で通信を行ってください。 障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体 (ポケットなどに入れている時など) に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	—
	BLUETOOTH対応の周辺機器 (ヘッドフォン等) や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。 接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	—
	自動的にペアリング情報が消去された。 ●本機からスマートフォンの登録を消去し、スマートフォンの登録機器リストから本機を消去して、機器登録からやりなおしてください。	132, 134
	自動接続が完了していない。 ●スマートフォンが本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—

故障かな!?

BLUETOOTH

内 容		ページ
接 続	登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	
	本機のBLUETOOTH機能を「ON」にしてください。	134
	スマートフォンが省電力モードに設定されている。 ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除されることがあります。 スマートフォンの設定を変更してください。	—
	スマートフォンを操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ●再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を消去し、スマートフォンの登録機器リストから本機を消去して、機器登録からやりなおしてください。	132, 134
	スマートフォンが操作待ちになっている。 (機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。) ●スマートフォンを操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	220
	スマートフォンが金属物に触れている場合は、離してください。	—
	スマートフォンと本機の間に障害物がある場合は、取り除いてください。	—
	スマートフォンを本機に近づけてください。	—
	BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ●いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を消去し、スマートフォンの登録機器リストから本機を消去して、再度機器登録からやりなおしてください。	132, 134
	スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—
	スマートフォンが自動接続に対応していない。 ●本機から手動で接続してください。	132
	スマートフォンがハンズフリー接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—

BLUETOOTH

	内 容	ページ
スマートフォン連携	「NaviCon®」のデータを本機で取得できない	
	スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ●BLUETOOTH接続状態を確認してください。	—
	●スマートフォンをハンズフリー接続してください。	133
	●BLUETOOTH接続をいったん解除してから、再接続してください。	133
	iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ●iPodまたはiPhoneをP.117の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで「NaviCon®」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。	—
	スマートフォンアプリを終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	
	手動でBLUETOOTH接続を解除してください。	133
	スマホ連携の接続が完了しない	
	接続をいったん中止し、再接続してください。	133
	スマホ連携の切断が完了しない	
ハンズフリー通話	スマートフォンを操作して切断してください。	—
	本機に機器登録されたスマートフォンでハンズフリー通話できない	
	通話がスマートフォンに切り換わっている。 ● ハンズフリー切替 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	138
	スマートフォンのサービス圏外で使用している。 ●サービス圏内で使用してください。	—
	BLUETOOTHによる接続がされていない。 ●再接続してください。	133
	スマートフォンがマナーモードになっている。 ●機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
	スマートフォンのアプリによっては、着信中に電話に出ようとすると、操作が受け付けられず切れることがあります。 ●故障ではありません。	—
	ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	
	受話音量を下げてください。	19
	通話中、相手の音声聞き取りにくい	
	自分と相手が同時に発声した。 ●交互に話してください。	—
	受話音量を上げてください。	19
	着信履歴から発信できない	
	番号非通知の相手にかけようとした。 ●番号非通知の相手には発信できません。	—
	国際電話を受けた。 ●スマートフォンの契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
	スマートフォンの機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ●スマートフォンの着信履歴から直接発信してください。	—

故障かな？

困ったとき

故障かな!?

BLUETOOTH	
内 容	
ページ	
ハンズフリー通話	通話音量が大きすぎる・小さすぎる / 通話しづらい
	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ●適切な距離でお話してください。
	エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ●エアコンの送風を弱くするか、止めてください。
	スマートフォンの通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる / 本機と接続中、スマートフォンで通話できない
	機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話し かできなくなる場合があります。 ●スマートフォンで通話するときは、スマートフォンを操作して本機との BLUETOOTH接続を解除してください。
	走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された
	スマートフォンの電波が弱い。 ●電波の状態が良い場所でご使用ください。
	着信していないのに突然通話中画面が表示され、しばらくすると通話終了する
	スマートフォンのアプリによっては、通話していない場合でも、本機が通話中と認 識し通話中画面を表示することがあります。 ●故障ではありません。
	電話に出ていないのに通話中になった / 通話相手の電話番号が正しく表示されない
BLUETOOTH Audio	通常の音声通話（電話回線を使用した通話）以外の場合、正常に動作しない場合が あります。 ●故障ではありません。
	電話帳転送ができない
	スマートフォンがPBAP (Phone Book Access Profile) に対応していないと、電話帳 転送できません。
	BLUETOOTH Audio画面から操作できない (再生はできる)
	スマートフォンがAVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile) に対応していない。 ●AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。スマートフォンで操作してください。 (機種によっては、AVRCPに対応しているても一部の操作ができない場合があります。)
	再生できない
	接続機器や音楽再生アプリによっては、本機での操作を受け付けられない場合があります。 ●本機画面の▶を押しても再生できない場合は、接続機器側の再生ボタンを押す ことで、再生できる場合があります。
	音量が小さい
	スマートフォンの音量を調整してください。
	音質が悪い (音がゆがむ、音が途切れる、ノイズが発生する)
その他	スマートフォンを本機に近づけてください。
	P.197 ~ 200の処置をしても問題が解決しない / その他の問題がある
	いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。
	いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。
	機器登録を消去し、再登録してください。
それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	

Wi-Fi

内 容		ページ
動作	スマートフォンを本機に機器登録できない	
	本機のWi-Fi機能がOFFになっている (Wi-Fi設定のON/OFF)。 ●本機のWi-Fi機能をONに設定してください。	136
	スマートフォンのテザリングモードがOFF になっている。 ●スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング (APモード) を設定してください。	—
	スマートフォンがテザリングに対応してない。 ●本機でWi-Fi機能はご使用になれません。	—
	登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	
	●本機およびスマートフォンのWi-Fi機能を有効にしてください。 ●スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング (APモード) を設定してください。	—
	本機に接続できない	
	スマートフォンが本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。	135
	●ステータスバーのWi-Fiの接続状態を確認してください。	39

音声認識

内 容		ページ
動作	音声認識を起動できない	
	●スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。	135
	サーバーへの接続が失敗する	
	スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。 ●場所を移動して、電波状況の良い場所でお使いください。	—
	●しばらくしてから接続を行ってください。	—
	誤認識が多い	
	●車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。	145
	●効果音が鳴ってから、続けて発声してください。	—
	音声認識に失敗する	
	●声が小さすぎると認識されません。適正な音量ではっきり発声してください。	145
	音声が出力されない	
	●本機の音量が小さい場合は、音量を調整してください。	19

故障かな!?

困ったとき

故障かな!?

ボイスコマンド

内 容		ページ
動作	誤認識が多い	
	●車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、マイクに向かってはっきり発声してください。	149
	●マイクは発声する人の口元に向けて20 cm～ 40 cm離してください。	—
	●使用しないボイスコマンドは、「無効」に設定してください。	149
	●ボイスコマンドの認識レベルを調整すると、正しく認識される場合があります。	149
	●発話者の音声をマイボイス録音として登録すると、認識されやすくなる場合があります。	149
	ボイスコマンドを利用できない	
	ボイスコマンドの利用が「OFF」に設定されている。	
	●ボイスコマンドの利用を「ON」に設定してください。	149
	使用するボイスコマンドが「無効」に設定されている。	
映像／音声	●ボイスコマンドを「有効」に設定してください。	149
	ハンズフリー通話中に発声した。	
	●ハンズフリー中の利用が「OFF」に設定されている場合は、ハンズフリー通話中はボイスコマンドを利用できません。ハンズフリー中の利用を「ON」に設定するか、ハンズフリー通話中の利用を控えてください。	149
	音声認識に失敗する	
	●声が小さすぎると認識されません。マイクに向かってはっきり発声してください。	—
	●ボタン操作中はボイスコマンドを利用できません。	—
	●ボイスコマンドの認識レベルを高くすると、認識されやすくなります。	149
	●それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

HDMI

内 容		ページ
映像／音声	音声がでない	
	本機と接続した機器が、本機以外の機器とBLUETOOTH接続している。	
	●本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
	映像が出ない	
	正しく接続されていない。	
	●接続を確認してください。特に、スマートフォンを本機とHDMIで接続している場合は、変換アダプタが正しく接続されていない場合があります。	181

ソフトウェア・地図更新

内 容		ページ
動作	スマートフォンから更新データを送信できない	
	更新用SDカード* ¹ が本機に挿入された状態でスマートフォンからソフトウェア・地図データを更新しようとした。	
	●更新用SDカード* ¹ を取り出し、再度スマートフォンから更新してください。	160
	* 1 SDカードでの更新については、P.161をご覧ください。	
	完了していない更新データがある状態で、ソフトウェア・地図更新をしようとした。	
	●前回行った更新を完了させてから、再度ソフトウェア・地図更新をしてください。	160

こんなメッセージが出たときは

内 容	
か	更新が中断されました。 本機に送信した更新データと本機の情報が合っていない。 ●いったん本機とスマートフォンのWi-Fi接続を解除して、再度Wi-Fi接続してください。 (P.136) スマートフォンで地図更新アプリを起動して「同期しました」と表示されたら、更新データのダウンロードからやりなおしてください。(P.160)
	このファイルは再生できません。 再生できない形式の音楽データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
さ	このSDカードは書き込み禁止です。 SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側 (LOCK) になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。
	再生可能なファイルがありません。 異常のある動画を再生した。 ●ファイルを確認してください。
	再生できるファイルがない。 ●再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
	車速信号が検出できません。車速信号コードの接続をご確認ください。 お買い上げの販売店に依頼し、車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。
	受信できません (0020) 地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。
	受信できません (E202) 地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。
	受信できません (E203) 地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。 放送休止のチャンネルを見ている。
	情報を受信していません。 VICS 情報がない。 ●FM VICS チューナーの周波数設定を確認してください。
	走行中はスクロールできません。 市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
	パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。 ●お買い上げの販売店に依頼し、サイドブレーキコードの接続を確認してください。
	挿入されたCDの再生ができません。 ディスクが汚れている、裏返しになっている。
	ディスクが音楽用でない、録音されていない。
	ディスクにキズが付いている。
	再生できないディスクを使用している。(P.208) ●ディスクを確認してください。

故障かな!?

こんなメッセージが出たときは	
	内 容
た	地図/ソフトウェアの更新ができませんでした。 再度更新処理を行ってください。
	スマートフォンを利用したソフトウェア・地図の更新に失敗した。
	●スマートフォンのテザリングをOFFにし、再度ONにしてスマートフォンと本機をWi-Fi接続してください。(P.135)
	スマートフォンで地図更新アプリを起動して「同期しました」と表示されたら、更新データのダウンロードからやりなおしてください。(P.160)
	パソコンを利用したソフトウェア・地図の更新に失敗した。
	●再度、更新用SDメモリーカードの作成からやりなおしてください。
	電源を入れ直してください。
	アンプに異常が発生した。
	●いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。
	電話帳データの件数が多すぎます。 最大2000件の電話帳データを読み込むことができます。
は	電話帳データの件数が多すぎます。
	●最大2 000 件の電話帳データを読み込むことができます。
	同期できませんでした。しばらくお待ちいただき、再度Wi-Fi接続してください。
	ソフトウェア・地図の更新に失敗した。
	●スマートフォンのテザリングをOFFにし、再度ONにしてスマートフォンと本機をWi-Fi接続してください。(P.135)
	スマートフォンで地図更新アプリを起動して「同期しました」と表示されたら、更新データのダウンロードからやりなおしてください。(P.160)
	配線の不良または機器の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。
	本機が故障している。
	●スピーカーおよびその配線関係に異常がないか、お買い上げの販売店にご相談ください。 スピーカーや配線異常がない場合は、本機の故障の可能性があります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
	本機に接続しているiPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました。 ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。
	ケーブルが金属物に触れている。
	●金属物から離してください。
接続している機器やケーブルに異常がないことを確認してください。	

こんなメッセージが出たときは

内 容	
R	ルート探索ができません。 極端に長い道のりのルートを探そうとした。 ●目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探求してください。
	録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。 SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ●不要な音楽データを消去してください。
	録音できませんでした。 SDカードを確認し、再度録音してください。 SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ●SDメモリーカードを本機に挿入してください。
	S SDカードの書き込みができませんでした。 SDカードを確認してください。 SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側 (LOCK) になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。
	記号 ① ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

それでも正常に戻らない場合は下記の操作で本体リセットを行い、再起動させてください。

- セキュリティコードを設定している場合、本体リセットを行うと再起動時にセキュリティコード入力画面が表示されます。(P.29)
- 本体リセットを行うとバッテリー交換時と同様に一部の設定が初期化されます。(P.187)

本体リセットを行う

- ステアリングスイッチを [TRACK DOWN] → [TRACK UP] → [VOL UP] → [VOL DOWN] → [TRACK UP] の順に、時間を空けずにすばやく押してください。
(ステアリングスイッチの割り当てを変更していても、初期設定時の [TRACK DOWN] [TRACK UP] [VOL DOWN] [VOL UP] スイッチを上記の順に押してください。)

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

万一、故障や異常が起こったら

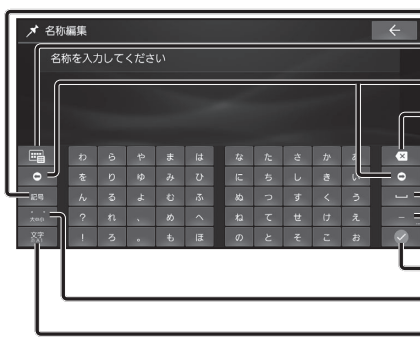
車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。

- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

文字入力のしかた

- 入力できる文字の種類は、機能によって異なります。
(例：名称検索(P.56)で入力できるのは「ひらがな」のみ、など。)

かな・漢字を入力する



Annotations for Japanese input:

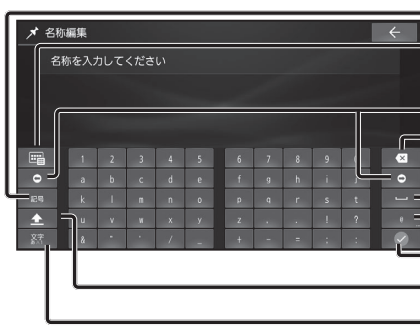
- 記号・顔文字入力に切換
- キー配列をスマホ風に切換
- カーソルを左右に移動
- 1文字削除
- スペースを入力
- 長音記号を入力
(タッチし続けると、記号入力)
- 入力した内容に決定
- 濁音・半濁音・促音・拗音に切換
- 入力(かな・英数・10キー)を切換

変換のしかた

- 1 文字(ひらがな)を入力する
 - 2 候補から、文字を選ぶ
- ▼: すべての候補の一覧を表示




英数字を入力する



Annotations for English/Number input:

- 記号・顔文字入力に切換
- キー配列を切換
(QWERTY/アルファベット順/スマホ風)
- カーソルを左右に移動
- 1文字削除
- スペースを入力
- @ (タッチし続けると、記号入力)
- 入力した内容に決定
- 大文字/小文字を切換
- 入力(かな・英数・10キー)を切換

10 キーで数字を入力する



Annotations for 10-key numeric input:

- 記号・顔文字入力に切換
- カーソルを左右に移動
- 1文字削除
- スペースを入力
- 入力した内容に決定
- 入力(かな・英数・10キー)を切換

記号を入力する



記号のリストを切換

🕒: 入力履歴

❓: 一般

[]: 括弧

↔: 矢印

◆: マーク

①: 数字

\$: 通貨

1文字削除

記号/顔文字に切換

もとのキーボードに戻る

顔文字を入力する



顔文字のリストを切換

🕒: 入力履歴

😊: ハッピー

😞: 悲しい

😮: びっくり

😓: 困る

😡: 怒る

💕: あいさつ

💖: ラブ・友情

🐶: 動物・キャラクター

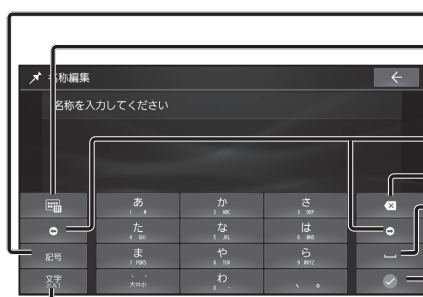
1文字削除

記号/顔文字に切換

もとのキーボードに戻る

スマホ風のキー配列に切り換えてかな・漢字・英数字を入力する

■かな入力画面(例)



記号・顔文字入力に切換

キー配列を切換

(切り換わりかたは文字の種類によって異なります。)

カーソルを左右に移動

1文字削除

スペースを入力

入力した内容に決定

入力(かな・英数・10キー)を切換

スマートフォンのタッチ入力・フリック入力と同じ感覚で入力できます。

●同じタッチキーを繰り返しタッチすると、段(あ→い→う→え→お)が切り換わります。

●「あ」の段の文字を続けて入力する場合(例:「ささやま」など)、1文字入力したあとに



を選びカーソルを移動させてから、2文字目を入力してください。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

フォーマット ディスク	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 *3	WMA *3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW *1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW *2	—	—	○	○	○

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- 市販のディスクでも、品質状態によって正常に再生できない場合があります。

CDについて

- パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号。
ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。

・本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。

「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アングル数



■ 画面サイズ (横:縦の比)*1

4:3の標準サイズ

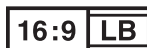


レターボックス

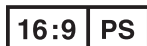


16:9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4:3)のときは、
レターボックスで再生されます。



画面サイズが標準(4:3)のときは、
パン&スキャンで再生されます。



*1 映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

再生できないディスク

- 8 cmディスク*2
- NTSC以外方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
- AVC REC方式で録画されたDVD
- AVCHD方式で撮影したDVD
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- CD-ROM
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA*3
- VSD
- CVD
- DTS-CD
- DualDisc*4
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM
- DIVX Videoディスク など

*2 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。

*3 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。

*4 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクについて

ディスクの取り扱い

■ 持ちかた

記録面に
触れないように持つ



■ ディスクが汚れたら
水を含ませた柔らかい
布で拭いたあと、乾いた
布で拭く



内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光の当たるところ
(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

下記のようなディスクは 使用しないでください

本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



シールや
テープ、のりが
付着している



プリンター
で作成した
ラベル



プロテクト
フィルム、
保護シート



ディスクアクセ
サリー(スタビ
ライザーなど)

破損・変形したディスク



そっている



ひびやキズ
がある・欠け
ている

透明なディスク



全体が透明



一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク



ハート形



カード型



三角形



バリがある

お手入れ

本体・液晶画面のお手入れ

- 必ず車のエンジンを切った状態(ACC OFF)で清掃してください。
- 本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶画面は、市販のクリーニングクロスで拭いてください。
- 損傷の原因となるため、下記を使用しないでください。
 - ・洗剤(ガラス用クリーナー含む)
 - ・シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
 - ・硬い布やティッシュペーパー、ウェットシートなど
- 化学ぞうきんは、注意書きに従って、お使いください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこり、またはゴミが付着し、汚れてしまいます。

- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでもよくならない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。

- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い

- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■本機で利用できるSDメモリーカード

※本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。

- SDXCメモリーカード(2 TB以下) *1
- SDHCメモリーカード(32 GB以下) *1
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDXCメモリーカード(2 TB以下) *1 *2
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下) *1 *2
- microSDメモリーカード(2 GB以下) *2
- miniSDメモリーカード(2 GB以下) *2

*1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

*2 2カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

■SDメモリーカードは、使用する前に本機で初期化してください。(P.187)

- または、パソコンで「SDメモリーカードフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。「SDメモリーカードフォーマッター」については、下記サイトをご覧ください。
<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■本機で利用できるUSBメモリー

- USBマストレージ規格準拠
- 容量: 32 GB以下
- ファイルシステム: FAT 16、32、exFAT
- USBコミュニケーションフォーマット: USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。
正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
 - ・SDメモリーカードを取り出す
 - ・USBメモリーを取り外す
 - ・機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。
- メディアの破損やデータの変化・消失による損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。

データ作成時の留意点

音楽データについて

本機は、CD-R/RW、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した音楽データを再生できます。

音楽データの規格について

■MP3

項 目	内 容
規格	MPEG-1 Audio Layer 3、MPEG-2 Audio Layer 3
拡張子	mp3、MP3
ビットレート	●MPEG-1 Audio Layer3 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 160 kbps / 192 kbps / 224 kbps / 256 kbps / 320 kbps / VBR ●MPEG-2 Audio Layer3 8 kbps / 16 kbps / 24 kbps / 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 144 kbps / 160 kbps / VBR ※ free format bitstream / forbidden は非対応
サンプリング周波数	●MPEG-1 Audio Layer3 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz ●MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz
チャンネル	2ch / 1ch (Stereo / Joint Stereo / Dual Channel / Single Channel)
タグ情報	ID3 タグ Ver.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名* ¹

■WMA

項 目	内 容
規格	Microsoft Windows Media Audio Decoder Ver.8 / Ver.9 std / Ver.9 Lossless / Ver.10 pro 2ch 準拠
拡張子	wma、WMA
ビットレート	CBR : 5 kbps ~ 320 kbps VBR : Peak 384 kbps
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル	2ch、1ch (Stereo / Mono)
タグ情報	WMA タグ : タイトル、アーティスト名、アルバム名* ¹

■AAC (SD、USBのみ)

項 目	内 容
規格	MPEG-4 / AAC LC (Low Complexity)、MPEG-2 / AAC LC (Low Complexity)、HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、AAC、m4a、M4A ※ iTunes 以外で作成されたファイルは動作保証外 ※ DRM 認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps / VBR
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル	2ch、1ch (Stereo / Mono)
タグ情報	AAC タグ、ID3 タグ Ver.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

* 1 アルバム名の表示はSD、USBのみ

■FLAC (SD、USBのみ)

項 目	内 容
規格	FLAC (Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit / 24 bit
ビットレート	最大 9216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz
チャンネル	Stereo / Mono
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名

■WAV (SD、USBのみ)

項 目	内 容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit / 24 bit
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

- SDメモリーカード/USBメモリー内のフォルダ階層は最大8階層、最大フォルダ数は700、最大ファイル数は65 535です。
- MP3iフォーマット/MP3PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- ID3タグVer.1、Ver.2が混在するMP3ファイルの場合、Ver.2のタグを優先します。
- WMA Voiceには対応していません。
- FLACファイルは1 024から4 608のブロックサイズに対応しています。
- WAVファイルはLPCM(整数型)に対応しています。AIFFフォーマット/WAVE64フォーマット/RF64フォーマット/ADPCMフォーマット等には対応していません。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 2chを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ファイル作成の詳細はエンコーダーソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- ファイル作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるデータが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。
- エンコーダーの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- 不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル)は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV以外の形式のファイルは動作を保証していません。

お知らせ

- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。
- DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
- 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。

データ作成時の留意点

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。

音楽ファイルの再生について

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

お知らせ

- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があります、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

動画データの規格について

■コンテナフォーマット

●MP4

項 目	内 容
拡張子	mp4、m4v
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ→P.212)

●AVI

項 目	内 容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA (規格の詳細は音楽データと同じ→P.212)

●MKV

項 目	内 容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ→P.212)

●ASF・WMV

項 目	内 容
拡張子	asf、wmv
映像コーデック	H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA (規格の詳細は音楽データと同じ→P.212)

■映像コーデック詳細

●H.264/MPEG-4 AVC

項 目	内 容	
プロファイル / レベル	BaselineProfile/3、MainProfile/3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

●MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)

項 目	内 容	
プロファイル / レベル	SimpleProfile / 5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

●VC-1

項 目	内 容		
プロファイル / レベル	AdvancedProfile/2	MainProfile/Medium	SimpleProfile/Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

データ作成時の留意点

- SDメモリーカード/USBメモリー内のフォルダ階層は最大8階層、最大フォルダ数は700、最大ファイル数は65 535です。
- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート (VBR) で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、映像が表示されなかったり、音飛びしたりするなど、正常に再生できない可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- Global Motion Compensation、Quarter-pel Motion Compensationには対応していません。映像が乱れ正しく再生できません。
- 著作権保護された動画ファイル (SD-Video規格など) は再生できません。

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。

※ 本書では特にことわりのない限り、下記の衛星を「GPS」と表記し、衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS 情報」「GPS 信号」などと総称して表記しています。

■ GPS (Global Positioning System)

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、安定した測位を行います。

■ GPS 信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

- トンネルの中
- 高層ビルなどの間
- 高架道路の下
- 樹木の間

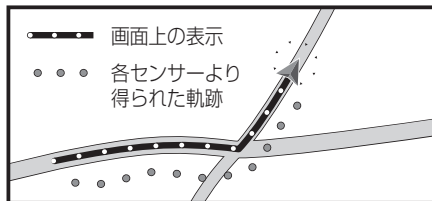
■ 現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間で使用にならなかったときは、自転車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所(GPS衛星の電波をささげる建物や樹木のない場所)で、2分程度で測位します。

電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■ マップマッチング

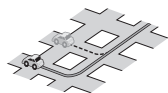
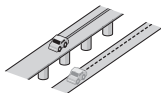
GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



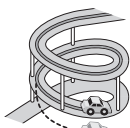
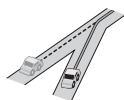
自転車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 高速道路と一般道路が近くにある
- 基盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している
- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自転車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 車のエンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速(数km/h)での走行状態が続くとき(車種によっては車速信号を検出できないことがあるため)
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- 車のエンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

ナビゲーションシステムとは

自車位置精度について(続き)

■ 衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■ 3D センサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。

- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。(P.21)
 - ・別の車に載せかえた
 - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

逆走警告について

■ 下記のような場合などでは、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき

- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 対面通行など、順走/逆走の判別が困難な道路
- 以前、逆走警告が表示された地点で
ここでは案内しないをタッチしていた場合

■ 下記のような場合などでは、逆走していても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき

- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。

- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- フェリー航路はルートに考慮されない場合があります。
- フェリー航路は補助手段であり、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションでかんたんに目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアでかんたんに位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。
<https://www.denso-solution.com/mapcode/>

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報（ピンポイント情報）がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

FM多重について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービス圏外

お知らせ

- 一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。（約3分）
- 車のエンジンをかけた（またはACCをONにした）あと、しばらくは情報が表示されません。

電波ビーコン5.8 GHz について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ
- 高速高架道路の下（高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。）

お知らせ

- 電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売のETC 2.0車載器（光ビーコン対応モデル）が必要です。

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く
- 他の車両と並走して通信圏内に進入したとき
- 太陽光がアンテナ受光面に当たっているとき

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

BLUETOOTHについて

■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。

- 1 BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ 機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご利用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■ 他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■ 使用制限

- すべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - ・BLUETOOTH Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ・ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - ・電話帳転送
 - Phone Book Access Profile (PBAP)
 - ・「NaviCon[®]」/「CarAV remote S」/レコーダーリンク
 - Serial Port Profile (SPP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

Wi-Fiについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。変調方式としてDS-SS変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定与干渉距離は40 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
 - 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。
以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本機の分解や改造をする
 - ・本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
 - 本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備（ルーター、回線端末装置など）を経由して接続してください。

- 本機はすべてのWi-Fiテザリング対応スマートフォンとのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続する機器はWi-Fi Alliance®の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境（車内および車両周辺の環境）によっては、通信速度が低下するなど通信の状態が不安定になることがあります。
- 障害物（壁や床など）があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- BLUETOOTH機能と同時に使用すると、それぞれの通信の状態（接続や音声など）が不安定になることがあります。
- スマートフォンの電池残量低下により、Wi-Fi通信の状態が不安定になることがあります。
- Wi-Fiエリア内から出た場合は、通信が切断されます。
- 使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。
- 通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について

対応規格
IEEE 802.11b/g/n（2.4 GHzのみ）

対応セキュリティ方式
OPEN
WPA 2™ - Personal
WPA 3™ - Personal

テレビ・ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、受信環境や電波状況（電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響）により、最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式（フルセグ/ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・放送局から遠い
 - ・電波が遮られやすい場所（トンネルの中、山の陰やビルの谷間など）
 - ・電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - ・無線用の送信アンテナが近くにある
 - ・車の電装品（パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど）が作動している場合
 - ・本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
 - ・映像や音声が乱れる（ノイズが発生したり、途切れる）
 - ・静止画面や黒画面となり音声が出なくなる

お知らせ

- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式を採用しているため、B-CAS カードを付属しておりません。

DVD 言語コード一覧表

下記の言語コードは、本機でのみ有効です。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1027	アフアル語	1239	国際語	1482	キルンディ語
1028	アブバシア語	1245	Inupiak 語	1483	ルーマニア語
1032	アフリカーンス語	1248	インドネシア語	1489	ロシア語
1039	アムハラ語	1253	アイスランド語	1491	キニヤルワンダ語
1044	アラビア語	1254	イタリア語	1495	サンスクリット語
1045	アッサム語	1257	ヘブライ語	1498	シンド語
1051	アイマラ語	1261	日本語	1501	サンゴ語
1052	アゼルバイジャン語	1269	イディッシュ語	1502	セルビアクロアチア語
1053	バシキール語	1283	ジャワ語	1503	シンハラ語
1057	ベラルーシ語	1287	グルジア語	1505	スロバキア語
1059	ブルガリア語	1297	カザフ語	1506	スロベニア語
1060	ビハーリー語	1298	グリーンランド語	1507	サモア語
1061	ビスラマ語	1299	カンボジア語	1508	ショナ語
1066	ベンガル、バングラ語	1300	カンナダ語	1509	ソマリ語
1067	チベット語	1301	韓国語	1511	アルバニア語
1070	ブルトン語	1305	カシミール語	1512	セルビア語
1079	カタロニア語	1307	クルド語	1513	シスワティ語
1093	コルシカ語	1311	キルギス語	1514	セストゥ語
1097	チェコ語	1313	ラテン語	1515	スンダ語
1103	ウェールズ語	1326	リンガラ語	1516	スウェーデン語
1105	デンマーク語	1327	ラオス語	1517	スワヒリ語
1109	ドイツ語	1332	リトアニア語	1521	タミール語
1130	ブータン語	1334	ラトビア、レット語	1525	テルグ語
1142	ギリシャ語	1345	マダガスカル語	1527	タジク語
1144	英語	1347	マオリ語	1528	タイ語
1145	エスペラント語	1349	マケドニア語	1529	ティグリニヤ語
1149	スペイン語	1350	マラヤーラム語	1531	トゥルクメン語
1150	エストニア語	1352	モンゴル語	1532	タガログ語
1151	バスク語	1353	モルダビア語	1534	セツワナ語
1157	ペルシャ語	1356	マラータ語	1535	トンガ語
1165	フィンランド語	1357	マレー語	1538	トルコ語
1166	フィジー語	1358	マルタ語	1539	ツォンガ語
1171	フェロー語	1363	ミャンマ語	1540	タタール語
1174	フランス語	1365	ナウル語	1543	トウィ語
1181	フリジア語	1369	ネパール語	1557	ウクライナ語
1183	アイルランド語	1376	オランダ語	1564	ウルドゥー語
1186	スコットランドゲール語	1379	ノルウェー語	1572	ウズベク語
1194	ガルシア語	1393	プロバンス語	1581	ベトナム語
1196	グアラニ語	1403	(アフアン) オロモ語	1587	ボラビュク語
1203	グジャラート語	1408	オリヤー語	1613	ウォロフ語
1209	ハウサ語	1417	パンジャブ語	1632	コーサ語
1217	ヒンディー語	1428	ポーランド語	1665	ヨルバ語
1226	クロアチア語	1435	パシュトー語	1684	中国語
1229	ハンガリー語	1436	ポルトガル語	1697	ズール語
1233	アルメニア語	1463	ケチュア語		
1235	国際語	1481	ラエティ=ロマン語		

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。

(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45

(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

● 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

● PHS、IP電話等からはご利用いただけません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS 削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使います。

- (1) VICSサービス：当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約：当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者：当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー：FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス：文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス：簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス：車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事にやむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

【別表】 視聴料金 330円(税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

本製品は、販売時期によって収録している地図データが異なるため、この取扱説明書データでは、P.226-232に記載の、「地図ソフトについて」、「ジャンル一覧」、「地図上に表示される主なマーク」を掲載しておりません。「地図ソフトについて」、「ジャンル一覧」、「地図上に表示される主なマーク」の記載をご覧になる場合は、製品に同梱の取扱説明書か下記のWebサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/toyota.html>

さくいん

あ行

赤信号減速支援	76, 183
明るさ	128
頭出し	94, 97, 99, 100, 107, 114, 115, 118
アルバム	107
アルバムアートワーク	114
アングル	95
案内音声設定	185
案内音量の車速連動	185
案内拡大図	36
案内拡大図の表示	183
案内時のAudio音量消音	185
案内出力スピーカー	185
案内スタート	55
案内ストップ	55
案内ルート	41
イコライザー	125
一時停止	94, 97, 99, 100, 107, 114, 115, 118
イベント情報表示	167
今すぐ見る	89
色合い	128
色の濃さ	128
運転アシスト	157
エフェクトモード	120
エリア選局	77, 184
エリアモード	91
エンター	95
オーディオ情報・設定メニュー	25
オーディオソース一覧	82
オーディオチューン	120
オート放送局サーチ	87
音の匠	121
音楽CD	97
音楽データ	212
音声	95
音声案内	66, 67
音声認識	144
音声認識設定	186
音声録音	167
音量	19
音量設定	185

か行

カーソル	40, 95
カーソルパネル	89
カード入れ忘れ案内	185
カード抜き忘れ案内	185
カーブ案内	43
ガイドンス	45
ガイド線	177, 178, 179
画質	167
画質調整	128, 185
画像・音声情報	75
傾きの調整	49
カメラ設定	176, 186
カメラモニター	165
画面OFF	20, 185
画面サイズ	128
キーパッド	138
機器登録	132
気象・災害情報表示	52

季節規制考慮	45
起動音	168
逆走注意アラーム	44, 183
急カーブ	167
急加速・急減速	167
急加速・急減速の感知音	168
急加速・急減速の感度	167
休憩案内	186
休憩メッセージ案内	68
曲管理	109
曲管理画面	109
距離目安線	175
緊急警報放送	85
緊急情報(特別警報)	79
携帯電話切替	138
携帯電話データの自動同期	140
経由地の追加	62
経由地マーク	41
言語設定	96
現在地画面	38
検索結果画面	54, 144
広域	48
広域地図	34
高音質モード	120
交差点拡大図	36
交差点情報表示	38
後席ディスプレイ	180
高速入口案内	36
交通情報	92
合流案内	45
合流地点	167
コーナーセンサー	176
コールセンター	157, 158
ここに行く	55, 60
コントラスト	128

さ行

サーチ	95
細街路探索	64
再生時間	95
再生モード	97, 99, 100, 107, 114, 118
再探索	68
撮影	169
支援音声ガイド	183
市街地図	34
市街地図での盗難多発地点表示案内	30
事故/故障の通知	157, 158
事故多発地点	167
事故多発地点案内	45
自車位置	17
自車位置修正	182
自車マーク	38, 46
事象・規制マーク	78
システム情報・設定	25
施設詳細	55
施設名称	40
自宅	23, 57
自宅登録	23
視聴制限レベル	96
自動再探索	68
自動選局	77
自動録音	105
字幕	95
車種設定	23, 185

さくいん

車速パルス	21
車速連動音量	123
車両信号情報	21, 186
車両装備情報	22
ジャンクション案内	37
ジャンル	58
住所	58
渋滞回避	45
渋滞情報	53, 78
周波数	91
周波数再編(リバック)	85
周波数設定	77
周波数の選局方法	184
周辺検索	57
周辺施設	59
縮尺	48
縮尺表示	38
受信周波数	184
受信モード	87
出荷状態に戻す	187
手動選局	77, 184
手動録音	105
障害物検知表示	176
詳細	48
情報・設定メニュー	25
初期化	186, 187
新旧ルート自動選択	182
新旧ルート比較	67
新旧ルート比較画面を表示	182
信号切替	90
信号情報活用運転支援設定	183
数字パネル	89
スキャン	87
スクロール	47
図形表示型(レベル2)	74
ステアリングスイッチ	12
ステータスバー	39
スピーカー出力レベル	127
スピーカーディレイ	127
スマートIC	65
スマートインター考慮	45
スモールランプ	21
スロー再生	94
セキュリティ	28, 29
セキュリティ設定	29, 185
設定	40
設定初期化	168
選局	77, 86, 91
選局パネル	86
選曲モード	97, 99, 100, 108, 116, 119
全曲録音	105
センサー学習レベル	21
選択曲録音	105
全ルート図	55, 61
走行軌跡	42
走行軌跡の記録を消去する	182
走行軌跡を表示	182
操作音	185
側道拡大図	36
速度超過アラーム	157, 158
その他の車両状態の通知	157, 158
ソフトウェア・地図更新	160, 186
ソフト情報表示	90

た行

タイトルメニュー	94
タイトルリスト	94
ダイナミックレンジ圧縮	96
ダイレクトボタン設定	186
立寄る	60
探索条件	63, 64
端末情報	155, 186
地上D選局対象	87
地上D/ワンセグ切替設定	87
地図更新	159
地図色	46
地図表示型(レベル3)	52, 75
地図モード画面	40
地点登録	69
地点編集	72
地点メニュー	71
着信拒否	137
着信履歴	140
駐車場マーク	53
駐車録画	168
駐車録画のお知らせ	168
駐車録画の感度	168
駐車録画の時間	168
駐車録画の無効時間	168
停止	94
ディスク	93, 208, 209
出入口	58
データベース再検索	111
データ放送	89
デバイスID表示	90
デモ走行	61
テレビ	84
テレビ初期設定	84
テレビメニュー	86
電話帳	139
電話に出る	137
電話番号	56
電話を切る	137
動画	115
動画データ	215
到着時刻/残距離表示	38
到着予想時刻の計算方法	182
盗難多発地点表示案内	30
道路切替	68
登録地	57, 69
登録地編集	72
トーン	138
時計表示	185
トップメニュー	24
トップメニューカスタマイズ	27, 185
ドライブレコーダー	22, 165
ドライブレコーダー設定	167, 186
取付設定	16

な行

ナビ案内音	19
ナビ設定	18, 182
ナビチューン	45
ノースアップ	49

は行

パーキングブレーキアラーム	157, 158
バージョン情報	155, 186
ハイウェイマップ	35
ハイウェイモード	50
ハイウェイモードの表示	183
パスワード変更	96
バックガイドモニター	174, 175, 177
バックモニター	174, 175, 177
発進遅れ防止支援	76, 183
発信履歴	140
パノラマモニター	174, 175, 179
早送り	94, 97, 99, 100, 107, 114, 115, 118
早戻し	94, 97, 99, 100, 107, 114, 115, 118
番組内容	89
番組表	89
番組表表示形式	87
ハンスフリー	137
販売店	157, 158
ビーコン受信音	184
ビーコン割込み	184
光ビーコンアップリンク	183
ビット・周波数拡張	123
ビデオカメラ	181
標高地図	34
標識検知の通知	158
フェーダー/バランス	120
フォルダ	99, 114
踏切案内	45
プリセット選局	91
プリセットメモリー	91
プレイリスト	94
分岐案内頻度	45
ページ送り	95
ヘディングアップ	49
ボイスコマンド	148
ボイスコマンド設定	186
方位マーク	38, 49
方面看板の表示	183
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先	185

ま行

マップ	46
マップコード	40, 58, 219
マニュアル設定	87
右画面表示	50, 129
道幅優先	45
ミュート	19, 138
名称	56
メンテナンス通知設定	156
モード切替	114, 115
目的地追加	62
目的地方向直線	41
目的地方向を表示	182
目的地マーク	41
目的地メニュー	26
文字サイズ	46
文字入力	206
文字表示型(レベル1)	74

や行

ユーザー情報設定	84, 90
ユーザープリセット設定	87
郵便番号	84
有料道路優先	45
曜日時間規制探索	65, 67
予測進路線	176

ら行

ラジオ	91
ランダム	97, 99, 100, 107, 114, 115, 118
ランチャー	40
ランドマーク	38, 50
ランドマーク設定	50, 182
リアル3D拡大図	36
リジューム	95
リジューム再生解除	94
リターン	95
リパース信号	21
リピート	97, 99, 100, 107, 114, 115, 118
履歴	56
ルート	45, 55
ルート学習	45, 64
ルート学習結果の初期化	182
ルート消去	55
ルート編集	62
レコダーリンク	102
ロードサービス	157, 158
録音	105
録音設定	105
録音データ初期化	110
録画	169

数字・記号・アルファベット

10キー	95
+B電圧	21
AAC	114
Audio ON/OFF	83
Audio 画面中の案内割込み	183
BLUETOOTH	130, 132, 220
BLUETOOTH Audio	100
CarAV remote S	143
DSP	122
DVD-Video	94
DVD-VR	94
DVD言語コード	223
ETC2.0	163
ETC2.0アップリンク	163, 184
ETC2.0自動音声再生	184
ETC2.0受信音	184
ETC2.0割込み	184
ETC音声案内	185
ETC管理情報	164
ETCシステム	162
ETCユニット	22, 162
ETC履歴	164
ETCレーン案内	35
ETCレーンの表示	183
EWS	85

FLAC.....	114
FM/AM.....	91
GPS受信状態.....	38
GPS情報.....	18
Gracenote.....	111
Gracenoteデータベース更新.....	186
HDMI.....	181
iPod.....	117
MEMORY MUSIC.....	107
MP3.....	99, 114
NaviCon®.....	141
SA・PA入口案内.....	37
SA/PAマーク.....	53
SDカード情報.....	110
SDカードの初期化.....	168, 187
SDメモリーカード.....	211
TILT.....	20
TVアンテナ設定.....	186
TVの初期化.....	187
USBメモリー.....	211
VICS.....	46, 74
VICS案内.....	66, 183
VICS一般道情報表示.....	46
VICS規制マーク表示.....	46
VICS考慮.....	45, 65, 67
VICS渋滞・混雑情報表示.....	46
VICS渋滞なし情報表示.....	46
VICS情報マーク.....	53
VICSタイムスタンプ.....	38, 52
VICS駐車場情報表示.....	46
VICS統計情報表示.....	46
VICS範囲表示.....	46
VICS有料道情報表示.....	46
WAV.....	114
Wi-Fi設定.....	135
Wi-Fiネットワーク登録.....	135
WMA.....	99, 114

商標などについて

- Microsoft, Windows, Windows Media and .NET Framework are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」および「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省道路局の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby,ドルビー, Dolby Audio, およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- “DVD Logo” は、DVD フォーマットロゴライセンス株式会社の商標です。
- HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- “タウンページ” は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のWebサイトwww.gracenote.comをご覧ください。
Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000 - present Gracenote.
Gracenote Software, copyright © 2000 - present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote, Gracenoteロゴとロゴタイプ, “Powered by Gracenote”ロゴ、MusicID は、米国およびその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- Android は Google LLC の商標です。
- Wi-Fi®, Wi-Fi Protected Access® (WPA)はWi-Fi Alliance® の登録商標です。WPA2™, WPA3™はWi-Fi Alliance® の商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License, AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・画像情報をMPEG-4 Visual, AVC, VC-1規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ)を記録すること。
 - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Apple K.K.
- 「DiXiM」は株式会社デジオンの登録商標です。
- 「DiXiM Play」は、株式会社デジオンの商標です。
- 「DiXiM」は、株式会社デジオンが開発したマルチメディア・ホームネットワーク・ソリューションです。「DiXiM Play」はDiXiMを搭載した Google Play / App Store / Windows ストア 向けDTCP-IP対応ホームネットワークプレーヤーアプリケーションです。詳しくは、デジオンWebサイト(<https://www.digion.com/>)をご覧ください。
- The product with this logo is conformed to High-Resolution Audio standard defined by Japan Audio Society. This logo is used under license from Japan Audio Society.
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL、LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■ 上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL: <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL: <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。

これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。

<http://car.panasonic.jp/oss/I06nfs92>

GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア(「GPL/LGPLソフト」)は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。

商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に對してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに對した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。

ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。

Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口]

〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

インフォテインメントシステムズ事業部 技術管理部門 責任者 宛

また、上記のGPL/LGPL ソフトに對したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://car.panasonic.jp/oss/I06nfs92>

■ 上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のウェブサイトに掲載のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

<http://car.panasonic.jp/oss/I06nfs92>

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/toyota.html>

なお、上記(1)から(5)を含めた本製品に搭載されるすべてのソフトウェアは、本製品に搭載され、本製品上で動作させることのみを想定しております。

以下の①から④に定められる各行為について、その態様が直接的であるか間接的であるかを問わず、別途の書面による合意に基づく特別の許可がない限り、または各オープンソースソフトウェアのライセンス条件に基づき許可される範囲を越えて、行うことを固く禁じます。

- ①ソフトウェアの一部または全部を複製すること(ただし、許可された範囲内でのバックアップの取得を除く)
- ②法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、本製品から抽出し、もしくは分離させ、またはデコンパイルもしくはディアセンブル等のリバースエンジニアリングをすること
- ③法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、改変、翻案、翻訳等し、またはこれらを売買、貸与、輸出入、頒布等すること
- ④ソフトウェアに付される著作権表示、権利表示、商標、レーベル等を除去しまたは削除すること

仕 様

電源			
電源電圧	DC12 V (試験電圧 14.4 V) マイナスアース		
消費電流	3.5 A 以下 (AUDIO OFF 時)		
液晶ディスプレイ			
画面寸法 (幅×高さ×対角)	9V 型ワイド 199 mm×112 mm×228 mm		
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)		
画素数	2 764 800 画素 (縦 720×横 1 280×3)		
有効画素数	99.99 %		
表示方式	透過型カラーフィルター方式		
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式		
使用光源	内部光 (LED)		
タッチパネル	静電方式		
アンプ			
定格出力	18 W×4		
最大出力	50 W×4		
適合スピーカー インピーダンス	4 Ω (4 Ω～8 Ω 使用可能)		
接続端子			
カメラ入力レベル	映像：NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω)		
ビデオ出力レベル	映像：NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCA ピンジャック)		
HDMI 入力	・ HDMI 端子：1 系統 (19 ピン typeE 端子) ・ 映 像 信 号：720p、1080i、480p (59.94 Hz/60 Hz) ・ 音 声 信 号：リニア PCM (最大 2ch、サンプリング周波数 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)		
ナビゲーションユニット			
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	236 mm×134 mm×177 mm (取付奥行き寸法 161 mm)		
質量	約 2.9 kg		
動作温度	－ 10 ℃～＋60 ℃		
DVD プレーヤー			
信号方式	Y＝1.0 Vp-p Cb＝Cr＝0.7 Vp-p (内部) HDMI 方式 (出力)		
周波数特性	DVD	5 Hz～22 kHz	
	CD	5 Hz～20 kHz	
信号対雑音比 (SN 比)	90 dB (IHF、A)		
ワウ・フラッター	測定限界以下		
MP3 デコーダー	ビットレート	MPEG 1	64 kbps～320 kbps
		MPEG 2	64 kbps～160 kbps
	サンプリング 周波数	MPEG 1	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
		MPEG 2	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて / 仕様

必要とき

仕 様

FM チューナー	
受信周波数	76.0 MHz ～ 95.0 MHz
実用感度 (SN 比、30 dB)	15 dB μ V 以下
SN 比 (入力 54 dB μ V)	50 dB 以上
ステレオ分離度 (入力 60 dB μ V)	35 dB
AM チューナー	
受信周波数	522 kHz ～ 1 629 kHz
実用感度 (SN 比、20 dB)	37 dB μ V
地上デジタル TV チューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz ～ 710 MHz (13CH ～ 52CH)
入力信号レベル	－ 75 dBm ～－ 20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB 中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 2 400 mA
BLUETOOTH	
対応規格	Bluetooth Ver. 5.2
パワークラス	(Class 2)
対応プロファイル	HFP / A2DP / AVRCP / PBAP / SPP
対応コーデック	SBC、AAC
Wi-Fi	
対応規格	IEEE 802.11 b/g/n (2.4 GHz のみ)
対応チャンネル	1ch ～ 13ch
出力	最大 +14 dBm
対応セキュリティ方式	OPEN/WPA2-Personal/WPA3-Personal

● 画面サイズの V 型 (9V 型等) は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URL は、予告なく変更になることがあります。

アフターサービスについて

保証について

故障したときの保証や、アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無償地図更新サービスのご案内

本製品は、販売時期によって収録している地図データが異なり、無償地図更新サービスの提供期間も異なります。このため、この取扱説明書データでは、P.242に記載の「無償地図サービスのご案内」を掲載しておりません。
「無償地図サービスのご案内」の記載をご覧になる場合は、製品に同梱の取扱説明書か下記のWebサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/toyota.html>

ナビゲーション 取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 (修理メモ・保証継承情報等)	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。



H37自動車株式会社

YEFM0414209